

令和 6 年 第 1 回
教育委員会定例会教育長報告

令和6年1月19日（金）

- | | | |
|---|---------------------------|-------------|
| 1 | 小学校特別支援学級の開設について | 資料1 |
| 2 | 叙位・叙勲被伝達者について | 資料2 |
| 3 | 令和5年度教育関係表彰被表彰者等一覧について | 資料3 |
| 4 | 令和6年「20歳を祝う会」の開催結果について | 資料4 |
| 5 | 武蔵村山の生涯学習 令和4年度版について | 資料5
(別冊) |
| 6 | 第50回武蔵村山市民駅伝競走大会の開催結果について | 資料6 |
| 7 | その他 | |

小学校特別支援学級の開設について

令和 5 年 7 月 2 1 日及び同年 1 1 月 1 7 日に開催された小学校特別支援学級開設準備委員会において、開設校及び関連事項が決定いたしましたので、下記のとおり報告いたします。

記

開 設 校	市立第十小学校
障 害 種 別	(1) 知的障害学級 (2) 自閉症・情緒障害学級
開 設 時 期	令和 7 年 4 月
市民への周知	市報及び市ホームページ

武蔵村山市立小学校特別支援学級開設準備委員会設置要領

令和5年4月21日
武蔵村山市教育委員会

(設置)

第1条 武蔵村山市における特別支援教育の推進に当たって、武蔵村山市立小学校特別支援学級の開設に向けて必要な事項を検討するために、武蔵村山市立小学校特別支援学級開設準備委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 委員会は、武蔵村山市立小学校特別支援学級が円滑に開設及び運営されるために次に掲げる事項について検討を行い、武蔵村山市教育委員会に報告する。

- (1) 開設計画の策定に関すること。
- (2) 指導体制の整備に関すること。
- (3) 施設の整備に関すること。
- (4) 広報活動に関すること。
- (5) 指導の開始・終了の判定に関すること。
- (6) その他開設に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- | | |
|-------------------------------|------|
| (1) 学識経験者 | 1人 |
| (2) 武蔵村山市立学校特別支援学級設置予定校校長 | 1人 |
| (3) 武蔵村山市立学校特別支援学級設置校校長 | 1人以上 |
| (4) 武蔵村山市立特別支援教室拠点校校長 | 2人 |
| (5) 武蔵村山市立学校特別支援学級設置予定校副校長 | 1人 |
| (6) 武蔵村山市立特別支援教室巡回指導教諭 | 1人以上 |
| (7) 武蔵村山市立学校特別支援学級担任教諭 | 1人以上 |
| (8) 市立小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者代表 | 1人 |
| (9) 武蔵村山市立教育委員会学校教育担当部長 | |
| (10) 武蔵村山市立教育委員会指導・教育センター担当課長 | |
| (11) 武蔵村山市立教育委員会教育施設担当課長 | |
| (12) 武蔵村山市立教育委員会指導主事 | 1人 |
| (13) 武蔵村山市立教育委員会就学相談員 | 1人以上 |

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選により選任し、副委員長は委員のうちから委員長が指名する者をもって充てる。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会は、必要に応じて武蔵村山市教育委員会が招集する。

2 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に出席を求め、意見等を聴取し、又は資料の提出を求めることができる。

(任期)

第6条 委員の任期は、第2条の規定による報告の終了をもって満了する。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育部教育指導課において処理する。

(委任)

第8条 この要領に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要領は、教育長の決裁のあった日から施行する。

武蔵村山市立小学校特別支援学級開設準備委員会委員名簿

【令和5年度】

職 名	氏 名	所 属 ・ 職 名 等	区 分
委 員 長	ミヤモト ノリオ 宮本 紀夫	特別支援教育サポーターつなぎ主宰	学識経験者
副委員長	ナカムラ キョウカ 中村 清敬	市立第十小学校長	特別支援学級設置予定校長
委 員	オシモト ジュンキ 押本 純樹	市立第一小学校長	特別支援学級設置校長
委 員	タカセ リュウタロウ 高瀬 隆太郎	市立雷塚小学校長	特別支援学級設置校長
委 員	シマダ オサム 島田 治	市立第一中学校長	特別支援学級設置校長
委 員	マキ カズヒロ 牧 一彦	市立第八小学校長	特別支援教室拠点校長
委 員	エノキド チヨコ 榎戸 千代子	市立第五中学校長	特別支援教室拠点校長
委 員	イマイ カズマ 今井 一馬	市立第十小学校副校長	特別支援学級設置予定校副校長
委 員	マエダ マリ 前田 麻里	市立第九小学校教諭	特別支援教室巡回指導教諭
委 員	シムラ コウタロウ 志村 光太郎	市立第一小学校特別支援学級主幹教諭	特別支援学級担任教諭
委 員	ユダ マサキ 湯田 正樹	市立雷塚小学校特別支援学級主任教諭	特別支援学級担任教諭
委 員	タカハシ ヒデオミ 高橋 秀臣	市PTA連合会長	市立小・中学校に在籍する 児童・生徒の保護者代表
委 員	ヒガシグチ タカマサ 東口 孝正	市教育委員会学校教育担当部長	教育委員会学校教育担当部長
委 員	カトウ ヨシヒロ 加藤 由裕	市教育委員会指導・教育センター担当課長	教育委員会指導・教育センター 担当課長
委 員	サクライ ケンジ 櫻井 謙次	市教育委員会教育施設担当課長	教育委員会教育施設担当課長
委 員	ニワ チアキ 丹羽 千晶	市教育委員会指導主事	教育委員会指導主事
委 員	マツムラ いさ子 松村 いさ子	専任相談員	教育委員会就学相談員

【任期】 令和5年7月1日から市教育委員会への報告まで（最長令和7年3月31日）

叙位・叙勲被伝達者について

≪ 高齢者叙勲：内閣府 ≫

	氏 名	恩 賜	功 労 概 要
1	清水 瀧二	瑞宝双光章	教育功劳

令和 5 年度教育関係表彰被表彰者等一覧について

《令和 5 年度東京都教育委員会職員表彰》

(1) 教職員（立志賞）

	氏 名	主たる功績	功 績
1	須崎 亮 (第三中学校 教諭)	I C T の活用等による数学科の教科指導への熱心な取組	数学科教員として、少人数習熟度別授業を行う上で、習熟度に合わせたプリントの作成やそれを活用した授業、また、タブレット端末を活用した授業を展開し、生徒が興味・関心をもつよう工夫をしながら進めている。 令和 2 年度には 2 年次研修代表者として研究授業を行い、新学習指導要領で重視されている数学的見方・考え方の育成と所属校の本年度の研究テーマである I C T の有効活用を取り入れた授業を行った。

(2) 教職員

	氏 名	主たる功績	功 績
1	及川 貴史 (第九小学校 主幹教諭)	学校経営・特別支援教育の推進	平成30年度の特別支援教室の導入時、拠点校の教室主任として、巡回校も含めた教室環境の整備や指導体制の確立に貢献した。市内の児童や教員に向け、障害や多様性についての理解啓発を図るとともに、特別支援教室と通常学級が指導の連続性をもてるよう尽力し、特別支援教育の推進に努めた。 また、教育相談機能の要となり、発達障害からくる児童の困り感に対し、個別の指導目標と支援計画をたて、学校全体で解決・改善に努めたことで大きな成果を上げた。

【表彰式】

日時：令和 6 年 1 月 3 1 日（水）午前 1 0 時から 会場：東京都庁第一本庁舎

【参考：令和 5 年度東京都教育委員会職員表彰被表彰者数】

(個人表彰)

小・中学校等 教職員（立志賞）	2 0 人
小・中学校等 教職員	5 7 人
小・中学校等 管理職	4 1 人

(団体表彰)

学校・グループ	2 1 団体
---------	--------

《 令和 5 年度文部科学大臣優秀教職員表彰 》

(1) 教職員表彰（若手奨励賞）

	氏 名	主たる功績	功 績
1	吉田 瑛美奈 (第九小学校 教諭)	外国語教育への熱心な取組	外国語教育の担当として率先して模範授業を公開し、外国語教育のリーダーとして全教員の授業力向上に努めた。台湾の小学校との交流や横田基地内にあるメンデル小学校とのオンライン交流などについても、外国語担当として積極的に関わった。 学校外では、武蔵村山市小学校教育研究会の「外国語部会」に所属し、令和 4 年度は外国語部の「部長」となり、校内のみならず市内においても日々の研究の成果を広め、外国語教育の中核を担う要の教員として活躍している。

(2) 教職員表彰

	氏 名	主たる功績	功 績
1	阿南 晃介 (第三小学校 主幹教諭)	総合的な学習の時間の推進	令和元年度から令和 3 年度までの 3 年間にわたり、総合的な学習の時間において、児童の関心・意欲を引き出し、主体的な学習を促す学習計画を立て、絵本や歌、動画の制作を推進するとともに、郷土愛、自己肯定感の醸成を図った。 様々な関係者と積極的かつ丁寧な事前折衝をおこない、効率的かつダイナミックな学習活動を展開した。 市内の教育研究会や他校校内研究において、総合的な学習の時間のノウハウを講師として伝達し、児童主体の学習活動を推進した。

【表彰式】

日時：令和 6 年 1 月 1 6 日（火）午後 2 時から 会場：東京大学安田講堂

【参考：令和 5 年度「文部科学大臣優秀教職員表彰」概要】

被表彰者	公立小学校	3 0 9 人
	公立中学校	1 9 4 人
被表彰者	東京都（公立学校）	5 2 人
被表彰組織	公立学校	5 9 団体

《文部科学大臣小学校教育功労者表彰：文部科学省》

新教育制度施行75周年を記念して、小学校教育に長く従事し、小学校教育の振興に功労のあった方に対して、文部科学大臣から感謝状と記念品が贈呈され、その労をねぎらうもの。

	氏 名	主たる功績	功 績
1	内山 壽孝 (元 第三小学校長)	学校経営・学力向上への取組	武蔵村山市立第三小学校長として、平成17年に学校、地域青少年対策委員会、PTAが合同で地域に働きかけて立ち上げた安全サポートボランティア活動で、児童の安全を守るための地道な活動が評価され、平成19年度文部科学大臣賞の団体表彰を受賞した。 平成21年度には、文部科学省「学力向上拠点校形成事業」の研究発表会を第三小学校で開催し、会場校として全学級が公開授業を行った。 さらに、平成20年度から3年間、文部科学省の「学力向上実践研究推進事業」の指定を受け、算数の授業改善を通して活用力、問題解決力を伸ばすことに努めた。

【表彰式】

日時：令和5年10月19日（木）午前10時から 会場：東京国際フォーラム

【参考：文部科学大臣小学校教育功労者表彰被表彰者数】

	全国	東京都
国立	9名	0名
公立	443名	4名
私立	19名	24名
合計	471名	28名

令和 6 年 2 0 歳を祝う会の開催結果について

- 1 主 催 武蔵村山市・武蔵村山市教育委員会
- 2 日 時 令和 6 年 1 月 8 日（月・祝） 午前 1 1 時から
- 3 会 場 さくらホール（武蔵村山市民会館） 大ホール
- 4 対 象 者 平成 1 5 年 4 月 2 日から平成 1 6 年 4 月 1 日までに生まれた市内在住の方等
8 3 7 人（男性 4 0 4 人、女性 4 3 3 人）
- 5 内 容 (1) 式典
(2) アトラクション（武蔵村山市ウインドアンサンブルの演奏）
(3) YouTube 上での「恩師からのビデオレター」の視聴者期間限定配信
- 6 記 念 品 村山大島紬製の小銭入れ・カードケース
- 7 出席状況

対 象 者（人）			出 席 者（人）			出 席 率（％）		
男 性	女 性	合 計	男 性	女 性	合 計	男 性	女 性	合 計
404 (357)	433 (393)	837 (750)	304 (274)	292 (247)	596 (521)	75.2 (76.8)	67.4 (62.8)	71.2 (69.5)

（ ）内は前年度の数値

武蔵村山の生涯学習

令和 4 年度版



令和 5 年 1 2 月
武蔵村山市教育委員会



武蔵村山市民憲章

わたくしたちは、狭山丘陵などの歴史的な自然環境を大切にし、伸びゆく本市の未来に希望をもち、太陽と緑あふれる近代都市をつくるため、市民憲章を定めます。

- 1 太陽と緑を大切にし、生活と自然が調和したよいまちをつくります。
- 1 教養を深め、情操を養い、文化の薫りあふれるまちをつくります。
- 1 健康で働くことに喜びを持ち、明るい家庭のまちをつくります。
- 1 心のつながりを大切にし、互いに尊敬し、助け合い、潤いのあるまちをつくります。
- 1 社会のルールを守り、自治意識を高め、平和で住みよいまちをつくります。

表紙の写真は、明治6年に郷学校として設立された吉祥学舎

目 次

教育委員会の教育目標

武蔵村山市教育委員会の教育目標	3
令和4年度武蔵村山市教育委員会の基本方針に基づく主要施策・主要事業	4

教育委員会関係委員等職員配置状況

教育委員会関係委員	21
社会教育関係委員(市長部局)	28
武蔵村山市教育委員会組織一覧	29
武蔵村山市青少年対策関係組織一覧(市長部局)	30

社会教育関係分掌事務一覧

社会教育関係分掌事務一覧	33
--------------	----

【文化振興課 生涯学習係】

生涯学習審議会	37
社会教育関係団体に対する援助	40
1 社会教育関係団体への補助金等	40
2 社会教育関係団体登録制度	41
令和4年度社会教育関係団体一覧	41
3 太鼓、バストラム等の貸出し	43
市民文化祭	45
20歳を祝う会	47
出前講座むさしむらやま塾	48
生涯学習フェスティバル	50
武蔵村山市放課後子供教室	52
放課後子供教室運営委員会	53
武蔵村山市地域未来塾	54
学校週5日制対応事業	56
1 狭山体験・ものづくり教室	56
2 チャレンジ教室	57
土曜日チャレンジ学校運営委員会	58
武蔵村山市屋外体験学習広場	59
公民館事業	64
1 市民講座	64
2 家庭教育講座	65
3 シルバー教室	65

4 百人一首大会	66
5 青少年教室	66
施設利用の記録	67
1 年間利用状況	67
2 月別利用状況	68
その他	82
1 印刷機の利用状況	82
2 複写機の利用状況	82
市民会館施設利用状況	83

【文化振興課 資料館係】

文化財保護	87
1 文化財保護審議会の記録	87
2 歴史散策コース除草等及び植木剪定等委託	87
3 第35回多摩郷土誌フェア参加	87
4 指定文化財	88
5 市史刊行物	90
文化財調査	92
埋蔵文化財試堀（確認）調査	92
歴史民俗資料館事業	93
1 展示活動	93
2 講座・教室	93
3 刊行物の発行	94
4 受贈資料	96
5 資料の閲覧・撮影	96
6 資料の貸出	96
7 文化財関係DVD・ビデオテープの貸出	96
8 文化財関係DVD・ビデオテープ一覧	96
9 歴史民俗資料館ホームページの公開	99
10 施設利用の記録	100
11 常設展示概要	101

【スポーツ振興課 スポーツ振興係】

スポーツ推進委員協議会	105
1 スポーツ推進委員の職務	105
2 スポーツ推進委員協議会の記録	105
スポーツ振興事業	107
1 いきいきわくわく狭山丘陵ウォーク第45回武蔵村山市歩け歩け大会	107
2 令和4年度武蔵村山市少年・古希軟式野球チーム親善試合	108
3 むさむらEKIDEN2022	109

4 教室	110
少年少女スポーツ振興事業.....	112
少年少女スポーツ大会.....	112
市民草の根スポーツ推進事業.....	115
1 スポーツ協力員.....	115
2 地区スポーツ協力員連絡会活動.....	116
地区ふれあいスポレク大会.....	118
姉妹都市交流事業.....	119
総合体育館利用状況.....	120
屋外体育施設等利用状況.....	121
学校体育施設開放利用状況.....	122
野山北公園プール利用状況.....	123
小学校校庭遊び場開放利用状況.....	124

【図書館】

図書館協議会の記録.....	127
図書館活動の記録.....	128
1 資料数.....	128
2 登録者数.....	130
3 貸出者数.....	131
4 資料貸出数.....	132
5 リクエストサービス.....	133
6 レファレンスサービス・複写サービス.....	134
7 宅配サービス.....	135
8 おはなしの会・朗読会.....	135
9 ブックスタート.....	136
10 除籍資料無償配布等及び不用雑誌無償配布.....	137
11 図書等の企画展示.....	138
12 図書館見学、職場体験等、ボランティア受入状況.....	139
13 小中学校との連携.....	140

【子ども青少年課】

青少年問題協議会.....	145
1 青少年問題協議会の職務.....	145
2 青少年問題協議会の記録.....	145
令和4年度武蔵村山市青少年健全育成重点施策.....	146
武蔵村山市青少年健全育成基本方針（令和3年度～令和7年度）.....	147
青少年対策協力者への感謝状贈呈の骨子.....	153
青少年対策地区委員会.....	154
1 青少年対策地区委員会の概要.....	154

2	令和4年度青少年対策地区委員会補助金交付額一覧表	154
3	青少年対策地区委員会の活動実績	155
4	青少年対策地区連絡会の記録	156
	青少年補導連絡会	157
1	青少年補導連絡会の概要	157
2	青少年補導連絡会の活動実績	157
	武蔵村山市青少年健全育成協力店指定制度の概要	159
	武蔵村山市青少年健全育成協力店指定登録店舗一覧	161

資 料

	武蔵村山市教育委員会組織一覧（令和5年4月1日現在）	165
	武蔵村山市青少年対策関係組織一覧（市長部局）	166
	令和5年度武蔵村山市教育委員会の基本方針に基づく主要施策・主要事業	167
	生涯学習関連施設一覧	171

教育委員会の教育目標

武蔵村山市教育委員会の教育目標

武蔵村山市教育委員会は、日本国憲法及び教育基本法の精神にのっとり、我が国と郷土の未来を切り拓く^{ひら}教育の基本を確立し、その振興を図るため、以下の「教育目標」を制定する。

学校教育においては、家庭における教育の成果を基盤としながら、児童・生徒が、豊かな心を持ち、確かな学力や健やかな体力を身に付けることができるようにするために、

- 自ら学び、主体的に判断し、創造力豊かに、よりよく問題を解決しようとする子供
- 思いやりと協力を重んじ、規範意識及び公共の精神に基づき、進んで社会の形成に参画しようとする子供
- 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与しようとする子供
- 伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、国際社会の平和と発展に貢献しようとする子供

の育成を重視する。

社会教育においては、あらゆる場所における学習を通して、市民一人一人が、自己の人格を磨き、互いに支え合いながら豊かな人生を送ることができるようにするために、

- 自ら進んで、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と健やかな身体を養おうとする人間
- 個人の尊厳を重んじるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の発展に寄与しようとする人間
- 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与しようとする人間
- 伝統と文化を継承し、我が国と郷土を愛するとともに、新しい文化の創造及び世界の平和と人類の福祉に貢献しようとする人間

を育成する生涯学習社会の実現を目指す。

上記の教育目標の達成に向けて、武蔵村山市教育委員会は、児童・生徒及び市民のための教育が、家庭・学校及び地域のそれぞれが責任を果たし、連携して行われることを目指して、施策の充実を図っていく。

平成23年12月 教育委員会決定

令和４年度 武蔵村山市教育委員会の基本方針に 基づく主要施策・主要事業

武蔵村山市教育委員会は、「教育目標」を達成するために、「武蔵村山市教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱・武蔵村山市第三次教育振興基本計画（令和４年２月策定）」で定めた「基本方針」に基づき、武蔵村山市の特性を生かして、令和４年度における主要施策・主要事業を総合的に推進する。

【基本方針１ 生きる力を育む教育の推進】

知識基盤社会において、いかに社会が変化しようと、子供たち一人一人が、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決することができるようにするために必要な「生きる力」を育むことが求められる。

また、これからの子供たちには、「何を学ぶか」だけでなく、「何を理解しているか、何ができるか」、「理解していること・できることをどう使うか」、「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」という三つの柱で資質・能力を育成するとともに、誰一人取り残さない持続可能な社会づくりに貢献できる人材を育成することが重要である。

そのために、家庭における教育の成果を基盤としながら、子供たちの確かな学力の定着や健やかな心と体の育成を図ることができる教育を推進する。また、思考力・判断力・表現力等を育む教育や、持続可能な開発目標（SDGs）の理念等を踏まえ、地域の課題から地球規模の諸課題まで幅広く自らの課題として考え、解決する力を育む教育を推進するとともに、個に応じたきめ細やかな指導の充実を図る。

（１） 人権尊重の理念を広く社会に定着させ、あらゆる偏見や差別をなくすため、国が策定

した「人権教育・啓発に関する基本計画」や「東京都人権施策推進指針」等に基づき、人権教育を推進する。

① 東京都教育委員会作成の「人権教育プログラム（学校教育編）」等の活用を通して、

「東京都人権施策推進指針」に示された、女性、子供、高齢者、障害者、同和問題、アイヌの人々、外国人、H I V感染者・ハンセン病患者等、犯罪被害者やその家族、インターネットによる人権侵害、北朝鮮による拉致問題、災害に伴う人権問題、ハラスメント、性同一性障害者、性的指向、路上生活者、その他の様々な人権課題に関わる偏見や差別の解消を図るための指導を徹底する。

また、新型コロナウイルス感染症に関連する偏見や差別意識の解消についても同様に指導を行う。

- ② 多様性を認め、児童・生徒一人一人が、性差や人種、障害等にとらわれず活躍できる教育を推進する。
 - ③ 「武蔵村山市いじめ防止対策推進条例（平成31年3月制定）」によって定められた責務を果たすとともに、学校と家庭・地域が連携して、「いじめを許さない、見逃さない」ことを、学校に徹底して指導する。また、いじめはどの学校でもどの子供にも起こり得るとの認識の下、学校組織全体で子供たちの実態を確実に把握し、全教職員の共通理解の下に、いじめの未然防止と確実な解消に努める。
 - ④ 「いじめ撲滅宣言（平成24年10月採択）」の趣旨を踏まえ、子供たちが、いじめは人として恥ずかしい行為であると自覚し、自らの言動を振り返ることができるよう、意図的・計画的な指導を行う。
- (2) 子供たちが思いやりの心を持ち、規範意識や社会貢献の精神を身に付けることができるようにするために、家庭における教育を基盤とした心の教育を推進する。
- また、各中学校区学校運営協議会、地域と連携して実施されるボランティア活動等を充実させ、子供たちの豊かな心の育成を図る。
- (3) 子供たちが、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を持ち、公共の精神を尊び、民主的な社会及び国家の発展に努め、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献できるようにするために、学校・家庭・地域、関係機関との連携の下に、道徳教育の充実、改善を図る。

「特別の教科 道徳」では、教科書を活用した指導はもとより、文部科学省作成の「私

たちの道徳」や東京都道徳教育教材集等の資料を補助的に活用し、各教科等における道徳教育との密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によって道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての自覚を深められるようにするとともに、道徳的实践力を育成する。

さらに、「道徳授業地区公開講座」の内容を各学校が創意工夫し、学校・家庭・地域、関係機関等が一体となって、子供たちに対する道徳教育の在り方を考える機会に資する。

- (4) 教員は、子供たちへのあたたかい授業づくりを第一に考え、「子供たちの内面の表出を待つ、聴く、受け止める」という姿勢を大切にする。また、「武蔵村山市の児童・生徒の学力向上に向けて（令和2年3月）」を踏まえ、学力向上推進委員会において、今後の学力向上施策の検討を引き続き行うとともに、学校・家庭・地域が連携した学力向上策を総合的に推進する。

- ① 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を通して、全ての子供たちの基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成を図る。また、子供たちの知的活動、コミュニケーション、感性・情緒の基盤となる言語能力の向上を図る。

- ② 確かな学力を身に付けさせる基盤となる学習意欲の向上及び学習規律の確立を図るため、少人数指導、習熟度別指導、ティーム・ティーチング、補習教室等、指導方法の工夫・改善に努め、個に応じた指導を推進する。

- ③ 小・中学校9年間を通じて、「武蔵村山市立学校 漢字ステップアップシート」を活用した指導を充実させるとともに、小学校第4学年及び第6学年で武蔵村山市「漢字検定」を実施し、目標をもって、意欲的に学習に取り組む態度を育成する。

- ④ 「全国学力・学習状況調査」、東京都及び本市による「児童・生徒の学力向上を図るための調査」等を通して、全ての子供たちの学力の定着状況及び学習への意識を把握するとともに、これらの結果等を踏まえた課題解決を図るための「授業改善推進プラン」を作成し、その内容を「週ごとの指導計画」に反映した授業改善を推進する。さらに、東京ベーシック・ドリルを活用し、組織的に学力向上に取り組む。

- (5) 各学校における「学校図書館活用計画」に基づき、学校図書館担当教員、司書教諭、学校司書、教育ボランティア等の連携により、学校図書館の利用を促進するとともに、読み聞かせ等の活動を充実させることを通して、子供たちが進んで読書をしようとする意欲や態度を育成する。
- (6) 各校の「体力向上全体計画」を踏まえ、学校・家庭・地域が連携した体力向上策を総合的に推進する。
- ① 学校2020レガシーの充実を図り、ボランティアマインド、障害者理解、スポーツ志向、日本人としての自覚と誇り、豊かな国際感覚等、多くの資質・能力を身に付けさせるための取組を展開する。
- ② 東京都統一体力テストを通して、子供の体力の実態を把握するとともに、全ての子供たちが、楽しく、安心して運動に取り組むことができるようにし、その結果体力の向上につながる体育・保健体育科の授業改善を推進する。
- (7) 「第三次 学齢期における歯の健康づくり推進プラン（平成31年3月）」に基づき、学校や関係機関と連携して、児童・生徒の歯及び口腔の健康づくりに関する施策を推進する。
- (8) 「学校防災計画」、「安全指導計画」を踏まえ、東京都教育委員会作成「防災ノート～災害と安全～」等を活用した安全指導、避難訓練を意図的・計画的に実施する。また、家庭、地域、関係機関等と連携したセーフティ教室、交通安全教室、地域安全マップの作成等を通して、子供たちが安全に関する情報を正しく判断し、自他の危険を予測し回避する能力や、他者や社会の安全に貢献できる資質や能力を身に付けることができるようにする。
- (9) 家庭、地域、関係機関等と連携し、地域安全マップの作成等地域の実態に応じた学校の安全教育の充実を図るとともに、スクールガード・リーダーに委嘱した安全及び防犯の専門家による各小学校及び通学路の巡回を実施し、学校における安全管理を推進する。
- また、小学生による下校時の見守り放送や、地域住民の協力の下に組織された「子ども安全ボランティア」に対する、物品貸与を通じて、子供の登下校時の安全を確保する

取組を推進する。

- (10) GIGAスクール構想における一人一台のタブレット端末や電子黒板、デジタル教科書、その他ICT機器の有効な活用を図り、子供たちが意欲的に学習に取り組めるようにする。また、情報活用能力や情報モラルを身に付けさせる指導の充実を推進するとともに、小学校におけるプログラミング教育の推進を図る。

- (11) 各教科等を通じて、日本の伝統や文化、東京都や武蔵村山市の歴史と風土について学ぶ機会の充実を図り、伝統や文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、国際社会の平和と発展に貢献しようとする態度を育む教育を推進する。

また、モンゴル国、横田基地内の小・中学校、東南アジア諸国及びアメリカ合衆国の現地小学校等との交流を通して、国際理解教育の充実を図る。

- (12) 英語を通じて、言語や文化についての理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するため、各学校におけるALTの活用を一層推進する。

また、小学校においては、外国語及び外国語活動の時間を計画的、系統的に指導できるよう、教科書はもとより、文部科学省作成「We Can!」、「Let's Try!」、東京都教育委員会作成「Welcome to Tokyo」及び「武蔵村山市立小学校英語活動モデルカリキュラム」を効果的に活用して、学級担任とALTや英語活動支援員との連携により、英語の音声や基本的な表現に親しみせながら、子供にコミュニケーションの素地を養う指導の充実を図る。

- (13) 子供に勤労観・職業観を育み、主体的に進路を選択する能力や態度を育成するため、各学校における「キャリア教育全体計画」に基づき、小学校段階から組織的、系統的なキャリア教育を推進する。

特に中学校では、職場体験を充実させ、生徒に働くことの意義について理解を深めさせる。

また、キャリア教育に関わる活動について振り返りを行う「キャリア・パスポート」を小学校から高等学校まで引き継いで活用することができるようにする。

- (14) 「第五次武蔵村山市特別支援教育推進計画（令和3年3月策定）」に基づき、各学校に

における特別支援教育のより一層の充実を図る。

- ① 特別支援教育コーディネーター及び校内委員会を中心とした組織全体による支援体制を構築するとともに、特別支援教育に係る教員の研修を充実させる。
 - ② 武蔵村山市特別支援教育専門委員会、武蔵村山市特別支援教育連携協議会及び特別支援教育巡回相談制度を通じて、関係機関等との連携による「早期発見・早期連携・早期支援」に向けた体制を引き続き推進する。
 - ③ 子供の在籍学級にかかわらず、個別の支援が必要な子供の「学校生活支援シート」及び「個別指導計画」の作成・活用を推進し、子供一人一人の実態を踏まえた組織的な指導・支援を一層充実させる。
 - ④ 特別支援教室及び通級指導学級における指導の充実を図るとともに、各学校における個別の指導・支援の在り方を検討することを通して、通常の学級に在籍する子供に対する個別指導と集団適応への支援を推進する。
- (15) いじめ、暴力、非行、情緒の不安定、不登校をはじめとした学校への不適応等、子供の多様な課題に対応するため、互いに認め合い、共に学び合う環境づくりを推進するとともに、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育相談室相談員、適応指導教室指導員や福祉・医療機関等の関係諸機関と連携しながら、学校組織全体による教育相談体制を構築し、保護者との信頼関係に基づく子供一人一人へのきめ細かな指導・支援を実現させる。

【基本方針２ 学校・家庭・地域の連携・協働の推進】

我が国と郷土の未来を切り拓く子供たちのための教育が、一層効果的に行われるようにするために、学校・家庭及び地域社会が、それぞれの機能を十分に発揮して、その責任を果たすとともに、これまで以上に連携・協働体制を強化することが求められる。

そのために、コミュニティ・スクールとして開かれた学校づくりを推進するとともに、地域社会全体で子供たちを育てる仕組みの構築を図る。

- (1) 市内全小・中学校の学校運営協議会が、中学校区を基盤に連携し、情報を共有するとともに、切磋琢磨しながら、地域に開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- (2) 各小・中学校においては、一斉学校公開週間等、保護者・市民への授業等の公開を通して、教育活動の成果と課題についての意見を聴取し、教育活動の改善に努めるとともに、各学校の教育活動に対する一層の理解と協力を得る機会とする。
- (3) 「東京都教育の日」に係る各学校における事業等の機会を通して、保護者や市民の教育に対する関心を一層高めるとともに、学校・家庭・地域がそれぞれの責任を果たしながら、連携して、子供たちの健全育成を図ることができるようにする。
- (4) 学校行事等のタイムリーな話題をはじめ、特色ある様々な学校の教育情報を、保護者、地域の方々に分かりやすく、迅速・的確に発信するため、学校ホームページの充実を図る。
- (5) 教育情報を迅速かつ的確に家庭へ提供し、学校と家庭の円滑な連絡体制を構築する。
- (6) 放課後に子供たちの安全で安心な居場所を確保するため、「放課後子供教室」の拡充を図る。

また、放課後子ども総合プランに基づき、平成２７年度から実施している学童クラブとの一体型の運営を推進する。

- (7) 保護者が子の教育の第一義的責任を有すること及び家庭が教育の根本であることを基本とし、学力向上推進委員会作成の「レッツ・チャレンジ」、体力向上推進委員会作成の「レッツ・トライ・スポーツ」、各学校で作成した啓発資料等の活用を図ることを通して、学校と家庭が連携して、子供たちが基本的な生活習慣、学習習慣、規範意識、思いやり

や自尊感情等を身に付けることができるようにする。

- (8) 地域住民等による子ども安全ボランティア及びスクールガード・リーダー等による登下校時の安全見守りや防犯パトロール活動を充実させるとともに、学校における定期的・計画的な学校施設等の安全点検を徹底させることにより、学校及び地域における子供たちの安全確保を一層推進する。

また、登下校時に不審者に声をかけられたりした場合に逃げ込んで助けを求める緊急避難所を確保する。

- (9) 家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身に付いていない児童・生徒を対象に、地域住民等の協力により「地域未来塾」事業を推進し、学習支援を実施する。

【基本方針3 教育の質の向上と教育環境の整備】

保護者や地域から信頼される学校づくりを実現するために、義務教育9年間を見通した教育活動の充実を図り、教員が、自らの資質や能力を向上させるとともに、成果と課題の検証に基づき、教育活動の改善を図ることが求められる。

そのために、教員対象の研修や、校内における人材育成のための組織を確立するとともに、学校評価に基づく経営改善を推進する。

また、学校における教育活動の効果を一層高めるため、「GIGAスクール構想」により整備されたタブレット端末を活用して、個別の教育的ニーズや学習状況に応じた学習を充実させるとともに、施設、教育機器等の教育環境の整備を推進する。

- (1) 義務教育9年間を通して、系統的・継続的な教育活動を全校で展開するため、中学校区ごとの目指す生徒像を明確にし、その具現化に向けた取組を充実させるとともに、校内研究等による授業交流等を通して、小・中学校教員の指導観の一貫を目指した施設一体型、施設隣接型及び施設分離型の小中一貫教育を推進する。
- (2) 子供たちが、自ら学び、主体的に判断し、創造力豊かに、よりよく問題を解決することができるよう、子供たちに身に付けさせたい資質・能力を明確にした学校経営方針に基づく校内研究を、中学校区全体で計画的に推進し、組織的な指導の工夫・改善を図るとともに、その成果を市内全校に還元する。
- (3) 中学校における部活動外部指導者の配置を推進し、生徒の部活動加入率を向上させ、部活動の一層の活性化を図る。
- (4) 校内における研究授業・研修、小・中学校教育研究会等、教育課題を踏まえた様々な教員研修を充実させ、教員の意識改革を図るとともに、指導力や資質を一層向上させる。
- (5) 学校運営において、教職員が多様な専門家と連携・協働しながら対応していく新しい組織運営への転換を図り、学校マネジメントの強化、学校事務室職員の専門性の向上等の取組を推進していく。また、校務支援システムの活用や学校事務の共同実施、スクールサポートスタッフの活用等を通して校務改善を推進し、教職員が児童・生徒と関わる時間をより一層確保し、教育活動の充実を図る。

- (6) 各学校における事案決定規程に基づき、校長・副校長・主幹教諭・指導教諭及び主任教諭による組織マネジメントの強化を図るとともに、OJT責任者、OJT担当者及び各教員の経験等に応じて身に付けさせる力等を明確にして、組織的・計画的に、校内におけるOJTを推進し、学習指導、生活指導、進路指導、外部との連携・折衝、学校運営、組織貢献等に係る教員の資質向上を図る。
- (7) 各学校が策定する「学校評価計画表」の中期及び短期経営目標、具体的方策に基づき、努力指標及び成果指標の上位達成を目指して、組織的・計画的に教育活動を推進する。
- また、評価結果を保護者・市民等に公表するとともに、その結果を踏まえた改善策を次年度の教育課程に反映させ、PDCAサイクルの確立を図る。
- (8) 学校における組織的な危機管理を進めるために、危機への対応について定めた「武蔵村山市立学校危機管理対応マニュアル」を基に学校の特性に応じたマニュアルを活用するとともに、研修等を実施し、教職員一人一人の危機管理に対する意識を高める。
- (9) 児童・生徒の安全確保や災害時の避難所となる学校施設を長く健全に使用するため、「学校施設長寿命化計画」に基づき、中長期的な観点から、計画的改修を推進する。
- (10) 教育委員会が行う事務事業について点検及び評価を行い、有識者の意見を踏まえ、「教育委員会事務事業点検・評価報告書」を作成し、市議会及び地域住民に対して公表することにより、諸事業の成果と課題についての説明責任を果たすとともに、教育行政の今後の方向性を明らかにし、効果的な教育行政の推進を図る。
- (11) 各学校で組織されているグリーン・サポーターを中心に、各学校の校庭に整備された芝生の適切な維持管理を行うとともに、環境教育、情操教育、体力向上等の視点から、芝生を有効に活用した教育活動を推進する。
- (12) 環境にやさしい自然エネルギーを活用したエコスクール化を図るため、市立中学校を対象に設置した太陽光パネルを活用し、生徒が、環境保全への意識を高めることができるよう、指導の充実を図る。
- (13) 良好な教育環境を確保するため、また、新型コロナウイルス感染症対策の一つとしての換気を十分に行うため、各学校に整備した空調設備を有効的に活用する。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、新しい生活様式を取り入れた感染防止対策の徹底を図るとともに、校内環境を整備する。

- (14) 児童・生徒と向き合う時間、教材作成の時間を生み出すため、全校に導入している校務支援システムを活用し、校務の効率化を積極的に推進する。
- (15) 学校の教育活動の効果を一層高め、児童・生徒にとって望ましい教育環境を確保するため、「武蔵村山市立学校規模等適正化基本方針（平成20年4月）」、「武蔵村山市立学校少人数学級編制対応報告書（平成23年7月）」等に基づき、学校規模及び学級編制の適正化を推進する。
- (16) 長期休業期間の弾力的な運用、振替休業日を伴わない土曜授業の実施、振替休業日の効果的運用等、教職員と子供たちへの負担を十分に勘案しながら、子供たちによる学習活動や生活目標に関する振り返りを定期的に行い、自己の成長を自覚しつつ新たな目標を設定するとともに、直面する教育課題の合理的な解決を図るための特色ある教育活動を一層推進する。
- (17) 食育と地産地消を重視し、地元農家の協力を得て、地場食材を積極的に活用し、安全・安心な学校給食を提供する。

また、小学校学校給食については、老朽化した市立学校給食センターに代わる施設として、「防災まちづくり構想」に基づき、災害時は応急給食等を行う防災施設として稼働し、平常時は学校給食の提供等を行う「(仮称) 防災食育センター」の整備事業を推進し、学校給食調理等業務の民間委託の実施に向け、事務を進める。

民設民営の委託方式により実施している中学校学校給食調理等業務については、引き続き業務の適正な運営を監理する。

- (18) 学校におけるアレルギー疾患対策については、「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン（日本学校保健会）」に基づき実施しているが、万一、児童・生徒がアレルギー症状を発症した場合には、「食物アレルギー緊急時対応マニュアル（東京都）」、「武蔵村山市立学校アレルギー疾患への対応マニュアル」及び「緊急（アナフィラキシー発症）時対応のフローチャート（掲示用）」に基づき、全ての教職員が迅速かつ的確に対応

し、児童・生徒の安全確保に努める。

- (19) 社会全体で次代を担う人材を育成する主旨に基づき、高校生等に奨学金を支給する。

【基本方針 4 自己実現を目指す生涯学習の推進】

「人生100年時代」の到来が予測される中、あらゆる場所における学習を通して市民一人一人が、自己の人格を磨き、互いに支え合いながら豊かな人生を送ることができるようにするとともに、我が国と郷土を愛し、主体的に社会の発展に寄与しようとする気持ちや態度を育む生涯学習社会の実現が求められる。

そのために、市民が生涯を通じて、自ら学んだり、伝統や文化に触れたりすることができる多様な学習機会の充実を図るとともに、「武蔵村山市スポーツ都市宣言」の趣旨を踏まえ、スポーツとの関わりをもてる環境整備を進め、スポーツ活動の振興を図る。

- (1) 市民の主体的な生涯学習活動の支援を一層充実させるため、「武蔵村山市第五次生涯学習推進計画」に基づき、公共施設予約システムを運用し、生涯学習情報を提供するとともに、(仮称)生涯学習センターの整備等を検討する。

また、「武蔵村山市第五次生涯学習推進計画」の指針に基づき、市民の生涯学習の支援の充実を図る。

- (2) 市民の自主的な社会参加活動を促進するため、「出前講座」の内容の充実を図るとともに、学習・交流の機会の拡充、情報の収集・提供、学習相談の充実を図る。

また、市民主体による体験発表・体験学習・世代間交流の場としての「生涯学習フェスティバル」、学校週5日制に対応する事業としての「土曜日チャレンジ学校」への支援を行う。

- (3) 子供たちが進んで読書をしようとする意欲や態度を育むため、「武蔵村山市第四次子供読書活動推進計画」に基づき、「おはなしの会」等の充実を図るとともに、子供たちが集まる場所等への出前おはなしの会を行う。

また、学校図書館との連携・協力を強化し、団体貸出、読書相談及び資料相談等の読書活動に関する施策を推進する。

- (4) 市民の読書活動をより一層推進するため、市民ニーズに対応した図書及び視聴覚資料の収集に努める。また、図書館利用の促進を図るために、子供や保護者向けの推薦図書

リストの作成や図書館システムによる読書記録の提供、企画展示の定期的実施、朗読会等の継続した開催等、読書についての興味を喚起する。

また、市民の利便性を向上させるため、電子図書の導入について検討する。

- (5) 「武蔵村山市第二次スポーツ推進計画（令和4年3月）」に基づき、地域の現状や市民のニーズを的確に捉えながら、本市生涯スポーツ施策の総合的かつ計画的な推進を図る。

- (6) 総合体育館を拠点として、スポーツ・レクリエーション事業の拡充を図り、市民の健康・体力づくりを推進する。

また、全ての市民が、様々なスポーツをいつでも体験・実施できるよう、地域のアイデアで自主的に運営される「総合型地域スポーツクラブ」の運営を支援するほか、クラブの認知度の向上に努める。

- (7) 「スポーツ都市宣言」の理念を踏まえ、スポーツを通じて市民が豊かで健康的な生活を営むことにより、賑わいと活力あるまちづくりを進めるため、スポーツ・レクリエーションに関する施策の充実を図る。

また、スポーツ少年団の充実を図り、スポーツを通じた青少年の健全育成を推進する。

- (8) 学校をはじめとする教育施設は、市民の共有財産であるとの観点から、学校施設の開放や施設の一層の効率的な管理・運営を図る。

- (9) 武蔵村山市に伝わる有形・無形の文化財の保護に努めるとともに、歴史民俗資料館収蔵資料の展示・公開や歴史講座等、各種講座・教室の実施により、市民の文化財保護に対する意識の高揚を図る。

また、歴史散策コースの周知を図り、市民の文化財等への関心の向上に努める。

- (10) 歴史民俗資料館及び分館を活用し、市内に軍事施設が存在したことを後世に伝えるとともに、戦争の悲惨さ、平和の尊さについて学ぶ場を広く市民等に提供する。

- (11) 市民が生涯学習に幅広く取り組むことができる機会を提供するため、各種講座の開設等を通して、新たな文化の創造・交流の場の実現を図る。

【基本方針5 教育財産の有効活用の推進】

市が保有する財産を最大限活用するという観点から、教育財産についてもその活用を推進することが求められる。

そのために、特に学校施設は、様々な用途を考え、多様な観点に立って積極的な活用を推進する。

- (1) 小学校の余裕教室等を活用して、放課後の子供たちの安全で安心な居場所を確保するとともに、多様な学習の充実、地域住民との交流活動等の取組を推進することにより、教育財産の有効な活用を図る。
- (2) 学校教育に支障のない範囲で、学校施設を市民に広く開放することにより、教育財産の有効な活用を図る。
- (3) 公民館、図書館、市民会館等の生涯学習施設との機能分担の在り方等に配慮しながら、中央図書館、中央公民館の機能を併せもつ複合施設としての（仮称）生涯学習センターの設置について検討を進める。

教育委員会関係委員等 職員配置状況

教育委員会関係委員

(令和5年3月31日現在)

教育委員

番 号	職 名	氏 名	任 期
1	教 育 長	池 谷 光 二	令和3年4月1日から令和6年3月31日まで
2	教育長職務代理者	大 野 順 布	令和2年1月1日から令和5年12月31日まで
3	教 育 委 員	杉 原 栄 子	令和2年10月1日から令和6年9月30日まで
4	教 育 委 員	比留間 雅 和	令和3年10月1日から令和7年9月30日まで
5	教 育 委 員	潮 美 和	令和4年10月1日から令和8年9月30日まで

生涯学習審議会委員

番 号	職 名	氏 名	任 期	選出区分
1	会 長	齊 藤 イト子	令和4年4月1日から 令和6年3月31日まで	社会教育の関係者
2	副会長	石 橋 修	〃	家庭教育の向上に資する 活動を行う者
3	委 員	原 田 妙 子	〃	〃
4	〃	三 品 孝 之	令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで	学校教育の関係者
5	〃	渡 辺 達 昭	令和4年4月1日から 令和6年3月31日まで	社会教育の関係者
6	〃	小 川 香代子	〃	家庭教育の向上に資する 活動を行う者
7	〃	高 橋 裕 子	〃	学識経験のある者
8	〃	吉 田 邦 子	〃	生涯学習について識見を 有する者
9	〃	河原塚 達 樹	〃	学識経験のある者
10	〃	中 里 行 利	〃	生涯学習について識見を 有する者

1 1	委 員	長 潟 謙 彰	令和4年4月1日から 令和6年3月31日まで	生涯学習について識見を 有する者
1 2	〃	木 下 千 里	〃	公募委員
1 3	〃	長 堀 雅 春	〃	〃

スポーツ推進委員

(令和5年3月31日現在)

番 号	職 名	氏 名	任 期
1	会 長	川 島 良 夫	令和4年4月1日から 令和6年3月31日まで
2	副会長	加々見 茂	〃
3	委 員	石 井 幸 男	〃
4	〃	小 林 美 保	〃
5	〃	谷 口 貴 信	〃
6	〃	田 畑 智 美	〃
7	〃	津 野 晃	〃
8	〃	富 田 弘 恵	〃
9	〃	富 山 圭 子	〃
10	〃	長 野 善 郎	〃
11	〃	長 嶺 毅	〃
12	〃	丸 山 美保子	〃
13	〃	八 代 忠	〃

文化財保護審議会委員

(令和5年3月31日現在)

番 号	職 名	氏 名	任 期	専 門 分 野
1	会 長	蓮 沼 大 通	令和4年4月1日から 令和6年3月31日まで	有形文化財・民俗文化財
2	副会長	内 野 正	〃	有形文化財・史跡
3	委 員	加 園 一 茂	〃	無形民俗文化財
4	〃	斎 木 義 一	〃	有形文化財
5	〃	清 水 直	〃	無形民俗文化財
6	〃	田 代 隆 久	〃	無形文化財・民俗文化財
7	〃	多 田 仁 一	〃	有形文化財
8	〃	檜 崎 由 美	〃	有形文化財
9	〃	波多野 益 代	〃	無形民俗文化財
10	〃	原 田 英 治	〃	民俗文化財

図書館協議会委員

(令和5年3月31日現在)

番号	職 名	氏 名	任 期	選 出 区 分
1	委 員	押 本 純 樹	令和4年1月1日から 令和5年12月31日まで	学校教育の関係者
2	〃	清 水 実	〃	〃
3	〃	有 吉 保 和	〃	〃
4	〃	木 村 祐 子	〃	家庭教育の向上に資する活動を行う者
5	〃	草 間 教 子	〃	〃
6	〃	豊 泉 良	〃	〃
7	〃	清 野 智 美	〃	社会教育の関係者
8	〃	高 橋 裕 子	〃	〃
9	〃	森 田 明	〃	学識経験のある者
10	〃	山 田 義 高	〃	〃

放課後子供教室運営委員会

(令和5年3月31日現在)

番 号	職 名	氏 名	任 期	選 出 区 分
1	委員長	西 原 陽	令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで	教育部文化振興課長
2	副委員長	児 玉 眞 一	〃	子ども家庭部子ども青少年課児童担当課長
3	委員	井 内 潔	〃	小学校校長
4	〃	碓 井 幸 子	〃	社会教育関係者
5	〃	大 谷 恵美子	〃	児童福祉関係者
6	〃	石 川 裕 子	〃	社会教育関係者
7	〃	加 園 ゆかり	〃	武蔵村山市立学童クラブ関係者
8	〃	比留間 久美子	〃	武蔵村山市立学童クラブ関係者
9	〃	神 代 弘 喜	〃	地域住民
10	〃	新 垣 浩 代	〃	〃

土曜日チャレンジ学校運営委員会

(令和5年3月31日現在)

番 号	職 名	氏 名	任 期	選 出 区 分
1	委員長	西 原 陽	令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで	教育部文化振興課長
2	副委員長	碓 井 幸 子	〃	土曜日チャレンジ学校 の関係者
3	委 員	中 野 端 子	〃	〃
4	〃	高 橋 幸 子	〃	社会教育の関係者
5	〃	比留間 一 晴	〃	児童福祉の関係者
6	〃	齊 藤 イト子	〃	社会教育の関係者

社会教育関係委員(市長部局)

青少年問題協議会委員

(令和5年3月31日現在)

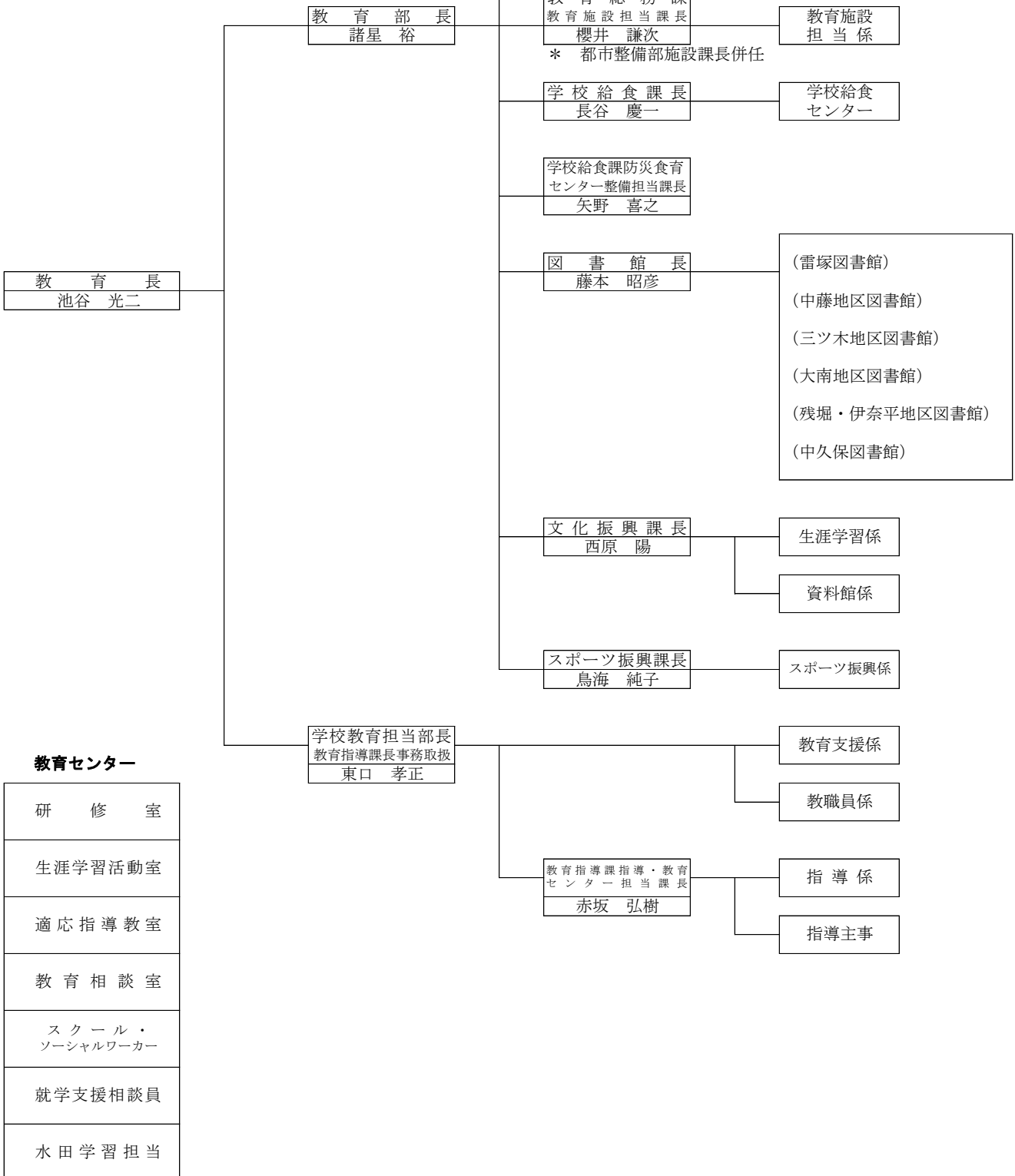
番 号	職 名	氏 名	任 期	選 出 区 分
1	会 長	山 崎 泰 大		市 長
2	副会長	池 谷 光 二	令和3年7月1日から 令和5年6月30日まで	教 育 長
3	委 員	土 田 雅 一	〃	市議会議員
4	〃	大 門 浩	〃	学識経験者
5	〃	大 谷 恵美子	〃	〃
6	〃	田 中 正 隆	令和4年7月1日から 令和5年6月30日まで	〃
7	〃	内 野 元 一	令和3年7月1日から 令和5年6月30日まで	〃
8	〃	石 橋 修	令和4年7月1日から 令和5年6月30日まで	〃
9	〃	清 野 和 祐	令和3年7月1日から 令和5年6月30日まで	〃
10	〃	小 池 恵 子	〃	〃
11	〃	中 村 明 博	〃	関係行政機関 の職員
12	〃	波 田 桃 子	令和4年7月1日から 令和5年6月30日まで	〃
13	〃	菅 雅由樹	令和3年7月1日から 令和5年6月30日まで	〃
14	〃	渡 邊 和 己	〃	〃
15	〃	吉 成 かおる	令和4年7月1日から 令和5年6月30日まで	〃
16	〃	榎 戸 千代子	令和3年7月1日から 令和5年6月30日まで	〃

武蔵村山市教育委員会組織一覧

令和4年4月1日現在

武蔵村山市教育委員会

教 育 長	池 谷 光 二
職 務 代 理 者	大 野 順 布
教 育 委 員	杉 原 栄 子
教 育 委 員	比 留 間 雅 和
教 育 委 員	潮 美 和



武蔵村山市青少年対策関係組織一覧（市長部局）

令和4年4月1日現在

武蔵村山市

市	長	山崎 泰大
副 市	長	石川 浩喜

市	長	子ども家庭部長	子ども青少年課長	手当・青少年係
山崎 泰大		乙幡 康司	佐藤 哲郎	

社会教育関係分掌事務一覧

社会教育関係分掌事務一覧

社会教育関係分掌事務一覧

(令和4年4月1日現在)

課(館)	分 掌 事 務
文 化 振 興 課	(1) 生涯学習及び社会教育の総合計画及び推進に関すること。 (2) 社会教育委員に関すること。 (3) 公民館運営審議会に関すること。 (4) 公民館の管理に関すること。 (5) 市民会館に関すること。 (6) 学習等供用施設(中部地区学習等供用施設及び雷塚地区学習等供用施設を除く。)の施設の維持管理に関すること。 (7) 地区会館(中部地区会館を除く。)の運営管理に関すること。 (8) 地区集会所の管理に関すること。 (9) 教育センターの生涯学習活動室の運営管理に関すること。 (10) 文化財に関すること。 (11) 文化財保護審議会に関すること。 (12) 歴史民俗資料館の管理に関すること。 (13) その他文化振興に関すること。
ス ポ ー ツ 振 興 課	(1) 社会体育の総合計画及び推進に関すること。 (2) スポーツ推進委員及び地区スポーツ協力員に関すること。 (3) スポーツ、レクリエーション等の振興に関すること。 (4) 総合体育館及び体育施設に関すること。 (5) 学校体育施設の開放に関すること。 (6) その他スポーツ振興に関すること。
図 書 館	(1) 図書館協議会に関すること。 (2) 公印の管守に関すること。 (3) 文書の収受及び発送に関すること。 (4) 図書館の管理に関すること。 (5) 図書館資料の選定、収集、整理及び保存に関すること。 (6) 図書館資料の閲覧及び貸出しに関すること。 (7) 読書案内及び読書相談に関すること。 (8) 読書会等の開催及び奨励に関すること。 (9) 調査、統計及び広報に関すること。 (10) 図書館の庶務に関すること。

図 書 館	(11) 武蔵村山市立学習等供用施設のうち地区図書館の運営管理に関する こと。 (12) 武蔵村山市立雷塚地区学習等供用施設及び武蔵村山市公民館中久保 分館の維持管理に関すること。 (13) 前各号に掲げるもののほか図書館に関すること。
子 ど も 青 少 年 課	(1) 青少年問題協議会に関すること。 (2) 青少年の健全育成に関すること（他の所管に属するものを除く。）。

文化振興課 生涯學習係

生涯学習審議会

生涯学習審議会は、市民の生涯学習の振興を図るため、武蔵村山市教育委員会の附属機関として設置された機関である。委員数は１３人以内（学校教育及び社会教育の関係者３人以内・家庭教育の向上に資する活動を行う者３人以内・学識経験者２人以内・生涯学習について見識を有する者３人以内・公募による市民２人以内）で、任期は２年です。

委員は、（１）①社会教育に関する施策の立案その他の生涯学習の振興に関すること。（２）社会教育法第１３条の規定による社会教育に係る補助金の交付に関すること。（３）武蔵村山市公民館条例第４条に規定する公民館における各種事業の企画実施に関すること。（４）その他、生涯学習の振興に関すること。について、教育委員会の諮問に応じて調査審議し答申するほか、必要に応じて教育委員会に提言することができます。

１ 生涯学習審議会の記録

日 時	会場等	議 題	主な報告事項
第１回 ４月１２日（火）	書面決議	・生涯学習審議会会長・副会長の選出について ・令和４年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について	・令和４年度社会教育関係予算について ・令和４年度生涯学習審議会関係予算について ・令和４年度社会教育関係事業の実施計画について ・令和３年度公民館講座実施報告について
第２回 ６月２３日（木）	さくらホール 集会室	・令和４・５年度の生涯学習振興の検討テーマについて ・令和５年度公民館講座について	・生涯学習審議会会長・副会長の選出について ・令和４年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について
第３回 ８月１２日（金）	書面決議	・令和５年度公民館講座について ・令和４年度市民企画講座について	・令和４年度公民館講座実施予定状況について ・令和４年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第２ブロック研修会について ・第５３回関東甲信越静社会教育研究大会山梨大会の開催お知らせについて

第4回 10月25日（火）	さくらホール 集会室	・「市民がつくる市民大学の 設立にむけての構想を進 める」（仮題）の検討にお ける終着点について	・令和4年度公民館講座実施 状況について ・令和5年度公民館講座につ いて ・令和4年度企画講座につい て
第5回 12月20日（火）	さくらホール 集会室	・市民大学立ち上げのため の検討組織について	・令和4年度公民館講座実施 状況について
第6回 令和5年2月28 日（火）	さくらホール 研修室	・市民大学検討小委員会で の検討結果について	・令和4年度公民館講座実施 状況について ・市民大学設立に向けた検討 小委員長について

2 東京都市町村社会教育委員連絡協議会（都市社連協）研修会等の記録

番号	日 時	会 場 等	内 容
1	4月23日（土）	府中市市民活動セ ンター プラッ ツ バルトホー ル	都市社連協 定期総会
2	10月29日（土）	立川市役所101 会議室	第2ブロック研修会 テーマ ・「市民のニーズを活かす・つなげる社会教育～ 対話からつくろう これからの「学び」～」 ・「わがまちならではの学び」
3	12月10日（土）	昭島市公民館小ホ ール	令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議 会交流大会・社会教育委員研修会 テーマ ・「市民のニーズを活かす・つなげる社会教育～ 対話からつくろう これからの「学び」～」

3 東京都市町村社会教育委員連絡協議会役員会等の記録

番号	日 時	会 場 等	内 容
1	7月12日（火）	アキシマエンス国際交流教養文化棟 2階 講習研修室	第1回理事会 ・令和4年度都市社連協ブロック研修会について ・令和5年度都市社連協交流大会・社会教育委員研修会実施要綱（案）について ・第52回関東甲信越静社会教育研究大会東京大会繰入金の取扱いについて

社会教育関係団体に対する援助

1 社会教育関係団体への補助金等

(1) 補助金

番 号	団 体 名	4 年度交付額	主 な 事 業 内 容
1	武蔵村山市文化協会 (加盟部門 21 部門)	2,520,000円	加盟団体の育成、市民文化祭の実施、文化活動の宣伝啓発など。
2	武蔵村山市体育協会 (加盟団体 17 団体)	4,447,009円	加盟団体の育成、都民大会・市町村総合体育大会への参加、市総合体育大会の実施、講習会への助成、体協だよりの発行など。
3	武蔵村山市 音楽文化振興協会	500,000円	コンサート・ワークショップ・学校教育支援の実施、加盟団体の育成、市主催の行事への参加、指導者・リーダーの人材育成。

(2) 交付金

番 号	団 体 名	4 年度交付額	主 な 事 業 内 容
1	武蔵村山市郷土芸能 連絡協議会 (加盟団体 7 部門)	252,000円	市内に伝承されている郷土芸能の保護、保存及び技術の向上を図り、各種文化活動への参加に努めている。
2	中藤地区スポーツ協 力員連絡会ほか (4 地区)	815,399円	年間を通じてスポーツ協力員の技術の向上と当該地域の市民の健康と体力の増進を図り、地域での草の根スポーツの振興に寄与している。
3	中藤地区ふれあいス ポレク大会実行委員 会ほか (4 地区)	0円	毎年体育の日の次の日曜日に市内を 4 地区にわけて、ふれあいスポレク大会を実施している。 ※新型コロナウイルス感染症対策のため、ふれあいスポレク大会は全地区中止となった。

2 社会教育関係団体登録制度

社会教育関係団体とは、社会教育法第10条で「公の支配に属しない団体で、社会教育に関する事業を行うことを主たる目的とするもの。」とされており、あくまでも自主的、自発的な、社会教育活動を行う団体です。当市では、社会教育関係団体登録要綱に基づき、登録の制度を実施しており、登録団体は市民会館、地区会館等の使用料の減免を受けられることがあります。

社会教育関係団体として登録できる団体の基準は、次のとおりです。（１）公の支配に属さない団体であること。（２）組織的かつ継続的に社会教育に関する事業を行うことを主たる目的とする団体であること。ただし、登録の基準に該当する団体でも、営利を目的とした行為、特定の政党の利害に関する行為、政治活動に関する行為、特定の宗派・教団等を支援する行為を行う団体は登録できません。

令和4年度社会教育関係団体一覧（令和5年3月31日現在）

	団 体 名		団 体 名
1	武蔵村山1FC（A）	2	武蔵村山1FC（B）
3	少年野球「青空チーム」青空会	4	武蔵村山市体育協会
5	武蔵村山市庭球連盟	6	武蔵村山市インディアカ連盟
7	武蔵村山市吟剣詩舞道連盟	8	プア・ウクレレと仲間
9	武蔵村山市バレーボール連盟	10	グレートベア
11	武蔵村山混声合唱団	12	武蔵村山紙飛行機クラブ
13	天元	14	ほうせん会
15	武蔵村山市グラウンド・ゴルフ協会	16	横中馬獅子舞保存会
17	J．J．たんぼぼ	18	武蔵村山市陸上競技会
19	武蔵わんぱく	20	コール・かたくり
21	和の会	22	武蔵村山少年少女合唱団
23	武蔵村山市民テニスクラブ	24	武蔵村山ハワイアン連盟
25	武蔵村山ハワイアン連盟（モキハナ）	26	オカリーナ 二輪草
27	MBファイターズ	28	ミニバスファイターズ
29	武蔵村山市民謡連盟	30	武州村山太鼓むつき会
31	教育を支援する市民の会	32	武蔵村山市音楽連盟

	団 体 名		団 体 名
3 3	少年野球「新小鳩」チーム	3 4	MMガールズ
3 5	武蔵村山市ソフトボール協会	3 6	村山いずみF C
3 7	少林寺拳法武蔵村山道院	3 8	ビクトリー村山F C
3 9	武蔵村山ファイターズ	4 0	健康太極拳・武蔵村山同好会
4 1	武蔵ライオンズ	4 2	武蔵村山ハワイアン連盟（レイ・ピカケ）
4 3	武蔵村山市文化協会	4 4	武蔵村山市バドミントン連盟
4 5	武蔵村山市日本舞踊教室「華の会」	4 6	武蔵村山市日本舞踊連盟
4 7	クロス・オーバー・ジェネレーション (COG)	4 8	タップダンス同好会
4 9	武蔵村山子どもの教育と文化を育てる会	5 0	武蔵村山市ソフトテニス連盟
5 1	武蔵村山市サッカー協会	5 2	ドゥ・エール新体操クラブ
5 3	和太鼓さくら	5 4	さくら s m i l e
5 5	V e n u s R . G	5 6	武蔵村山市音楽文化振興協会

《登録団体の要件》

- （１） 構成員が５人以上で、市内に在住、在勤、在学する者が半数以上含まれていること。
- （２） 主たる活動の場所及び事務所等の連絡先が市内にあること。
- （３） 団体の組織及び活動を行うための規約（会則）を有していること。
- （４） 会費を主たる財源にしていること。

３ 太鼓、バスドラム等の貸出し

（１）太鼓及び餅つき用具の利用状況（令和５年３月３１日現在）

月	太 鼓			餅 つ き 用 具		
	団体数(団体)	台 数(台)	延日数(日)	団体数(団体)	台 数(台)	延日数(日)
４						
５						
６	１	１	６			
７	２	２	９			
８						
９						
１０						
１１						
１２				４	４	２１
１				６	６	３１
２						
３						
合計	３	３	１５	１０	１０	５２

（２）バスドラム・ビブラフォン・ティンパニーの利用状況（令和５年３月３１日現在）

月	申請 団体数	バスドラム		ビブラフォン		ティンパニー	
		台数(台)	延コマ数	台数(台)	延コマ数	台数(台)	延コマ数
４	２	０	０	０	０	２	２
５	４	４	３	４	３	４	３
６	８	４	４	４	４	９	９
７	１７	５	４	５	４	２１	２０
８	１１	２	２	２	２	１６	１５
９	４	４	４	４	４	４	４
１０	８	１３	５	１３	５	１８	８
１１	１３	２５	１０	２５	１０	２８	１５
１２	１５	０	０	０	０	１５	１４
１	１７	１	１	１	１	１８	１８
２	８	３	３	３	３	９	９
３	９	６	６	４	４	９	９
合計	１１６	６７	４２	６５	４０	１５３	１２６

(3) 備品一覧

① 太 鼓

番 号	表 示	購入年月日	面 の 直 径	胴 回 り
1	NO. 1	平成16年9月 7日	48cm	190cm
2	NO. 2	昭和52年6月 4日	48cm	185cm
3	NO. 3	昭和54年5月18日	45cm	170cm
4	NO. 4	昭和56年7月 1日	48cm	190cm

大人用バチ 4組、子供用バチ 4組

② 餅つき用具

番 号	品 名	数 量	規 格
1	うす	2	内寸 尺3寸(39cm) 材質 けやき
2	きね	大4/小4	3.5寸(10.5cm) 材質 けやき/2.5寸(7.5cm) 材質 けやき
3	セイロ	6	丸型すいた付き 30cm
4	ふた	2	33cm
5	かま	2	30cm(4升)
6	かまど	2	鋳物 ひつつい型(5升) かまつば付き
7	エントツ	2	かまど用

③ バスドラム及びビブラフォン

番号	品 名	数 量	規 格
1	バスドラム	1式	ヤマハCB-836C (マレット2本及びカバー付)
2	ビブラフォン	1式	ヤマハYV-3000AJ (マレット2本及びカバー付)
3	ティンパニセット	1式	ヤマハTP-3100 23インチ、26インチ、29インチ、32インチ (マレット及びカバー付)

市民文化祭

文化協会の主催により、日ごろの芸術、文化活動の成果を発表、展示する機会を提供し、市民文化の向上と市民の心のふれあいを深めることを目的に、実行委員会を組織し、武蔵村山市民会館で開催されていました。

期間 令和4年11月3日(木・祝)～23日(水・祝)の土・日曜日及び祝日

場所 さくらホール（市民会館）

	日 時	部 門	会 場	出演者数 (人)	入場者数 (人)
1	11月3日(木・祝) 午前10時から午後4時30分まで	音 楽	大 ホ ー ル	100	1,250
2	11月5日(土) 午後1時から	フ ラ ダ ン ス	大 ホ ー ル	20	700
3	11月5日(土) 午後1時30分から 午後7時から 11月6日(日) 午後2時30分から 午後7時から 11月12日(土) 午後1時30分から 午後7時から	軽 音 楽	小 ホ ー ル	30	760
4	11月5日(土)・6日(日) 午前9時から午後5時まで ※6日は、午後4時まで	現 代 詩	会 議 室	12	250
5		盆 裁	展 示 室	15	250
6		切 り 絵	遊 戯 室	10	150
7	11月6日(日) 午前11時30分から	日 本 舞 踊	大 ホ ー ル	50	600
8	11月12日(土) 午前10時45分から	民 謡	大 ホ ー ル	51	300

9	11月12日(土)・13日(日) 午前9時から午後5時まで	郷土史	会議室	23	230
10	※13日は、午後4時まで	美術	展示室	25	350
11	11月13日(日) 午後2時30分から	和太鼓	大ホール	105	330
12	11月13日(日) 午前10時から	吟剣詩舞	小ホール	108	150
13	11月13日(日) 午前10時から午後3時まで	茶道	和室	13	73
14	11月18日(金) 午後7時から 11月19日(土) 午前11時・午後3時・7時から 11月20日(日) 午前11時・午後3時から	演劇	小ホール	22	350
15	11月19(土)・20日(日) 午前9時から午後5時まで ※20日は、午後4時まで	絵手紙	遊戯室	12	270
16		写真	会議室	12	210
17		書道	展示室	130	380
18	11月20日(日) 午後1時から	ハワイアン	大ホール	46	500
19	11月20日(日) 午前9時から午後4時まで	村山党・武士団	和室	16	80
20	11月23日(水・祝) 午後2時から午後4時30分	ウインドアンサンブル	大ホール		
合 計				800	7,183

※ウインドアンサンブルの人数は音楽部門に盛り込まれています。

20歳を祝う会

番 号	項 目	内 容			
1	日 時	令和5年1月9日（月・祝）			
		第一部		第二部	
		開場：午前10時30分 開式：午前11時00分		開場：午後0時30分 開式：午後1時00分	
2	会 場	さくらホール（武蔵村山市民会館）大ホール			
3	対象者	平成14年4月2日生まれから平成15年4月1日生まれの市民等			
4	内 容	式 典（市長・教育長挨拶、市議会議長祝辞、誓いのことば） 第一部 司 会：浦野滉大、長田絵美菜（市立第三中学校卒業生） 誓いのことば：安井健翔、吉田笑香、田中瑠晟、楠康伸（市立大南学園第四中学校卒業生） 受 付：石塚理貴、島津航大、アリアス・アンジェリック（市立村山学園第二中学校） 第二部 司 会：樋口翔太郎、渡辺愛由菜（市立第一中学校卒業生） 誓いのことば：小林泰生、石川葉音（市立第五中学校卒業生） 受 付：波多野富三郎、田中音羽、本田朱音（市立第一中学校卒業生）			
5	記念品	村山大島紬製小銭入れ・村山大島紬製カードケース			
6	出席者数等	項 目	男 性	女 性	合 計
		対 象 者	357人	393人	750人
		出 席 者	第一部：113人 第二部：161人 計：274人	第一部：102人 第二部：145人 計：247人	第一部：215人 第二部：306人 計：521人
		出 席 率	76.8%	62.8%	69.5%

※新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小し、二部制で開催した。

出前講座むさしむらやま塾

「出前講座むさしむらやま塾」は、市が行っている仕事に関する情報を提供する、生涯学習推進事業の一つです。

市内に在住、在勤、在学する人で構成された１０人以上の団体を対象にし、申込があった際に担当課の職員が出向き、講義や説明などを行います。

(１) 実施回数 ４４回

(２) 職名別派遣状況

内容職名	部長	課長	係長	主任	専門職ほか
回 数	0(0.0%)	2(4.6%)	36(81.8%)	2(4.6%)	4(9%)

※ 複数の職員が行った場合は、中心職員の職種。

(３) 実施時間帯の状況

	月	火	水	木	金	土	日	合計
午前	3	3	2	3	5	1 1	2	2 9
午後		2	2	2	3	3		1 2
夜間			1		1	1		3
合計	3	5	5	5	9	1 5	2	4 4

(４) 実施場所の状況

場 所	実施回数
公民館・分館・地区会館・地区集会所	1 4
教育センター・市民総合センター・緑が丘出張所	5
市民会館	1
自治会館・自治集会所	2 0
小・中学校	1
商工会館	0
緑が丘ふれあいセンター	0
その他	3

(5) 月別実施回数

年 月	実施件数	参加者 (延人数)
令和4年 4月		
5月	1回	26人
6月	4回	44人
7月	12回	322人
8月	5回	116人
9月	13回	347人
10月	3回	73人
11月	2回	25人
12月		
5年 1月	1回	18人
2月	2回	45人
3月	1回	10人
合 計	44回	1,026人

生涯学習フェスティバル

「生涯学習フェスティバル」は、市民が身に付けている技術を提供していただき、体験学習などをおして、生涯学習のきっかけづくりや地域の大人と子供との世代間交流の推進を図るものです。

1 実施団体

生涯学習フェスティバル実行委員会・武蔵村山市民会館

2 実施年月日

令和5年3月5日（日）午前10時から午後3時まで

3 場所

武蔵村山市役所市民駐車場・武蔵村山市民会館

4 協賛等団体

共催 武蔵村山市教育委員会

5 参加者等

一般来場者数 約1,200人

スタッフ（実行委員） 6人

協力者 25団体

【内訳】

・体験ブース 13団体

・舞台 10団体

・飲食 2団体

ボランティア 21人

6 実施内容

（1）体験ブース

竹とんぼ、生け花、紙飛行機作りと飛ばし方の指導、オリジナルバック作成、チョークアート体験、マジック披露と体験、木工工作、多肉植物アレンジ、福祉関係の情報提供、わなげ、テニササイズ

（2）舞台

合唱・コーラス（3団体）、尺八の演奏、ハンドベル・リコーダー演奏、フラダンス、バトンダンス、和太鼓演奏

(3) 飲食

焼きそば、フランクフルト、ポップコーン、綿あめ、飲み物、おからドーナツ、クロワッサン、コルネ、パン、ラスク

武蔵村山市放課後子供教室

放課後の空き教室を活用し、地域住民の協力のもと、子供たちの予習復習等の学びの場、スポーツや文化活動等の体験の場を創出し、安全で健やかな居場所づくりを推進しました。

この事業は、平成19年5月から第四小学校、雷塚小学校、20年10月から第二小学校、21年10月から第一小学校、第七小学校、22年11月から第九小学校、27年6月から第八小学校、令和4年9月から第三小学校、第十小学校で実施しています。

- 1 実施場所 武蔵村山市立第一小学校、武蔵村山市立第二小学校
武蔵村山市立第三小学校
武蔵村山市立小中一貫校村山学園第四小学校
武蔵村山市立小中一貫校大南学園第七小学校
武蔵村山市立第八小学校、武蔵村山市立第九小学校
武蔵村山市立第十小学校、武蔵村山市立雷塚小学校

- 2 ボランティア等の人数
- ・コーディネーター 9人
(内シルバー人材センター委託分 2人)
 - ・教育活動サポーター、学習アドバイザー 120人
(内シルバー人材センター委託分 29人)

- ### 3 利用の状況 (令和5年3月31日現在)

学校	在籍数 (人)	登録児童数 (人)	登録率 (%)	開設日数 (日)	延参加児童数 (人)	一日平均 (人/日)
第一小学校	386	132	34.2	186	4,272	23.0
第二小学校	376	154	41.0	186	4,683	25.2
第三小学校	386	48	12.4	119	802	6.7
村山学園	332	91	27.4	187	1,584	8.5
大南学園	610	358	58.7	186	10,514	56.5
第八小学校	690	278	40.3	186	10,677	57.4
第九小学校	253	105	41.5	180	2,719	15.1
第十小学校	465	75	16.1	105	1,989	18.9
雷塚小学校	287	116	40.4	185	2,317	12.5

※登録児童には転出等した児童も含まれる可能性がある

放課後子供教室運営委員会

1 目的

運営委員会は、放課後子供教室に関する次に掲げる事項についての検討及び協議を行うため、設置されたものです。

- (1) 安全管理の方策
- (2) 広報活動の方策
- (3) 教育活動サポーター、学習アドバイザー等の地域協力者の人材確保の方策
- (4) 活動プログラムの企画及び実施後の検証、評価等
- (5) 放課後児童健全育成事業（学童保育）との連携の方策
- (6) その他放課後子供教室の運営に関し必要な事項

2 会議の状況

	開催日時	会場等	主 な 議 題 等
1	令和4年7月19日（火）	さくらホール 会議室1・2	・武蔵村山市放課後子供教室運営委員会委員長及び副委員長の選出について ・武蔵村山市放課後子供教室で従事する人員の資質について
2	令和4年10月18日（火）	さくらホール 会議室1・2	・放課後子供教室での新型コロナウイルス感染症対策について
3	令和5年1月24日（火）	さくらホール 会議室1・2	・令和5年度学童クラブと放課後子供教室の連携について ・地域未来塾の運営について

武蔵村山市地域未来塾

経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難であり、又は学習習慣が十分に身につけていない児童・生徒の学習習慣の確立や基礎学力の定着等を図ることを目的とし、学習支援員を配置し、参加生徒の募集方法や開設日数等は学校ごとの実情にあわせて開講しました。

- 1 実施場所 武蔵村山市立第一小学校、武蔵村山市立第二小学校、
武蔵村山市立第三小学校、
武蔵村山市立小中一貫校村山学園第四小学校、
武蔵村山市立小中一貫校大南学園第七小学校、
武蔵村山市立第八小学校、武蔵村山市立第九小学校、
武蔵村山市立第十小学校、武蔵村山市立雷塚小学校、
武蔵村山市立第一中学校、
武蔵村山市立小中一貫校村山学園第二中学校、
武蔵村山市立第三中学校、
武蔵村山市立小中一貫校大南学園第四中学校、
武蔵村山市立第五中学校

2 利用の状況 (令和5年3月31日現在)

学校	学習支援員数※ (人)	開設日数 (日)	延参加児童・生徒数 (人)	一回平均 (人/回)
第一小学校	3	67	320	4.8
第二小学校	2	6	17	2.8
第三小学校	24	6	606	101
村山学園四小	15	55	862	15.7
大南学園七小	9	5	1,085	217
第八小学校	4	32	800	25
第九小学校	2	2	49	24.5
第十小学校	5	5	287	57.4
雷塚小学校	8	14	269	19.2
第一中学校	3	17	182	10.7
村山学園二中	15	6	19	3.2
第三中学校	27	46	996	21.7

大南学園四中	3	54	419	7.8
第五中学校	5	39	553	14.2

※重複等あり

学校週 5 日制対応事業

学校週 5 日制の実施に伴い、子供たちが、土曜日を有効に活用するための事業の実施の推進を行いました。

1 狭山体験・ものづくり教室

No	コース名	活動内容・活動場所	参加人数	参加費
1	狭山体験・ものづくり教室	① 狭山丘陵自然観察（野山北・六道山公園） ② ホタル観賞会（野山北・六道山公園） ③ オリエンテーリング（野山北・六道山公園） ④ 紙飛行機（教育センター・さいかち公園） ⑤ わら細工作り（第二小学校） ⑥ 秋の外遊び（野山北・六道山公園） ⑦ 凧作り（教育センター・さいかち公園）	126人	2,000円

2 チャレンジ教室

No	コース名	回数	対象学年	活動場所	参加人数	参加費
1	国語・算数コース	10回	小学5年生～ 6年生	第二小学校 算数教室等	30人	2,000円
2	子どもマナーコース	7回	小学3年生～ 中学3年生	中部地区会館 休養室	23人	2,000円
3	囲碁コース	7回	小学1年生～ 中学3年生	教育センター 研修室	89人	2,000円
4	絵手紙コース	8回	小学3年生～ 中学3年生	教育センター 実習室	60人	2,000円
5	料理コースⅠ	8回	小学4年生～ 中学3年生	市民会館 実習室	54人	2,000円
6	料理コースⅡ	8回	小学4年生～ 中学3年生	大南地区会館 実習室	50人	2,000円
7	手話コース	7回	小学3年生～ 中学3年生	教育センター 集会室	33人	2,000円
8	百人一首コース	6回	小学1年生～ 中学3年生	中部地区会館 404休養室	27人	2,000円
9	茶道コース	9回	小学4年生～ 中学3年生	中部地区会館 404休養室	69人	2,000円

土曜日チャレンジ学校運営委員会

1 目的

運営委員会は、土曜日チャレンジ学校に関する次に掲げる事項について検討し、及び協議するために設置されています。

- (1) 安全管理の方策
- (2) 広報活動の方策
- (3) 土曜教育支援員、土曜教育サポーター等の地域協力者の人材確保の方策
- (4) 教育プログラムの企画並びに教育プログラムの実施後の検証及び評価
- (5) その他土曜日チャレンジ学校の運営に関し必要な事項

2 会議の記録

※令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

武蔵村山市屋外体験学習広場

青少年が自然に親しみながら、青少年の心身の健全な育成を図ることを目的とし、武蔵村山市三ツ木四丁目１５番地の１において、武蔵村山市屋外体験学習広場を運営及び管理しました。

- １ 名 称 武蔵村山市屋外体験学習広場
- ２ 所 在 地 武蔵村山市三ツ木四丁目１５番地の１
- ３ 敷地面積 約１，２００㎡
- ４ 利用状況

番 号	利用区分	利用目的	利 用 期 間		利 用 人 数
１	家族	キャンプ	令和４年 ４月 ２日（土） 令和４年 ４月 ３日（日）		１０人
２	家族	キャンプ	令和４年 ４月 ５日（火） 令和４年 ４月 ６日（水）		４人
３	家族	キャンプ	令和４年 ４月 ９日（土） 令和４年 ４月１０日（日）		５人
４	家族	子供の体験	令和４年 ４月１６日（土） 令和４年 ４月１７日（日）		５人
５	家族	キャンプ	令和４年 ４月２３日（土） 令和４年 ４月２４日（日）		５人
６	家族	バーベキュー	令和４年 ４月３０日（土） 令和４年 ４月３０日（土）		２１人
７	家族	バーベキュー	令和４年 ５月 １日（日） 令和４年 ５月 １日（日）		１５人
８	家族	屋外体験	令和４年 ５月 ３日（火） 令和４年 ５月 ５日（木）		１５人
９	家族	自然学習	令和４年 ５月 ６日（金） 令和４年 ５月 ７日（土）		４人
１０	家族	屋外体験	令和４年 ５月 ８日（日） 令和４年 ５月 ８日（日）		７人
１１	団体	キャンプ育成	令和４年 ５月１０日（火） 令和４年 ５月１１日（水）		６人
１２	家族	キャンプ	令和４年 ５月２０日（金） 令和４年 ５月２１日（土）		５人
１３	家族	屋外体験	令和４年 ５月２２日（日） 令和４年 ５月２２日（日）		７人

番 号	利用区分	利用目的	利用期間		利用人数
14	家族	スキンシップ	令和4年 令和4年	5月23日(月) 5月24日(火)	4人
15	家族	屋外体験	令和4年 令和4年	5月25日(水) 5月25日(水)	4人
16	家族	屋外体験	令和4年 令和4年	5月30日(月) 5月30日(月)	7人
17	家族	屋外体験	令和4年 令和4年	6月 3日(金) 6月 3日(金)	4人
18	家族	自然体験	令和4年 令和4年	6月 4日(土) 6月 5日(日)	4人
19	家族	屋外体験	令和4年 令和4年	6月 7日(火) 6月 7日(火)	4人
20	家族	屋外体験	令和4年 令和4年	6月10日(金) 6月12日(日)	7人
21	家族	スキンシップ	令和4年 令和4年	6月14日(火) 6月15日(水)	4人
22	団体	キャンプ育成	令和4年 令和4年	6月21日(火) 6月22日(水)	7人
23	家族	屋外活動	令和4年 令和4年	7月 3日(日) 7月 3日(日)	5人
24	家族	屋外学習	令和4年 令和4年	7月 9日(土) 7月10日(日)	8人
25	家族	屋外体験	令和4年 令和4年	7月20日(水) 7月20日(水)	4人
26	団体	屋外体験	令和4年 令和4年	7月25日(月) 7月25日(月)	18人
27	家族	キャンプ	令和4年 令和4年	7月27日(水) 7月28日(木)	5人
28	家族	屋外体験	令和4年 令和4年	7月30日(土) 7月30日(土)	4人
29	家族	屋外体験	令和4年 令和4年	8月 6日(土) 8月 7日(日)	4人
30	団体	キャンプ研修	令和4年 令和4年	8月 9日(火) 8月10日(水)	8人
31	家族	キャンプ	令和4年 令和4年	8月22日(月) 8月23日(火)	4人
32	団体	デイキャンプ	令和4年 令和4年	8月27日(土) 8月27日(土)	40人

番 号	利 用 区 分	利 用 目 的	利 用 期 間		利 用 人 数
3 3	家族	バーベキュー	令和4年 9月 3日 (土)	令和4年 9月 4日 (日)	4人
3 4	家族	屋外体験	令和4年 9月 10日 (土)	令和4年 9月 11日 (日)	4人
3 5	家族	キャンプ体験	令和4年 9月 17日 (土)	令和4年 9月 19日 (月)	4人
3 6	家族	キャンプ体験	令和4年 9月 23日 (金)	令和4年 9月 25日 (日)	3人
3 7	家族	屋外体験	令和4年 9月 28日 (水)	令和4年 9月 28日 (水)	4人
3 8	家族	屋外体験	令和4年 10月 1日 (土)	令和4年 10月 2日 (日)	10人
3 9	家族	バーベキュー	令和4年 10月 5日 (水)	令和4年 10月 5日 (水)	6人
4 0	団体	屋外活動	令和4年 10月 9日 (日)	令和4年 10月 11日 (火)	18人
4 1	団体	キャンプ育成	令和4年 10月 13日 (木)	令和4年 10月 14日 (金)	8人
4 2	団体	屋外体験	令和4年 10月 15日 (土)	令和4年 10月 15日 (土)	14人
4 3	家族	野外体験	令和4年 10月 19日 (水)	令和4年 10月 20日 (木)	4人
4 4	家族	屋外体験	令和4年 10月 22日 (土)	令和4年 10月 23日 (日)	4人
4 5	家族	キャンプ体験	令和4年 10月 28日 (金)	令和4年 10月 29日 (土)	4人
4 6	家族	キャンプ体験	令和4年 11月 2日 (水)	令和4年 11月 3日 (木)	6人
4 7	団体	自然観察	令和4年 11月 6日 (日)	令和4年 11月 6日 (日)	40人
4 8	団体	キャンプ育成	令和4年 11月 15日 (火)	令和4年 11月 16日 (水)	10人
4 9	家族	屋外体験	令和4年 11月 17日 (木)	令和4年 11月 17日 (木)	5人
5 0	家族	野外体験	令和4年 11月 19日 (土)	令和4年 11月 20日 (日)	4人
5 1	家族	野外体験	令和4年 11月 23日 (水)	令和4年 11月 24日 (木)	4人

5 2	家族	屋外体験	令和4年 1 1月 2 5 日 (金) 令和4年 1 1月 2 5 日 (金)	4 人
5 3	団体	火おこし体験	令和4年 1 2月 3 日 (土) 令和4年 1 2月 3 日 (土)	2 0 人
5 4	家族	デイキャンプ	令和4年 1 2月 4 日 (日) 令和4年 1 2月 4 日 (日)	1 0 人
5 5	家族	野外体験	令和4年 1 2月 6 日 (火) 令和4年 1 2月 7 日 (水)	4 人
5 6	家族	屋外体験	令和4年 1 2月 1 0 日 (土) 令和4年 1 2月 1 1 日 (日)	4 人
5 7	団体	キャンプ育成	令和4年 1 2月 1 3 日 (火) 令和4年 1 2月 1 4 日 (水)	1 0 人
5 8	家族	屋外体験	令和4年 1 2月 2 6 日 (月) 令和4年 1 2月 2 7 日 (火)	4 人
5 9	団体	炊き出し	令和5年 1 月 7 日 (土) 令和5年 1 月 7 日 (土)	2 0 人
6 0	家族	野外体験	令和5年 1 月 1 4 日 (土) 令和5年 1 月 1 5 日 (日)	4 人
6 1	家族	屋外体験	令和5年 1 月 2 2 日 (日) 令和5年 1 月 2 2 日 (日)	4 人
6 2	団体	キャンプ育成	令和5年 1 月 2 3 日 (月) 令和5年 1 月 2 4 日 (火)	9 人
6 3	団体	石窯ピザづくり	令和5年 1 月 2 8 日 (土) 令和5年 1 月 2 8 日 (土)	3 7 人
6 4	家族	屋外学習	令和5年 1 月 2 9 日 (日) 令和5年 1 月 2 9 日 (日)	3 人
6 5	家族	屋外体験	令和5年 2 月 2 日 (木) 令和5年 2 月 2 日 (木)	4 人
6 6	家族	屋外体験	令和5年 2 月 4 日 (土) 令和5年 2 月 5 日 (日)	4 人
6 7	団体	キャンプ育成	令和5年 2 月 1 3 日 (月) 令和5年 2 月 1 4 日 (火)	8 人
6 8	家族	屋外体験	令和5年 2 月 1 8 日 (土) 令和5年 2 月 1 8 日 (土)	4 人
6 9	家族	野外体験	令和5年 2 月 2 2 日 (水) 令和5年 2 月 2 3 日 (木)	4 人
7 0	団体	焼き芋・豚汁作り	令和5年 2 月 2 5 日 (土) 令和5年 2 月 2 5 日 (土)	3 5 人
7 1	家族	屋外体験学習	令和5年 3 月 1 0 日 (金) 令和5年 3 月 1 2 日 (日)	3 人

7 2	団体	キャンプ育成	令和5年 令和5年	3月13日(月) 3月14日(火)	9人
7 3	家族	屋外体験	令和5年 令和5年	3月19日(日) 3月19日(日)	4人
7 4	家族	野外体験	令和5年 令和5年	3月20日(月) 3月21日(火)	4人
7 5	家族	キャンプ	令和5年 令和5年	3月28日(火) 3月29日(水)	4人
7 6	家族	テント体験	令和5年 令和5年	3月30日(木) 3月31日(金)	3人
合 計	58家族・18団体		629人		

公民館事業

1 市民講座

講座名	日時（回数）	会 場	参加者数	参加費	講師
人類と感染症	11月2日（水）、 9日（水） 午後2時から 午後4時まで	市民総合セン ター 生涯学習活動 室 集会室	1回目：11人 2回目： 8人 累計19人	無 料	峰 宗太郎氏
武蔵村山の歴史 と観光スポッ トを知ろう	10月17日 （月）、18日（火） 午後2時から 午後4時まで	さくらホール 展示室	1回目：14人 2回目：10人 累計24人	無 料	山田 義高氏
市民企画講座「は じめてのパー ドウォッチン グ」	令和5年 1月7日（土）、 14日（土）、 21日（土） 7日は午前10時 から正午まで 14日及び21日 は午前9時から正 午まで	さくらホール 研修室及び総 合体育館周辺	1回目：10人 2回目： 7人 3回目： 9人 累計26人	無 料	名執 修二氏

2 家庭教育講座

講座名	日時（回数）	会 場	参加者数	参加費	講師
狭山丘陵の自然 観察～バードウ ォッチング～	12月3日（土）、 17日（土） 午前9時から 正午まで	総合体育館 周辺	1回目：10人 2回目： 9人 累計19人	無 料	名執 修二氏
けん玉検定にチ ャレンジ	9月6日（火）、 13日（火） 午後2時から 午後4時まで	さいかち分館 会議室1	1回目： 4人 2回目： 5人 累計 9人	無 料	吉本 秀一氏、 高島 悦郎氏
視覚障がい者の 暮らしと点字、視 覚障がい者を理 解するためのヒ ント	10月1日（土）、 8日（土） 午前10時から 正午まで	さいかち分館 多目的室	1回目： 7人 2回目： 8人 累計15人	無 料	尾崎 栞氏、 佐藤 聖一氏

3 シルバー教室

講座名	日時（回数）	会 場	参加者数	参加費	講師
リズムをとりな がら歌おう	10月7日（金）、 14日（金） 午前10時から 正午まで	市民総合セン ター 生涯学習活動 室 学習室	1回目：12人 2回目： 8人 累計20人	無 料	井上 ツヤ子氏、 小崎 幸子氏
フレイル予防～ 家の中でのスト レッチ～	9月7日（水）、 21日（水） 午後2時から 午後4時まで	さくらホール 展示室	1回目：11人 2回目： 7人 累計18人	無 料	井上 彩子氏
はじめてのスマ ートフォン講座	9月16日（金）、 30日（金） 午後2時から 午後4時まで	さいかち分館 会議室2	1回目：10人 2回目： 9人 累計19人	無 料	山根 明氏

4 百人一首大会

講座名	日時 (回数)	会 場	参加者数	参加費	講師
第11回 武蔵村山市小中 学生百人一首 大会	(練習会) 11月6日(日) 午後2時から 午後4時まで (大会) 11月26日(土) 午前9時から 午後4時まで	(練習会) 中部地区会館 401大集会室・ 404休養室 (市役所4階) (大会) 武蔵村山市 総合体育館 第二・第三体育 室	(練習会) 小学生10人 中学生2人 計12人 (大会) 小学生の部 9チーム (26人) 中学生の部 4人	無 料	一般社団法人 全日本かるた協会 教育を支援する市民の 会

5 青少年教室

講座名	日時 (回数)	会 場	参加者数	参加費	講師
エッグマラカス づくり教室	8月2日(火) 午後1時30分から 午後3時まで 午後3時から 午後4時30分まで	さくらホール 展示室	1回目:14人 2回目:20人 累計34人	無 料	株式会社ピコトン 講師 井上 彩子氏
親子で学ぶネッ トトラブル	※中止				
おうちバッグづ くり教室	8月23日(火) 午後1時30分か ら午後3時まで 午後3時から午後 4時30分まで	さくらホール 展示室	1回目:19人 2回目:13人 累計32人	無 料	株式会社ピコトン 講師 井上 彩子氏
戦争について考 えてみよう	※中止				

※新型コロナウイルス感染症拡大防止及び参加希望がなかったことによる

施設利用の記録

1 年間利用状況 (4年度)

(1) 公民館利用状況

施設名	開館 日数	主催事業		一般団体		その他		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
公 民 館	日 339	回 346	人 8,915	回 694	人 8,436	回 18	人 173	回 1,058	人 17,524
公民館中久保分館	347	0	0	126	1,016	48	312	174	1,328
公民館さいかち分館	345	16	141	1,881	20,556	72	677	1,969	21,374
合 計		362	9,056	2,701	30,008	138	1,162	3,201	40,226

(2) 地区会館利用状況

施設名	開館 日数	主催事業		一般団体		その他		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
雷 塚 地 区 会 館	日 351	回 0	人 0	回 904	人 10,079	回 160	人 780	回 1,064	人 10,859
中 藤 地 区 会 館	345	2	9	551	4,559	69	775	622	5,343
三ツ木地区会館	327	3	10	1,016	13,060	73	906	1,092	13,976
大 南 地 区 会 館	281	4	23	624	5,697	68	(191) 719	696	(191) 6,439
残 堀 ・ 伊 奈 平 地 区 会 館	345	0	0	1,223	10,901	105	683	1,328	11,584
中 部 地 区 会 館	344	155	1,127	110	1,593	4,084	42,824	4,349	45,544
合 計		164	1,169	4,428	45,889	4,559	(191) 46,687	9,151	(191) 93,745

備考 2 ()内は、談話室使用人数を別掲した。

(3) 教育センター生涯学習活動室利用状況

施設名	開館 日数	主催事業		一般団体		その他		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
生涯学習活動室	日 327	回 24	人 318	回 995	人 10,973	回 409	人 6,100	回 1,428	人 17,391

2 月別利用状況

(1) 公民館

区分 月	開館 日数	主催事業		一般団体		その他		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	29	22	495	62	699	0	0	84	1,194
5	30	35	893	56	631	0	0	91	1,524
6	29	40	1,145	61	752	0	0	101	1,897
7	28	22	749	56	720	0	0	78	1,469
8	30	0	0	69	766	0	0	69	766
9	23	33	902	53	684	0	0	86	1,586
10	30	36	1,003	47	590	0	0	83	1,593
11	29	36	749	60	729	0	0	96	1,478
12	26	30	655	63	722	0	0	93	1,377
1	28	30	765	49	571	0	0	79	1,336
2	27	34	874	53	627	0	0	87	1,501
3	30	28	685	65	945	18	173	111	1,803
合計	339	346	8,915	694	8,436	18	173	1,058	17,524

区分 月	開館 日数	午前		午後 1:00～		午後 3:00～		夜間		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	29	23	313	23	421	22	260	16	200	84	1,194
5	30	27	335	26	679	22	313	16	197	91	1,524
6	29	29	368	29	919	28	374	15	236	101	1,897
7	28	26	334	19	564	16	302	17	269	78	1,469
8	30	33	381	12	99	13	113	11	173	69	766
9	23	28	366	21	600	22	375	15	245	86	1,586
10	30	28	380	23	667	22	386	10	160	83	1,593
11	29	24	302	27	644	27	292	18	240	96	1,478
12	26	27	335	30	599	21	225	15	218	93	1,377
1	28	25	310	24	571	16	253	14	202	79	1,336
2	27	28	372	25	660	18	281	16	188	87	1,501
3	30	38	472	31	689	26	414	16	228	111	1,803
合計	339	336	4,268	290	7,112	253	3,588	179	2,556	1,058	17,524

(2) 公民館中久保分館

区分 月	開館 日数	主催事業		一般団体		その他		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	29	0	0	16	144	1	1	17	145
5	30	0	0	17	140	1	2	18	142
6	29	0	0	10	87	1	6	11	93
7	30	0	0	7	61	1	2	8	63
8	30	0	0	5	36	1	2	6	38
9	29	0	0	12	92	1	4	13	96
10	30	0	0	11	88	7	34	18	122
11	29	0	0	9	75	13	61	22	136
12	26	0	0	7	58	19	196	26	254
1	28	0	0	8	54	1	2	9	56
2	27	0	0	11	84	1	2	12	86
3	30	0	0	13	97	1	0	14	97
合計	347	0	0	126	1,016	48	312	174	1,328

区分 月	開館 日数	午前		午後 1:00～		午後 3:00～		夜間		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	29	7	50	7	67	3	28	0	0	17	145
5	30	6	40	7	56	4	32	1	14	18	142
6	29	5	44	5	41	1	8	0	0	11	93
7	30	4	33	3	22	1	8	0	0	8	63
8	30	3	19	2	12	1	7	0	0	6	38
9	29	6	44	4	34	1	10	2	8	13	96
10	30	7	53	7	47	3	18	1	4	18	122
11	29	7	52	8	47	4	24	3	13	22	136
12	26	7	75	9	78	6	61	4	40	26	254
1	28	3	15	5	33	1	8	0	0	9	56
2	27	4	31	7	46	1	9	0	0	12	86
3	30	6	41	7	48	1	8	0	0	14	97
合計	347	65	497	71	531	27	221	11	79	174	1,328

(3) 公民館さいかち分館

区分 月	開館 日数	主催事業		一般団体		その他		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	29	0	0	127	1,336	0	0	127	1,336
5	30	0	0	131	1,462	1	22	132	1,484
6	29	0	0	145	1,580	1	15	146	1,595
7	28	1	2	133	1,387	14	70	148	1,459
8	30	4	58	149	1,547	0	0	153	1,605
9	29	8	60	170	2,014	11	55	189	2,129
10	30	2	16	211	2,395	0	0	213	2,411
11	29	0	0	182	1,857	1	9	183	1,866
12	26	1	5	147	1,558	1	7	149	1,570
1	28	0	0	169	1,848	18	221	187	2,069
2	27	0	0	166	1,919	4	62	170	1,981
3	30	0	0	151	1,653	21	216	172	1,869
合計	345	16	141	1,881	20,556	72	677	1,969	21,374

区分 月	開館 日数	午 前		午後 1:00～		午後 3:00～		夜 間		合 計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	29	34	340	39	443	29	310	25	243	127	1,336
5	30	33	321	37	439	33	398	29	326	132	1,484
6	29	34	311	41	520	33	367	38	397	146	1,595
7	28	39	312	35	371	37	378	37	398	148	1,459
8	30	38	396	42	433	40	474	33	302	153	1,605
9	29	54	583	52	592	40	491	43	463	189	2,129
10	30	51	538	55	669	50	639	57	565	213	2,411
11	29	51	434	45	495	34	424	53	513	183	1,866
12	26	45	446	37	430	28	331	39	363	149	1,570
1	28	45	470	54	637	46	529	42	433	187	2,069
2	27	43	425	41	550	38	489	48	517	170	1,981
3	30	47	398	44	530	39	476	42	465	172	1,869
合計	345	514	4,974	522	6,109	447	5,306	486	4,985	1,969	21,374

(4) 雷塚地区会館

区分 月	開 館 日 数	主催事業		一般団体		そ の 他		合 計	
		回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数
4	29	0	0	61	745	12	53	73	798
5	30	0	0	64	814	10	39	74	853
6	29	0	0	64	812	14	96	78	908
7	30	0	0	73	782	12	52	85	834
8	30	0	0	57	529	10	27	67	556
9	29	0	0	80	908	16	61	96	969
10	30	0	0	89	1,039	12	57	101	1,096
11	29	0	0	69	761	9	36	78	797
12	26	0	0	81	839	12	59	93	898
1	28	0	0	76	796	35	237	111	1,033
2	27	0	0	83	952	7	23	90	975
3	30	0	0	107	1,102	11	40	118	1,142
合計	347	0	0	904	10,079	160	780	1,064	10,859

区分 月	開 館 日 数	午 前		午後 1:00～		午後 3:00～		夜 間		合 計	
		回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数
4	29	27	339	25	183	11	125	10	151	73	798
5	30	26	326	24	207	14	167	10	153	74	853
6	29	27	382	26	192	18	208	7	126	78	908
7	30	28	286	26	201	18	180	13	167	85	834
8	30	19	148	24	169	12	117	12	122	67	556
9	29	31	319	30	247	16	176	19	227	96	969
10	30	37	466	28	207	18	189	18	234	101	1,096
11	29	29	316	22	176	14	133	13	172	78	797
12	26	31	357	31	204	16	156	15	181	93	898
1	28	35	366	33	280	23	210	20	177	111	1,033
2	27	26	343	28	239	20	216	16	177	90	975
3	30	35	390	39	320	24	191	20	241	118	1,142
合計	347	351	4,038	336	2,625	204	2,068	173	2,128	1,064	10,859

(5) 中藤地区会館

月	開館 日数	主催事業		一般団体		その他		合 計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	29	0	0	57	459	3	35	60	494
5	30	0	0	39	276	3	36	42	312
6	29	0	0	48	357	4	67	52	424
7	28	1	2	48	394	3	32	52	428
8	30	0	0	39	272	3	37	42	309
9	29	0	0	42	317	5	56	47	373
10	30	0	0	52	367	3	35	55	402
11	29	0	0	45	364	13	143	58	507
12	26	1	7	39	312	3	22	43	341
1	28	0	0	35	302	3	17	38	319
2	27	0	0	54	695	23	268	77	963
3	30	0	0	53	444	3	27	56	471
合計	345	2	9	551	4,559	69	775	622	5,343

月	開館 日数	午 前		午後 1:00～		午後 3:00～		夜 間		合 計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	29	21	181	17	148	8	59	14	106	60	494
5	30	18	143	11	87	7	40	6	42	42	312
6	29	18	160	18	134	7	51	9	79	52	424
7	28	20	168	16	118	9	82	7	60	52	428
8	30	18	146	11	72	4	37	9	54	42	309
9	29	19	140	13	110	9	85	6	38	47	373
10	30	20	169	18	124	7	46	10	63	55	402
11	29	18	185	21	183	8	63	11	76	58	507
12	26	16	142	13	93	8	57	6	49	43	341
1	28	16	130	11	100	7	65	4	24	38	319
2	27	28	360	22	283	13	130	14	190	77	963
3	30	21	174	18	157	7	41	10	99	56	471
合計	345	233	2,098	189	1,609	94	756	106	880	622	5,343

(6) 三ツ木地区会館

区分 月	開館 日数	主催事業		一般団体		その他		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	29	0	0	87	1,001	3	29	90	1,030
5	30	0	0	84	939	5	28	89	967
6	29	0	0	76	880	4	40	80	920
7	28	2	4	74	896	11	122	87	1,022
8	30	0	0	63	800	3	36	66	836
9	29	0	0	106	1,463	2	12	108	1,475
10	30	0	0	94	1,129	7	128	101	1,257
11	29	0	0	102	1,327	2	11	104	1,338
12	26	1	6	75	1,092	4	106	80	1,204
1	28	0	0	76	984	26	343	102	1,327
2	27	0	0	76	999	3	29	79	1,028
3	30	0	0	103	1,550	3	22	106	1,572
合計	345	3	10	1,016	13,060	73	906	1,092	13,976

区分 月	開館 日数	午 前		午後 1:00～		午後 3:00～		夜 間		合 計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	29	29	450	29	319	14	133	18	128	90	1,030
5	30	31	442	28	293	13	93	17	139	89	967
6	29	32	478	23	253	13	95	12	94	80	920
7	28	31	458	25	268	16	135	15	161	87	1,022
8	30	26	453	17	184	9	91	14	108	66	836
9	29	33	518	29	392	15	207	31	358	108	1,475
10	30	37	559	30	368	20	208	14	122	101	1,257
11	29	35	479	32	363	17	191	20	305	104	1,338
12	26	31	550	21	260	11	141	17	253	80	1,204
1	28	40	575	27	311	20	242	15	199	102	1,327
2	27	30	395	24	329	12	172	13	132	79	1,028
3	30	32	447	35	513	17	292	22	320	106	1,572
合計	345	387	5,804	320	3,853	177	2,000	208	2,319	1,092	13,976

(7) 大南地区会館

区分 月	開館 日数	主催事業		一般団体		その他		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	29	0	0	71	567	8	87	79	654
5	30	0	0	63	507	2	18	65	525
6	29	0	0	56	510	9	104	65	614
7	25	0	0	42	388	1	2	43	390
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	28	1	7	53	541	2	9	56	557
11	29	2	12	68	704	2	15	72	731
12	26	1	4	58	483	9	131	68	618
1	28	0	0	62	557	3	15	65	572
2	27	0	0	70	547	6	52	76	599
3	30	0	0	81	893	26	286	107	1,179
合計	281	4	23	624	5,697	68	719	696	6,439

区分 月	開館 日数	午 前		午後 1:00～		午後 3:00～		夜 間		合 計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	29	35	392	22	116	15	88	7	58	79	654
5	30	30	335	15	74	11	57	9	59	65	525
6	29	34	388	16	110	12	82	3	34	65	614
7	25	24	268	10	70	7	45	2	7	43	390
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	28	29	322	10	81	8	47	9	107	56	557
11	29	27	291	14	96	13	91	18	253	72	731
12	26	31	392	17	98	11	68	9	60	68	618
1	28	31	337	14	74	11	57	9	104	65	572
2	27	33	317	17	107	15	81	11	94	76	599
3	30	39	483	26	233	22	229	20	234	107	1,179
合計	281	313	3,525	161	1,059	125	845	97	1,010	696	6,439

大南地区会館談話室利用状況

月	区分	開館 日数	午 前	午 後	夜 間	合 計
			人 数	人 数	人 数	人 数
4		29	0	14	2	16
5		30	8	14	0	22
6		29	0	10	0	10
7		25	0	12	0	12
8		0	0	0	0	0
9		0	0	0	0	0
10		28	0	13	1	14
11		29	11	8	0	19
12		26	5	13	0	18
1		28	22	9	0	31
2		27	4	19	0	23
3		30	6	20	0	26
合計		281	56	132	3	191

(8) 残堀・伊奈平地区会館

月	開館 日数	主催事業		一般団体		その他		合 計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	29	0	0	107	879	5	27	112	906
5	30	0	0	115	816	7	54	122	870
6	29	0	0	108	951	7	38	115	989
7	28	0	0	97	764	9	49	106	813
8	30	0	0	85	680	5	23	90	703
9	29	0	0	105	982	13	48	118	1,030
10	30	0	0	110	981	7	53	117	1,034
11	29	0	0	105	952	5	27	110	979
12	26	0	0	84	764	6	35	90	799
1	28	0	0	100	1,006	6	33	106	1,039
2	27	0	0	100	1,014	7	63	107	1,077
3	30	0	0	107	1,112	28	233	135	1,345
合計	345	0	0	1,223	10,901	105	683	1,328	11,584

月	開館 日数	午 前		午後 1:00～		午後 3:00～		夜 間		合 計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	29	33	221	38	329	25	183	16	173	112	906
5	30	39	243	39	321	24	150	20	156	122	870
6	29	37	252	40	341	24	205	14	191	115	989
7	28	38	237	31	232	13	94	24	250	106	813
8	30	28	149	25	163	17	121	20	270	90	703
9	29	34	227	30	207	23	168	31	428	118	1,030
10	30	44	305	32	289	19	126	22	314	117	1,034
11	29	34	216	31	251	16	113	29	399	110	979
12	26	31	200	24	213	14	79	21	307	90	799
1	28	39	263	29	264	16	111	22	401	106	1,039
2	27	36	249	31	297	16	158	24	373	107	1,077
3	30	41	327	40	385	20	183	34	450	135	1,345
合計	345	434	2,889	390	3,292	227	1,691	277	3,712	1,328	11,584

残堀・伊奈平地区会館陶芸窯利用状況

(単位：回)

区分 月	主催事業		一般団体		そ の 他		合 計	
	素焼	本焼	素焼	本焼	素焼	本焼	素焼	本焼
4	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	1	1	0	0	1	1
6	0	0	1	1	0	0	1	1
7	0	0	1	1	0	0	1	1
8	0	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	1	1	0	0	1	1
10	0	0	0	0	0	0	0	0
11	0	0	1	1	0	0	1	1
12	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	1	1	0	0	1	1
合計	0	0	6	6	0	0	6	6

(9) 地区集会所

月	区分	上水台		新海道		西大南		中 原		大南公園	
		回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数
4		22	179	4	50	1	7	46	404	45	311
5		20	159	3	35	3	39	52	491	30	156
6		16	135	4	50	2	23	61	543	35	149
7		16	132	2	19	5	41	60	563	26	92
8		12	91	1	10	2	13	25	258	0	0
9		17	139	1	10	1	5	58	567	0	0
10		22	154	2	20	2	26	54	489	14	70
11		15	123	2	26	4	24	50	484	15	74
12		20	203	2	17	4	37	42	320	29	253
1		16	155	2	20	2	16	41	372	15	94
2		19	177	4	40	10	60	42	414	21	183
3		18	141	6	92	6	38	46	433	22	122
合計		213	1,788	33	389	42	329	577	5,338	252	1,504

月	区分	学 園		新大南		湖 南		さいかち公園		合 計	
		回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数
4		24	149	89	645	84	655	25	132	340	2,532
5		16	106	87	554	88	705	39	326	338	2,571
6		24	150	91	659	71	565	33	223	337	2,497
7		22	140	91	643	63	545	41	201	326	2,376
8		16	117	68	572	71	495	40	188	235	1,744
9		22	149	94	704	76	601	38	217	307	2,392
10		15	98	101	792	77	592	27	129	314	2,370
11		41	270	92	634	72	578	25	130	316	2,343
12		30	244	69	557	63	536	20	102	279	2,269
1		22	147	95	745	69	591	25	129	287	2,269
2		23	169	89	705	61	498	28	182	297	2,428
3		35	148	94	708	72	614	41	266	340	2,562
合計		290	1,887	1,060	7,918	867	6,975	382	2,225	3,716	28,353

(10) 中部地区会館

区分 月	開館 日数	主催事業		一般団体		その他		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	29	5	89	6	89	252	1,743	263	1,921
5	28	6	61	7	112	285	2,039	298	2,212
6	30	11	70	5	72	394	5,174	410	5,316
7	30	10	84	5	69	405	7,748	420	7,901
8	30	12	52	7	92	400	3,596	419	3,740
9	28	12	92	9	120	308	1,947	329	2,159
10	30	36	219	14	248	359	4,600	409	5,067
11	28	4	23	23	209	310	3,617	337	3,849
12	28	7	50	4	55	341	3,614	352	3,719
1	27	15	128	12	226	339	3,386	366	3,740
2	26	10	59	6	107	359	3,293	375	3,459
3	30	27	200	12	194	332	2,067	371	2,461
合計	344	155	1,127	110	1,593	4,084	42,824	4,349	45,544

※午前、午後、夜間の利用枠ごとの数値は統計をとっておりません。

(11) 教育センター生涯学習活動室

区分 月	開館 日数	主催事業		一般団体		その他		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	29	0	0	95	1,064	21	260	116	1,324
5	27	1	12	69	768	40	443	110	1,223
6	29	3	46	77	877	30	471	110	1,394
7	27	2	24	91	727	30	447	123	1,198
8	29	2	22	81	744	16	219	99	985
9	27	2	39	78	822	53	782	133	1,643
10	28	5	76	87	1,044	44	588	136	1,708
11	25	8	89	78	943	36	554	122	1,586
12	26	1	10	87	956	47	968	135	1,934
1	26	0	0	84	859	35	563	119	1,422
2	25	0	0	71	829	29	379	100	1,208
3	29	0	0	97	1,340	28	426	125	1,766
合計	327	24	318	995	10,973	409	6,100	1,428	17,391

区分 月	開館 日数	午前		午後 1:00～		午後 3:00～		夜間		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	29	31	332	38	431	22	259	25	302	116	1,324
5	27	32	345	33	386	23	282	22	210	110	1,223
6	29	35	499	33	458	20	232	22	205	110	1,394
7	27	36	416	34	334	27	236	26	212	123	1,198
8	29	39	397	22	260	14	150	24	178	99	985
9	27	39	481	40	532	27	402	27	228	133	1,643
10	28	40	532	40	468	29	360	27	348	136	1,708
11	25	33	358	36	491	28	415	25	322	122	1,586
12	26	38	406	38	666	31	615	28	247	135	1,934
1	26	33	362	35	477	26	390	25	193	119	1,422
2	25	26	414	35	381	21	238	18	175	100	1,208
3	29	29	354	34	528	31	475	31	409	125	1,766
合計	327	411	4,896	418	5,412	299	4,054	300	3,029	1,428	17,391

教育センター生涯学習活動室陶芸窯利用状況

(単位：回)

区分 月	主催事業		一般団体		そ の 他		合 計	
	素焼	本焼	素焼	本焼	素焼	本焼	素焼	本焼
4	0	0	0	1	0	0	0	1
5	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	1	0	1	0
7	0	0	1	0	0	1	1	1
8	0	0	1	0	0	0	1	0
9	0	0	0	2	0	0	0	2
10	0	0	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	1	0	1	0
12	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	1	0	1
2	0	0	1	0	0	0	1	0
3	0	0	0	1	0	0	0	1
合計	0	0	3	4	2	2	5	6

印刷機・複写機利用状況

1 印刷機の利用状況

施設名 \ 区 分	件 数	原紙枚数	印刷枚数
公 民 館	80 件	276 枚	36,853 枚
公民館さいかち分館	31	66	8,412
雷 塚 地 区 会 館	92	472	57,961
中 藤 地 区 会 館	67	432	40,064
三 ツ 木 地 区 会 館	129	462	39,702
大 南 地 区 会 館	78	374	32,798
残堀・伊奈平地区会館	101	468	48,627
合 計	578	2,550	264,417

2 複写機の利用状況

施設名 \ 区 分	複写機印刷枚数
公 民 館	138 枚
公民館さいかち分館	239
雷 塚 地 区 会 館	543
中 藤 地 区 会 館	69
三 ツ 木 地 区 会 館	260
大 南 地 区 会 館	79
残堀・伊奈平地区会館	215
合 計	1,543

市民会館施設利用状況

件数別

(単位：件)

月	開館 日数	大 ホ ー ル	小 ホ ー ル	リ ハ ー サ ル 室	展 示 室	研 修 室	会 議 2室 1・	集 会 室	保 育 室	実 習 室	和 室	遊 戯 室	合 計
4	29	12	11	26	20	22	22	18	3	4	13	15	166
5	30	6	8	25	15	24	24	24	2	5	13	21	167
6	29	15	4	25	22	24	26	25	0	9	7	16	173
7	30	16	6	30	20	27	24	24	15	5	9	19	195
8	30	17	11	27	11	16	21	16	3	1	5	11	139
9	29	12	9	28	20	20	26	22	6	4	10	21	178
10	30	20	15	29	22	25	24	23	10	8	15	23	214
11	29	22	14	29	25	28	28	26	15	21	19	25	252
12	26	17	8	25	19	23	25	24	5	8	7	13	174
1	28	10	6	24	25	25	25	24	7	4	7	16	173
2	26	16	5	23	21	26	25	24	9	7	12	19	187
3	29	13	11	27	24	24	25	23	9	10	13	22	201
合計	345	176	108	318	244	284	295	273	84	86	130	221	2,219

人数別

(単位：人)

月	開館 日数	大 ホ ー ル	小 ホ ー ル	リ ハ ー サ ル 室	展 示 室	研 修 室	会 議 2室 1・	集 会 室	保 育 室	実 習 室	和 室	遊 戯 室	合 計
4	29	3,558	1,351	777	1,101	424	687	432	80	84	250	246	8,990
5	30	1,837	1,124	695	2,008	361	707	351	6	68	247	175	7,579
6	29	2,185	456	513	809	357	701	398	0	118	109	156	5,802
7	30	2,391	559	595	2,048	203	725	428	94	25	54	172	7,294
8	30	2,847	1,804	717	274	381	363	266	45	11	138	71	6,917
9	29	3,534	1,591	698	984	939	1,177	684	69	57	293	312	10,338
10	30	8,301	2,844	745	1,232	1,074	988	787	75	51	138	430	16,665
11	29	8,323	1,769	1,490	2,373	785	2,583	818	108	346	604	984	20,183
12	26	13,316	1,592	1,469	1,233	510	643	425	26	117	80	138	19,549
1	28	3,095	420	543	6,491	430	865	1,699	67	6	36	190	13,842
2	26	12,154	293	577	1,400	456	698	531	90	52	160	165	16,576
3	29	5,384	1,636	971	2,290	617	1,629	766	71	184	198	470	14,216
合計	345	66,925	15,439	9,790	22,243	6,537	11,766	7,585	731	1,119	2,307	3,509	147,951

文化振興課 資料館係

文化財保護

1 文化財保護審議会の記録

文化財保護審議会は、文化財に関する学識経験者10人で構成され、教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議している。

(任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日まで)

区分 回数	日 時	会 場	議 題 等
1	9月17日(土) 午後2時～	歴史民俗資料館 会議室	(1) 正副会長の互選について (2) その他
2	1月21日(土) 午後2時～	歴史民俗資料館 会議室	(1) 三本榎(乙幡榎)の後継樹について (2) その他

2 歴史散策コース除草等及び植木剪定等委託

(1) 目 的 歴史散策コース及び文化財周辺の美化とコース利用者の安全のため

(2) 場 所 ①六地藏(武蔵村山市本町5-41-2)
②原山の石仏(武蔵村山市中央2-87-2)

(3) 実施日 ①令和4年7月8日、11月11日
②令和4年10月1日

3 第35回多摩郷土誌フェア参加

(1) 期 日 令和5年1月21日(土)から22日(日)までの2日間

(2) 会 場 立川市女性総合センターアイム 1階センターギャラリー(立川市曙町)

(3) 主 催 東京都市社会教育課長会文化財部会

(4) 参 加 22市町(武蔵村山市26種出展)

4 指定文化財

(1) 都指定文化財

区分 番号	名 称	種 別	所在場所	所有者	指定年月
1	村山大島紬	都指定無形 文化財	本町二丁目2番地 の1	村山織物協 同組合	昭和42年3月
2	双盤念仏 (薬師念仏鉦 はり)	都指定無形 民俗文化財	三ツ木三丁目22番地 の3	薬師念仏鉦 はり保存会	平成3年3月

(2) 市指定文化財

区分 番号	名 称	種 別	指定 番号	所在場所	所有者	指定年月
1	眞福寺梵鐘	市指定有形 文化財	1	中藤一丁目 37番地の1	眞 福 寺	昭和51年4月
2	眞福寺格天井 花鳥画	市指定有形 文化財	2	中藤一丁目 37番地の1	眞 福 寺	昭和51年4月
3	指田日記	市指定有形 文化財	3	本町五丁目 21番地の1	個 人	当初指定 昭和51年4月 追加指定 平成15年6月
4	細田山庚申塔	市指定有形 民俗文化財	4	三ツ木三丁目 67番地の2	慈 眼 寺	昭和51年4月
5	大日堂庚申塔	市指定有形 民俗文化財	5	神明三丁目 12番地の2	個 人	昭和51年4月
6	三本榎	市指定史跡	6	榎三丁目 5番地の1ほか	武蔵村山市	昭和51年4月
7	地頭大河内氏 墓	市指定旧跡	7	本町三丁目 40番地の1	長 圓 寺	昭和51年4月
8	三ツ木天王様 祇園ばやし	市指定無形 民俗文化財	9	三ツ木五丁目 12番地の6	三ツ木天王様 祇園ばやし保 存会	昭和51年4月
9	重松囃子	市指定無形 民俗文化財	10	中央三丁目 43番地の1	萩赤重松囃子 保存会	昭和51年4月

区分 番号	名 称	種 別	指定 番号	所在場所	所有者	指定年月
1 0	横中馬獅子舞	市指定無形 民俗文化財	1 1	本町三丁目 40 番地の 1	横中馬獅子舞 保存会	昭和 51 年 4 月
1 1	神明ヶ谷戸大 日堂の大日如 来像	市指定有形 民俗文化財	1 2	神明三丁目 12 番地の 2	個 人	平成 7 年 12 月
1 2	堂山墓地の如 意輪観音像	市指定有形 民俗文化財	1 3	神明二丁目 30 番地	眞 福 寺	平成 7 年 12 月
1 3	原山の馬頭観 世音菩薩	市指定有形 民俗文化財	1 4	中央二丁目 87 番地の 2	個 人	平成 7 年 12 月
1 4	萩ノ尾薬師堂 の宝篋印塔	市指定有形 文化財	1 5	中央三丁目 7 番地の 5	萩ノ尾薬師堂	平成 7 年 12 月
1 5	猿久保尾根の 庚申塔	市指定有形 民俗文化財	1 6	岸三丁目 37 番地の 7	禅 昌 寺	平成 7 年 12 月
1 6	村山織物協同 組合事務所	市指定有形 文化財	1 7	本町二丁目 2 番地の 1	村山織物協 同組合	平成 13 年 12 月
1 7	谷津仙元神社 富士講	市指定無形 民俗文化財	1 8	中藤三丁目 85 番地	仙元神社 富 士講 谷津講 社	平成 13 年 12 月
1 8	屋敷山遺跡出 土人面裝飾付 土器（把手部 位破片）	市指定有形 文化財	1 9	本町五丁目 21 番地の 1	武蔵村山市	平成 15 年 6 月
1 9	屋敷山遺跡出 土中世常滑窯 大甕	市指定有形 文化財	2 0	本町五丁目 21 番地の 1	武蔵村山市	平成 15 年 6 月
2 0	東京陸軍少年 飛行兵学校跡 地	市指定旧跡	2 1	大南三丁目 138 番地（東航正門 跡石碑建立地） 大南三丁目 29 番地の 6（揺籃 の地石碑建立 地）	武蔵村山市 禅昌寺	平成 19 年 7 月

区分 番号	名 称	種 別	指定 番号	所在場所	所有者	指定年月
2 1	乙幡市郎右衛門家文書	市指定有形文化財	2 2	本町五丁目 21 番地の 1	武蔵村山市	平成 27 年 7 月
2 2	内野佐兵衛家文書	市指定有形文化財	2 3	本町五丁目 21 番地の 1	武蔵村山市	平成 27 年 7 月
2 3	渡辺源蔵家文書	市指定有形文化財	2 4	本町五丁目 21 番地の 1	武蔵村山市	平成 27 年 7 月

＊指定番号 8 は、東京都指定に伴い市指定を解除。

5 市史刊行物

書 名	表 題	発 行 年 月
市史調査報告書 第 1 集	荒田家文書目録	平成 8 年 3 月
市史調査報告書 第 2 集	武蔵村山の民俗その 1	平成 8 年 3 月
市史調査報告書 第 3 集	増尾家文書目録	平成 9 年 3 月
市史調査報告書 第 4 集	武蔵村山の民俗その 2	平成 9 年 3 月
市史調査報告書 第 5 集	乙幡家文書目録	平成 10 年 3 月
市史調査報告書 第 6 集	乙幡家文書目録	平成 10 年 3 月
市史調査報告書 第 7 集	武蔵村山の民俗その 3	平成 10 年 3 月
市史調査報告書 第 8 集	武蔵村山の民俗その 4	平成 11 年 3 月
市史調査報告書 第 9 集	武蔵村山市中藤田口窯調査報告書	平成 12 年 3 月
市史調査報告書 第 10 集	武蔵村山市と狭山丘陵の考古学	平成 13 年 11 月
市史調査報告書 第 11 集	武蔵村山の民俗その 5	平成 16 年 3 月
市史調査報告書 第 12 集	諸家文書目録（1）	平成 17 年 3 月
市史調査報告書 第 13 集	諸家文書目録（2）	平成 17 年 3 月
市史民俗編 民具資料集 1	武蔵村山市の民具―旧岸村原田家の生活用具から―	平成 9 年 3 月
市史民俗編 民具資料集 2	武蔵村山市の民具―旧中藤村原山渡辺家の生活用具から―	平成 10 年 3 月
市史民俗編 民具資料集 3	武蔵村山市の民具―旧中藤村萩ノ尾乙幡家の生活用具から―	平成 11 年 3 月

書 名	表 題	発 行 年 月
市史民俗編		平成 12 年 11 月
市史資料編	考古	平成 12 年 3 月
市史資料編	古代・中世	平成 11 年 3 月
市史資料編	近世	平成 12 年 3 月
市史資料編	近代・現代	平成 13 年 3 月
市史資料編	自然＝地形・地質	平成 11 年 3 月
市史資料編	自然＝植物・キノコ・動物	平成 11 年 3 月
市史通史編 上巻	地形・地質・考古・古代・中世・近世	平成 14 年 7 月
市史通史編 下巻	近代・現代・自然	平成 15 年 3 月

文化財調査

埋蔵文化財試掘（確認）調査（調査主体－武蔵村山市教育委員会）

令和４年度調査実績なし。

歴史民俗資料館事業

1 展示活動

展 示 会 名	期 間	内 容
年中行事展	それぞれの季節や時期に合わせて展示	端午の節供、七夕飾り、正月飾り、桃の節供
夏休み子ども展示 流行り病とまじない	令和4年7月16日 ～令和4年9月4日	市域でまん延した天然痘などの感染症をテーマに、『指田日記』や医師・指田鴻斎の記録をもとに紹介した。
特別展 流行り病と武蔵村山	令和4年10月29日 ～令和5年3月5日	市域の「流行り病」に関する資料を紹介した。
企画展 狭山丘陵 谷戸の自然と共生－後ヶ谷戸遺跡の古環境－	令和5年3月11日 ～令和5年5月21日	市内後ヶ谷戸地区に焦点をあて、谷戸の地形の成り立ちから、人々と谷戸のかかわり、自然環境の特徴を紹介した。

2 講座・教室

事業名	概 要	講 師 (敬称略)	期 日	会 場	参加 者数
夏休み親子体験教室 「草木染め－和紙でつくるウチワ－」	草木染めで染めた和紙を使用し、ウチワを制作した。	市職員	令和4年 7月30日 8月20日	歴史民俗 資料館会 議室	21人
文化財見学会 「武蔵村山の戦争遺跡を歩く」	むさしむらやま歴史散策コースの南東コースの各ポイントを解説を聞きながら巡った。	檜崎 由美	令和5年 3月4日	市内	13人
自然観察会 「狭山丘陵 谷戸の自然と歴史」	雨天中止	吉田 政一	令和5年 3月18日	市内	－
合 計	実施講座：資料館講座・体験教室 実施日数：3日間 受講者数：34人				

3 刊行物の発行

(1) 令和4年度発行刊行物

資料館だより

	第64号
発行年月	令和5年3月31日
発行部数	2,000部
内 容	*武蔵村山のまぼろしの鉄道 *貯水池建設工事と軽便鉄道 *令和3年度の事業報告 *歴史民俗資料館及び分館の入館者数

特別展解説書

	流行り病と武蔵村山
発行年月	令和4年10月29日
発行部数	700部
内 容	*人々の暮らしと流行り病 *指田日記にみる流行り病 *明治時代以降の流行り病 *新型コロナウイルス感染症

(2) これまでの資料館刊行物

書 名	表 題	刊 行 年 月
	吉祥山遺跡第3次調査詳報	昭和55年 3月
文化財資料集1	武蔵村山市の板碑	昭和56年 3月
文化財資料集2	御伊勢前（発掘調査報告書）	昭和56年 3月
文化財資料集3	赤堀（発掘調査報告書）	昭和56年 3月
文化財資料集4	吉祥山（発掘調査報告書）	昭和59年 7月
文化財資料集5	屋敷山（発掘調査報告書）	昭和61年 3月
文化財資料集6	野山・御伊勢前・大ヌカリ（発掘調査報告書）	昭和63年 3月
文化財資料集7	武蔵村山市の庚申塔	平成 2年 3月
文化財資料集8	武蔵村山の昔がたり～村山ことばによる口頭伝承～	平成14年10月(再版)
文化財資料集9	久保・アタゴ松・残堀東（発掘調査報告書）	平成 3年 3月
文化財資料集10	武蔵村山の昔がたり～村山ことばによる生活誌～	平成 4年 1月
文化財資料集11	指田日記	平成 6年 1月
文化財資料集12	念仏塚第1・念仏塚第2・御伊勢地（発掘調査報告書）	平成 6年 3月

文化財資料集13	武蔵村山屋敷神集録	平成 7 年 3 月
文化財資料集14	村山・山口貯水池建設工事写真集	平成16年2月(3版)
文化財資料集15	武蔵村山市の馬頭観音	平成 9 年 2 月
文化財資料集16	三ツ木村の皇国地誌	平成10年 3 月
文化財資料集17	(原山) 青年会記録簿	平成10年12月
文化財資料集18	後ヶ谷戸遺跡 (発掘調査報告書)	平成11年 3 月
文化財資料集19	村山村青年団原山分団記録簿	平成11年11月
文化財資料集20	野山北・六道山公園内遺跡 (発掘調査報告書)	平成12年 3 月
文化財資料集21	谷津富士講調査報告書 (本編)	平成20年1月(再版)
文化財資料集22	念仏塚第1遺跡 (発掘調査報告書)	平成13年 3 月
文化財資料集23	(岸村青年会) 厚信会沿革誌	平成15年 3 月
文化財資料集24	御伊勢山遺跡 (発掘調査報告書)	平成15年 3 月
文化財資料集25	注解 指田日記 上巻	平成17年 3 月
文化財資料集26	注解 指田日記 下巻	平成18年 3 月
文化財資料集27	試掘 (確認) 調査報告書	平成21年 3 月
文化財資料集28	渡辺酒造寄贈資料総合調査報告書	平成25年 3 月
特別展解説書	村山を通った軽便鉄道	平成 6 年 8 月
特別展解説書	村の信仰	平成 7 年11月
特別展解説書	武蔵村山市出土の縄文土器	平成 9 年 3 月
特別展解説書	村山で作られていた押絵羽子板	平成10年 1 月
特別展解説書	村の知識人 指田家三代の資料	平成11年 1 月
特別展解説書	ザアルとカンゴ	平成12年10月
特別展解説書	ちっとんべえ昔の武蔵村山	平成14年 7 月
企画展図録	市内に残る江戸時代の村絵図	平成15年10月
企画展解説書	消防今昔 ～武蔵村山の消防団のあゆみ～	平成16年10月
特別展解説書	武蔵村山市の年中行事～むらやま歳時記～	平成17年10月
特別展解説書	むらやまの中世～市内に残る板碑と中世陶器～	平成18年10月
特別展解説書	村山大島紬	平成19年10月
特別展解説書	渡辺酒造の酒造り	平成21年10月
特別展解説書	武蔵村山の軽便鉄道	平成22年10月
特別展解説書	武蔵村山市の弥生時代	平成23年10月
特別展解説書	武蔵村山市の古刹 眞福寺	平成24年10月
特別展解説書	横中馬獅子舞 当地伝承260周年記念	平成25年10月

特別展解説書	“ヒバチヤ” 田口家の火鉢	平成 27 年 10 月
特別展解説書	武蔵村山市の指定文化財	平成 28 年 12 月
特別展解説書	絵図と写真で見る武蔵村山	平成 29 年 10 月
特別展解説書	年中行事からみる村山の暮らし	平成 30 年 11 月
特別展解説書	村山の重松囃子	令和 元年 11 月
特別展解説書	武蔵村山を知る～市制施行50周年～	令和 2 年 10 月
特別展解説書	武蔵村山と鉄道-明治から令和まで-	令和 3 年 10 月
特別展解説書	流行り病と武蔵村山	令和 4 年 10 月
	武蔵村山市の指定文化財（普及版）	平成 21 年 3 月
	むさしむらやま歴史散策コース	令和 3 年 3 月

4 受贈資料

- (1) 件 数 7 件
(2) 点 数 3, 820 点

5 資料の閲覧・撮影

- (1) 件 数 25 件
(2) 主な資料 館内展示資料 ほか

6 資料の貸出

- (1) 件 数 0 件
(2) 主な資料

7 文化財関係DVD・ビデオテープの貸出

- (1) 件 数 1 件
(2) 主な資料 DVD「武蔵村山市の歴史」ほか

8 文化財関係DVD・ビデオテープ一覧

(1) DVD

No.	タ イ ト ル	時 間	主 な 内 容	備 考
1	武蔵村山市の指定文化財①	6 分 30 秒	眞福寺梵鐘はじめ、7 件の市指定有形文化財を紹介	1983. 11 製作
2	武蔵村山市の指定文化財②	6 分 40 秒	平成 7 年以降に指定された有形民俗文化財(4 件)、無形民俗文化財(1 件)、有形文化財(4 件)を紹介	2005. 3 製作

3	武蔵村山市の神社・仏閣	4分22秒	お伊勢の森神明社をはじめ、武蔵村山市内の主な神社・仏閣を紹介	1983.11 製作 2005.3 リニューアル
4	武蔵村山市の石仏と板碑	4分59秒	武蔵村山市内に残る、石仏と板碑の紹介と解説	1983.11 製作 2005.3 リニューアル
5	武蔵村山市の郷土芸能①－横中馬獅子舞、重松囃子－	8分03秒	旧中藤村に残る、郷土芸能（市指定無形民俗文化財）2件を紹介	1984.11 製作 2005.3 リニューアル
6	武蔵村山市の郷土芸能②－三ツ木天王様祇園ばやし、薬師念仏鉦はり－	7分55秒	旧三ツ木村に残る、郷土芸能（都指定無形民俗文化財、市指定無形民俗文化財）2件を紹介	1984.11 製作 2005.3 リニューアル
7	武蔵村山市の遺跡	8分27秒	吉祥山遺跡など武蔵村山市の代表的な遺跡から発掘調査等により発見された資料を紹介	1984.11 製作 2005.3 リニューアル
8	武蔵村山市の手工芸①－だるまづくり－	5分32秒	以前、武蔵村山市内で作られていた、だるまづくりの製作工程を解説	1986.1 製作 2005.3 リニューアル
9	武蔵村山市の手工芸②－羽子板づくり－	5分00秒	以前、武蔵村山市内で作られていた、押絵羽子板づくりの製作工程を解説	1986.1 製作 2005.3 リニューアル
10	武蔵村山市の手工芸③－御神酒の口づくり－	4分41秒	以前、武蔵村山市内で作られていた、御神酒の口づくりの製作工程を解説	1986.1 製作 2005.3 リニューアル
11	武蔵村山市の伝統的産業①－村山大島紬－	5分56秒	都指定無形文化財「村山大島紬」製作工程等を解説	1986.1 製作 2005.3 リニューアル
12	武蔵村山市の伝統的産業②－狭山茶－	8分02秒	手もみによる、狭山茶の製茶の工程を解説	1986.1 製作 2005.3 リニューアル
13	武蔵村山市の街道	9分18秒	市内を通る歴史的に古い街道や古道を紹介	1986.1 製作 2005.3 リニューアル
14	武蔵村山市の自然①－里山の景観－	7分08秒	市内の宮野入、赤坂、番太池、野山北公園、横田湿地の夏と晩秋の映像による里山の景観と自然を紹介	2005.3 製作

15	武蔵村山市の自然② －春の動植物－	5 分 46 秒	春の狭山丘陵や公園等の風景 と動植物を紹介	1988.1 製作 2005.3 リニ ューアル
16	武蔵村山市の自然③ －夏の動植物－	4 分 56 秒	夏の狭山丘陵や公園等の風景 と動植物を紹介	1988.1 製作 2005.3 リニ ューアル
17	武蔵村山市の自然④ －秋、冬の動植物－	5 分 42 秒	秋・冬の狭山丘陵や公園等の風 景と動植物を紹介	1988.1 製作 2005.3 リニ ューアル
18	武蔵村山市の自然⑤ －地質・化石－	11 分 19 秒	狭山丘陵等で発見された化石 や地質調査による成果等をも とに、4 6 億年前の地球誕生か ら、市域の成り立ちなどを解説	2005.3 製作
19	武蔵村山市の歴史	18 分 12 秒	旧石器時代から始まる武蔵村 山市の歴史を、先生と生徒の応 答形式により紹介	1988.1 製作
20	武蔵村山市を走った 軽便鉄道	6 分 34 秒	山口貯水池建設工事で使用さ れた、羽村～山口線のルート等 を、現在の映像と当時の写真で 紹介	2005.3 製作

(2) ビデオテープ

総 称	整理番号	種 別	収 録 時 間
武蔵村山市 郷土史シリーズ	N o . 1	武蔵村山市の指定文化財	5 分
	N o . 2	武蔵村山市の神社・仏閣	4 分 40 秒
	N o . 3	武蔵村山市の板碑・石仏	5 分
	N o . 4	武蔵村山市の郷土芸能	16 分 10 秒
	N o . 5	武蔵村山市の遺跡	8 分 35 秒
	N o . 6	武蔵村山市の手工芸	14 分 40 秒
	N o . 7	武蔵村山市の伝統的産業	14 分
	N o . 8	武蔵村山市の街道	10 分 10 秒
	N o . 9	武蔵村山の四季	27 分 10 秒
	N o . 10	武蔵村山の歴史	18 分 30 秒
文化財記録集	N o . 1	武蔵村山市萩赤重松囃子	18 分 25 秒

9 歴史民俗資料館ホームページの公開

名 称	武蔵村山市立歴史民俗資料館
開 設 年 月 日	平成 2 2 年 3 月 1 日
主 な 内 容	資料館からのお知らせ、施設利用案内、展示室案内、分館案内等
ホームページアドレス	https://www.city.musashimurayama.lg.jp/kankou/spots/rekishiminzoku/index.html

10 施設利用の記録（団体入館者を含む）

歴史民俗資料館

区分 月	開館日数 (日)	利用者数 (人)	市 内		市 外	
			人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
令和4. 4	28	431	204	47.3	227	52.7
5	27	658	206	31.3	452	68.7
6	23	304	146	48.0	158	52.0
7	29	497	213	42.9	284	57.1
8	29	467	211	45.2	256	54.8
9	28	291	124	42.6	167	57.4
10	24	374	147	39.3	227	60.7
11	28	464	174	37.5	290	62.5
12	25	338	150	44.4	188	55.6
令和5. 1	24	362	186	51.4	176	48.6
2	26	822	568	69.1	254	30.9
3	29	622	351	56.4	271	43.6
合 計	320	5,630	2,680	47.6	2,950	52.4

歴史民俗資料館分館

区分 月	開館日数 (日)	利用者数 (人)	市 内		市 外	
			人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
令和4. 4	22	46	18	39.1	28	60.9
5	21	40	11	27.5	29	72.5
6	17	38	14	36.8	24	63.2
7	23	51	17	33.3	34	66.7
8	21	53	35	66.0	18	34.0
9	22	41	25	61.0	16	39.0
10	22	29	13	44.8	16	55.2
11	21	53	19	35.8	34	64.2
12	19	21	7	33.3	14	66.7
令和5. 1	19	27	8	29.6	19	70.4
2	20	20	12	60.0	8	40.0
3	23	56	43	76.8	13	23.2
合 計	250	475	222	46.7	253	53.3

1 1 常設展示概要

(1) 歴史民俗資料館常設展示のテーマ

① 全体テーマ

- ・丘陵と台地が育む生命のあゆみ ～人と自然との共生～

② 各コーナーテーマ

- ・丘陵と台地に生きた人々
- ・丘陵と台地が育む武蔵村山の歴史と伝統文化
- ・「里山」と人々の暮らし
- ・武蔵村山市郷土史シリーズ（映像コーナー）

(2) 歴史民俗資料館の主な展示品

- ・屋敷山遺跡出土「中世常滑窯大甕」（市指定有形文化財）
- ・屋敷山遺跡出土「人面装飾付土器」（市指定有形文化財）
- ・「指田日記」（市指定有形文化財）
- ・「村山大島紬」（都指定無形文化財）関連品
- ・「双盤念仏－薬師念仏鉦はり－」（都指定無形民俗文化財）関連品
- ・軽便鉄道「羽村・山口線」関連品
- ・昔の暮らし（現代）、座敷、家具什器

(3) 歴史民俗資料館設置の模型・機器類

- ① むさしむらやま探求マップシステム（歴史散策コース等案内映像）
- ② 吉祥山遺跡8号住居カマド復元模型（吉祥山コーナー）
- ③ 武蔵野台地立体模型（地質・化石コーナー）
- ④ 養蚕関係模型（民具コーナー）

(4) 歴史民俗資料館分館常設展示のテーマ

① 全体テーマ

- ・戦時中の武蔵村山

② 各コーナーテーマ

- ・第二次世界大戦と太平洋戦争
- ・武蔵村山周辺の軍の施設と空襲被害
- ・航空写真でみる武蔵村山周辺の軍事施設と空襲被害
- ・東京陸軍少年飛行兵学校の変遷
- ・東京陸軍少年飛行兵学校の訓練
- ・所沢陸軍整備学校立川教育隊と村山陸軍病院
- ・市内に残る主な軍用施設
- ・市内の戦時下の暮らし
- ・市内に疎開した人たち
- ・村山村から出征した人たち
- ・戦後の武蔵村山

(5) 歴史民俗資料館分館の主な展示品

- ・東京陸軍航空学校教科書
- ・市内戦争遺跡出土品
- ・戦後の教育関係資料（市立第一中学校関連資料・中久保図書館関連資料等）

スポーツ振興課 スポーツ振興係

スポーツ推進委員協議会

1 スポーツ推進委員の職務

スポーツ推進委員は、スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第32条第2項の規定に基づき設置されており、委員定数は14人で、任期は2年です。

委員は、社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有し、及びその職務を行うのに必要な熱意と能力を有する者の中から、委員会が委嘱しています。

主な職務は、以下のとおりです。

- (1) 教育委員会の行うスポーツに関する行事又は事業に協力すること。
- (2) 市内の地域団体、職域団体等の行うスポーツの行事又は事業に関し、求めに応じて協力すること。
- (3) 住民の求めに応じて、スポーツの実技の指導を行うこと。
- (4) 住民のスポーツ活動の促進のための組織の育成を図ること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、住民のスポーツの推進のための指導、助言を行うこと。

2 スポーツ推進委員協議会の記録

回数	日 時	会 場 等	議 題
1	第1回 令和4年 4月7日（木）	中部地区会館 403集会室 （市役所4階）	・スポーツ推進委員協議会役員の選任について ・一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会正会員の選出について ・各スポーツ事業に担当者を振り分けることについて ・～いきいきわくわく狭山丘陵ウォーク～第45回歩け歩け大会について
2	第2回 5月12日（木）	中部地区会館 403集会室 （市役所4階）	・～いきいきわくわく狭山丘陵ウォーク～第45回歩け歩け大会について ・姉妹都市交流事業「第16回栄村駅伝」について ・第17回地区ふれあいスポレク大会について
3	第3回 6月2日（木）	中部地区会館 403集会室 （市役所4階）	・第17回地区ふれあいスポレク大会についてのアンケート調査結果について ・令和4年度広域地区別研修会「第8ブロック実技研修会」について
4	第4回 7月7日（木）	中部地区会館 403集会室 （市役所4階）	・令和4年度広域地区別研修会「第8ブロック実技研修会」について
5	第5回 8月4日（木）	市民会館 会議室	・心身障害者（児）グラウンド・ゴルフ教室について ・第17回地区ふれあいスポレク大会について
6	第6回 9月1日（木）	市民会館 会議室	・令和4年度広域地区別研修会（第8ブロック）実技研修について

回数	日 時	会 場 等	議 題
7	第7回 10月6日(木)	市民会館 会議室	・令和4年度広域地区別研修会(第8ブロック)実技研修について ・令和4年度東京都市町村ボッチャ大会について ・むさむら EKIDEN2022 について
8	第8回 11月10日(木)	市民会館 会議室	・第20回少年少女ドッジボール大会について
9	第9回 12月1日(木)	市民会館 会議室	・令和4年度東京都市町村ボッチャ大会について ・むさむら EKIDEN2022 について ・第39回少年少女サッカー大会について
10	第10回 令和5年 1月5日(木)	中部地区会館 403集会室 (市役所4階)	・令和4年度東京都市町村ボッチャ大会について ・第39回少年少女サッカー大会について
11	第11回 2月2日(木)	中部地区会館 403集会室 (市役所4階)	・令和4年度東京都市町村ボッチャ大会について ・第39回少年少女サッカー大会について ・～いきいきわくわく狭山丘陵ウォーク～第46回歩け歩け大会について
12	第12回 3月2日(木)	中部地区会館 403集会室 (市役所4階)	・～いきいきわくわく狭山丘陵ウォーク～第46回歩け歩け大会について

ス ポ ー ツ 振 興 事 業

広く市民の間にスポーツを普及し、市民の健康増進と体力の向上を図り、市民生活を明るく豊かにすることを目的に、各種スポーツ大会、教室などを実施しました。

1 いきいきわくわく狭山丘陵ウォーク第45回武蔵村山市歩け歩け大会

- (1) 期 日 令和4年5月15日(日)
午前9時 受付開始・順次スタート
- (2) 対 象 市内在住・在勤・在学者(小学3年生以下は当日保護者同伴)
- (3) 区間及び
距 離 第一小学校(スタート)→日吉神社→横田児童遊園→七所神社
→出会いの広場→六地藏→猿久保→六道山公園→猿久保→六地藏
→給食センター→かたくりの湯→七所神社→横田児童遊園→横田
トンネル→日吉神社→第一小学校(ゴール)
9.0km
- (4) 参加者 271人

2 令和4年度武蔵村山市少年・古希軟式野球チーム親善試合

(1) 期 日 令和4年9月11日(日)

開 会 式 午後1時45分から

親善試合 午後2時00分から

(2) 会 場 総合運動公園運動場第3運動場

(3) 結 果 武蔵村山古希連合 7 - 10 オール武蔵村山少年野球チーム

参加人数43人(少年野球チーム20人、古希軟式野球チーム23人)

3 むさむら EKIDEN 2022

- (1) 期 日 令和4年12月11日(日)
- (2) 開会宣言 午前9時30分 真如ヤーナグラウンド
- (3) スタート 午前10時00分 小学生男子、小学生女子、中学生男子、
中学生女子、女子
午前10時05分 一般、地域、特別参加
- (4) コース 真如ヤーナ内特設コースの6区間13.5km
(Aコース：2.5km×3周・Bコース：2.0km×3周)
- (5) 対 象 市内在住・在勤・在学者(小学4年生以上)のチーム
- (6) 参 加 者 681人
参加チーム 73チーム

4 教 室

教室名	実施期日	実施場所	対 象	事業内容及び講師	参加者数	備 考
心身障害者(児) グラウンド・ゴルフ教室	令和4年 9月10日(土) 令和5年 3月11日(土)	第一小学校 校庭	市内在住・ 福祉施設在 籍の心身障 害者・児	スポーツ推進委員	49人	
心身障害者・児 スポーツ教室	毎月第2土曜日(8・1 月を除く) 令和4年 4月16日(土) 5月14日(土) 6月11日(土) 7月 9日(土) 9月10日(土) 10月 1日(土) 11月 5日(土) 12月 3日(土) 令和5年 2月11日(土) 3月11日(土) ※5月は集合したが、雨 天中止(公開授業で体育 館使用不可) 9月、3月は心身障害者 (児)グラウンド・ゴル フ教室とあわせて開催し た	第一小学校 校庭 (雨天時＝ 第一小学校 体育館)	市内在住・ 在学の心身 障害者・児 とその保護 者・介護者	スポーツ推進委員	延べ 111人	
ニュースポ ーツ体験教室	毎月第2金曜日(8・1 月を除く) 令和4年 4月 8日(金) 5月13日(金) 6月10日(金) 7月 8日(金) 9月 9日(金) 10月14日(金) 11月 4日(金) 12月 9日(金) 令和5年 2月10日(金) 3月10日(金) ※2月は雪のため中止	総合体育館 (第一体育 室)	小学生以上 の市内在 住・在勤・ 在学者	スポーツ推進委員	延べ 27人	

ハンドボール 教室	【第1クール】 4月16日(土) 23日(土) 5月14日(土) 5月21日(土) 6月11日(土) 【第2クール】 9月24日(土) 10月 1日(土) 8日(土) 15日(土) 11月 5日(土)	総合体育館 (第一体育 室)	市内在学の 小学校1年 生から6年 生まで	武蔵村山市ハンドボ ール協会 武蔵村山市ハンドボ ールクラブ	延べ 136人	
--------------	---	----------------------	--------------------------------	---	------------	--

少年少女スポーツ振興事業

少年少女の健全育成と技術の向上を目的に各種大会を実施しました。

少年少女スポーツ大会

大会名	実施期日	実施場所	対 象	事 業 内 容	参加者数 チーム数	成 績
第14回 山村山つ子相撲大会わんぱく場所	令和4年 6月4日(土) ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	第十小学校	市内小学生 男女及び未 就学児で保 護者が出場 を認めた者	1 部門 (1)未就学児の部 (2)小学生の部(学年別、男女別) 2 試合方法 トーナメント戦 ※小学生の部でその日初めて取り組みをする児童の場合、2本先取したほうが勝ちとなる。		
第52回 少年野球大会	令和4年 6月26日(日) 7月 3日(日) 7月10日(日)	総合運動公園運動場 (第1・第3運動場)	市内在住の 小学生男女	1 登録人員 20人以内 2 登録選手 ・1部・原則5・6年生で構成されたチーム ・2部・4年生以下で構成されたチーム 3 試合方法 ・1部・2部ともトーナメント方式	1部 7チーム	優勝 サンダーファイターズ 準優勝 グレートベアーB 第3位 武蔵ライオンズA
					2部 5チーム	優勝 サンダーファイターズJr 準優勝 パンサーJr 第3位 隼C

大会名	実施期日	実施場所	対 象	事 業 内 容	参加者数 チーム数	成 績
第 39 回 少 年 少 女 サ ッ カ ー 大 会	令和5年 1月21日(土)	総 合 運 動 公園運動場 (第1運動 場・第2運 動場)	市内在住の 小学4年生 以上の男女	1 登録人員 8人以上 2 部門 (1)男子の部 (2)女子の部 ※混成チームは男子の部に 属する。 3 試合方法 (1)男子の部 トーナメン ト戦 女子の部 リーグ戦 (2)10分ハーフ ハーフタイム5分 4 使用球 検定4号 5 競技規定 (1)日本サッカー協会競技 規則に準ずる。 (2)同点の場合は、5人のP K戦による。決勝戦及び決 勝リーグのみ延長戦を実 施する。 (前半5分、後半5分) (3)選手の交代は自由。 (4)試合中、退場処分者は次 の試合は出場不可。	男子の部 14チーム	優勝 一小イナズ マイレブン 準優勝 雷塚キラー 第三位 十小スピリ ッツ 七小サンジ エルマン
					女子の部 3チーム	優勝 一小六年女 子 準優勝 十小ガール ズ 第三位 一小スマイ ル

大会名	実施期日	実施場所	対 象	事 業 内 容	参加者数 チーム数	成 績
第20回 少年少女ドッジボール大会	令和4年 11月12日(土)	総合体育館 (第一体育室)	市内在住 在学の小学3 年生以上の 男女	1 登録人員 12人以上 2 部門 (1) 3・4 年男子の部 (2) 3・4 年女子の部 (3) 5・6 年男子の部 (4) 5・6 年女子の部 ※混成チームは男子の部 に属する。 3 試合方法 (1) 3・4年の部 5・6年の部 (2) 予選は、1セット5 分1セットマッチ。決 勝トーナメントから、 1セット5分3セット マッチ(2セット先取) 4 競技規定 ルールは日本ドッジボ ール協会競技規則に準ず る。	3・4年の部 男子 6チーム 女子 1チーム	男子の部 優勝 雷塚小R D Cジュニア 準優勝 九小ファイ ターズ 第三位 一小ファイ ヤロー 二小G O ビ クトリー 女子の部 優勝 一小ファイ ナルズ
					5・6年の部 男子 9チーム 女子 2チーム	男子の部 優勝 八小J・M・O 準優勝 雷塚小マン マミーア 第三位 村山学園 一方通行 九小トット ムジカ 女子の部 優勝 八小B・T・K 準優勝 雷塚小絆& 愛ドッジ

市民草の根スポーツ推進事業

1 スポーツ協力員

(1) 趣旨

生涯スポーツの必要性が強く叫ばれている中で、市民のスポーツ・レクリエーションに対する関心も高まりを見せており、市内の運動施設（野球場・庭球場）や小中学校の屋外・屋内運動場は、多くのスポーツ等を楽しむ市民が利用しています。

これは、健康・体力の保持増進を自ら図ろうとする市民意識の向上と思われ、スポーツ等を通じての交流が連帯感や協調性を高めるなど、スポーツ都市として好ましい結果を残しています。

しかし、全市的に見ればまだまだ市民の誰もがスポーツに親しむまでには至っていません。

そこで、昭和52年度から、草の根スポーツの基盤づくりの第一歩として、将来の地域スポーツリーダー育成を目指し、体育行政と市民のパイプ役を担う「スポーツ協力員」を各自治会単位（自治会等から推薦）に配置しています。

スポーツ協力員の活動は、市内を4地区に分けて組織する地区スポーツ協力員連絡会において、各地区ふれあいスポレク大会の企画・運営、教育委員会主催の各種大会・スポーツ教室等への協力、地区スポーツ協力員連絡会主催のスポーツ・レクリエーション大会を実施しています。

(2) 設置の目標

- ① 教育委員会等のスポーツ・レクリエーション行事の実施に当たり、運営並びに市民との連絡調整の円滑化を図る。
- ② 将来の体力づくり等の推進のための指導者層の確立を図る。
- ③ スポーツの生活化・日常化につながる市民自らの体力づくり等の推進を図る。

(3) スポーツ協力員の役割

- ① 教育委員会等の主催事業等への協力
- ② 地区ふれあいスポレク大会の企画及び運営への参加
- ③ 体育施設・体育事業等に関する市民要求の把握及び連絡調整
- ④ スポーツ推進委員とのスポーツ・レクリエーション事業の実施

(4) スポーツ協力員の選出基準

- ① 自治会等において、体育・スポーツ・レクリエーション活動等に組織的、継続的な活動を実施する意欲がある人。
- ② スポーツ協力員連絡会及び各種体育活動に出席することが可能な人。（主に日曜日・平日夜間）

(5) スポーツ協力員の任期

スポーツ協力員の任期は2年とし、再任を妨げない。スポーツ協力員が欠けたときは、補欠のスポーツ協力員を委嘱することができ、その任期は前任者の残任期間とする。

2 地区スポーツ協力員連絡会活動

スポーツ協力員は、市内4地区（中藤、西部、北部、南部）をもって地区連絡会を組織し、次の活動を行っています。

- (1) 各地区のスポーツ・レクリエーション事業の推進を図っています。
- (2) 各地区自主活動体制の確立を図り、各地区の体力づくり推進のための年間事業計画を立て、スポーツ推進委員と連携し実践しています。

1) 中藤地区スポーツ協力員連絡会活動の記録

期 日	事 業 名	内 容
令和4年 6月19日（日）	ソフトボール大会	5チームが参加
9月 4日（日）	ウォーキングイベント「なかとうさんぽ」	※中止
10月 9日（日）	中藤地区ふれあいスポレク大会	※中止
11月20日（日）	グラウンド・ゴルフ大会	24チームが参加
令和5年 2月12日（日）	室内グラウンド・ゴルフ大会	16チームが参加
3月26日（日）	研修会	吉岡町緑地運動公園（群馬県）

※ 中止は新型コロナウイルス感染症の感染予防対策によるもの。

2) 西部地区スポーツ協力員連絡会活動の記録

期 日	事 業 名	内 容
令和4年 6月26日（日）	グラウンド・ゴルフ大会	23チームが参加
11月27日（日）		19チームが参加
10月23日（日）	歩け歩け大会	33名が参加
10月 9日（日）	西部地区ふれあいスポレク大会	※中止
令和5年 2月19日（日）	ボッチャ大会	8チームが参加
3月19日（日）	研修会	吉岡町緑地運動公園（群馬県）

※ 中止は新型コロナウイルス感染症の感染予防対策によるもの。

3) 南部地区スポーツ協力員連絡会活動の記録

期 日	事 業 名	内 容
令和4年 10月 9日(日)	南部地区ふれあいスポレク大会	※中止
令和4年 7月 3日(日)	グラウンド・ゴルフ大会	猛暑による熱中症予防のため中止
令和5年 2月19日(日)		22チームが参加
令和4年 5月22日(日)	南部地区スポーツデー	・バトミントン ・ミニテニス ・卓球 ・ボッチャ 等 ※7月は中止
6月26日(日)		
7月24日(日)		
8月28日(日)		
9月25日(日)		
10月23日(日)		
11月27日(日)		
12月25日(日)		
令和5年 1月22日(日)		
2月26日(日)		
3月12日(日)	研修会	吉岡町緑地運動公園（群馬県）

※ 中止は新型コロナウイルス感染症の感染予防対策によるもの。

4) 北部地区スポーツ協力員連絡会活動の記録

期 日	事 業 名	内 容
令和4年 10月 9日(日)	北部地区ふれあいスポレク大会	※中止
令和4年 6月19日(日)	グラウンド・ゴルフ大会	14チームが参加
11月20日(日)		11チームが参加
令和5年 2月19日(日)	ボッチャ大会	11チームが参加
3月12日(日)	研修会	熊谷 ホテルヘリテージ

※ 中止は新型コロナウイルス感染症の感染予防対策によるもの。

地区ふれあいスポレク大会

1 趣旨

市民がスポーツ・レクリエーション活動を通じて、市民相互の融和と親睦を深め、健康な心身を培うため、教育委員会が主催し、各地区の実行委員会が主管するふれあいスポレク大会を実施する。

2 地区別名称及び区割

- ・中藤地区(17自治会)・・・鍛冶ヶ谷戸、谷津、入り、向山、神明、中藤団地、原山、原山第一、萩ノ尾、中村第一、中村第二、中村第三、馬場、横田、日の出、新海道、平和台第一
- ・西部地区(10自治会)・・・三ツ藤、村山道下、山王森、峰、後ヶ谷戸、宿、残堀、伊奈平、岸、中原
- ・南部地区(15自治会)・・・しのめ、平和台第二、大南、上水台、大南五丁目、第2ブロック、1101、1110号棟、1111号棟、1112、緑が丘第一、緑が丘第二、緑が丘第3、緑が丘第5、マイホームランド玉川上水
- ・北部地区(13自治会)・・・雷塚、学園、むさしの宿舎、第6ブロック、武蔵村山団地第8ブロック、緑が丘第11、村山団地第11ブロック、12ブロック、42号館、緑が丘第六、緑が丘第7、緑が丘第8、緑が丘第九、

3 実施期日

令和4年10月9日(日) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業中止とした。

4 実行委員会の設置

地区ふれあいスポレク大会の円滑な遂行を図るため、実行委員会を設置する。実行委員会は、当該地区内の自治会長、スポーツ推進委員、スポーツ協力員、体育協会役員、PTA役員、青少年対策地区委員等により構成する。

5 交付金

市は地区ふれあいスポレク大会を実施する各地区の実行委員会に対して、スポレク大会実施に要する事業費として交付金を交付する。

・地区交付金

ア 均等割	1地区につき	434,000円
イ 自治会割	1自治会につき	15,000円

姉妹都市交流事業

平成4年度から、姉妹都市交流事業の一つとして、栄村駅伝大会に武蔵村山市チームを派遣し、村民とのスポーツ交流を行い、両市村の発展に寄与するとともに末長い交流を図っています。

1 期 日 令和4年7月2日（土）～3日（日）

2 場 所 長野県下水内郡栄村

3 区 間 5区間 7.0 km

区間	距離	コース
第1区	1.5 km	農村広場～箕作公民館
第2区	1.0 km	箕作公民館～月岡公民館
第3区	1.5 km	月岡公民館～小滝公民館
第4区	2.0 km	小滝公民館～西部重機車庫
第5区	1.0 km	西部重機車庫～農村広場

4 参加チーム 2チーム

総合体育館利用状況

1 貸切利用

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸切利用	第一体育室	236	217	211	216	222	224	238	207	196	195	209	241	2,612
	第二体育室	114	104	116	119	97	108	122	116	101	99	98	126	1,320
	第三体育室	89	95	89	92	71	81	96	95	72	75	73	93	1,021
	会議室	108	106	126	112	102	105	125	118	79	105	100	124	1,310
	放送室	15	16	31	34	21	27	24	34	29	33	30	23	317
合 計		562	538	573	573	513	545	605	570	477	507	510	607	6,580

2 個人利用

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
トレーニング室	市内	2,296	2,335	2,409	2,392	2,193	2,269	2,108	2,170	1,687	1,976	2,293	2,601	26,729
	市外	151	153	141	193	161	205	190	169	150	149	174	166	2,002
	おためし教室	687	621	609	595	492	600	564	571	472	539	555	638	6,943
	ショートエクササイズ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
個人開放(卓球スペース利用者含む)	市内	1,342	1,458	1,241	1,293	1,398	1,247	1,263	1,016	1,152	1,045	1,381	1,594	15,430
	市外	139	153	100	110	126	132	124	89	79	97	111	132	1,392
合 計 ※おためし教室とショートエクササイズの利用人数は「市内」、「市外」の人数に含まれるため、合計には含まない。		3,928	4,099	3,891	3,988	3,878	3,853	3,685	3,444	3,068	3,267	3,959	4,493	45,553

3 自主事業

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
教室・イベント等	楽らクラブ	745	878	923	684	709	797	855	748	662	656	837	960	9,454
	短期登録教室	789	917	952	586	224	863	967	835	571	742	883	867	9,196
	幼児一時預かり	0	0	0	0	0	1	1	0	2	4	4	7	19
	単発イベント	0	0	24	0	40	0	2260	66	54	36	0	507	2,987
	スクールパートナー教室	233	187	233	186	184	234	194	252	173	198	238	261	2,573
合 計		1,767	1,982	2,132	1,456	1,157	1,895	4,277	1,901	1,462	1,636	1,962	2,602	24,229

4 無料施設利用

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
幼児体育室	124	184	196	243	237	187	105	158	117	131	253	268	2,203
ランニング走路	63	37	25	47	97	54	33	18	9	16	64	127	590
合 計	187	221	221	290	334	241	138	176	126	147	317	395	2,793

屋外体育施設等利用状況

施設名 月	総合 (第1)	総合 (第2)	総合 (第3)	野山北公園 運動場	雷塚公園 野球場	大南公園 野球場	大南公園 野球場 (夜間)	雷塚公園 庭球場	大南公園 庭球場	三ツ木 庭球場
4月	52	50	39	28	63	49	2	96	191	161
5月	72	49	39	18	66	53	8	103	204	182
6月	67	50	44	22	54	44	9	79	155	160
7月	87	23	56	18	2	57	4	98	183	173
8月	73	50	50	12	0	44	11	52	181	152
9月	42	37	42	19	9	64	9	67	179	153
10月	59	55	50	39	8	90	6	105	198	165
11月	47	40	42	16	0	84	3	86	192	165
12月	38	19	22	14	0	47	0	113	152	135
1月	44	22	31	13	11	43	0	99	184	145
2月	47	18	29	3	0	55	0	65	171	126
3月	38	25	27	13	34	46	4	62	165	120
合計	666	438	471	215	247	676	56	1,025	2,155	1,837
利用率 (%)	47	31	33	15	19	47	8	24	50	64

※ 毎月の施設ごとの数値は各施設の利用単位数を表す

※ 利用率 (%) = 利用単位数 ÷ 全単位数 × 100 (2時間 = 1単位) 小数点第1位を四捨五入

※ 各種庭球場は全コート (A・B・C等) の合計値

学校体育施設開放利用状況

(単位＝利用団体数)

学 校 名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
一 小	体育館	18	30	27	16	18	27	21	5	18	21	21	0	222
	校 庭	13	13	9	12	8	19	5	11	10	8	10	9	127
	ナイター	29	30	27	32	25	7	16	36	39	38	34	31	344
二 小	体育館	13	13	13	27	20	19	23	0	13	21	17	2	181
	校 庭	10	12	8	11	4	6	9	9	8	9	9	9	104
三 小	体育館	20	25	24	0	14	0	12	29	0	11	15	0	150
	校 庭	11	12	8	9	0	10	5	10	8	8	8	9	98
大南学園 七 小	体育館	21	32	41	42	32	39	38	40	35	37	9	3	369
	校 庭	10	14	9	13	0	0	0	8	10	10	11	11	96
八 小	体育館	21	23	34	34	28	27	24	23	20	23	25	3	285
	校 庭	10	12	8	10	4	10	9	9	8	8	9	9	106
九 小	体育館	25	36	33	41	23	35	38	24	36	33	45	23	392
	校 庭	13	19	14	17	7	15	15	15	13	10	15	14	167
十 小	体育館	26	35	35	42	23	37	37	22	30	36	32	7	362
	校 庭	10	12	4	4	2	4	4	4	4	4	36	6	94
雷塚小	体育館	27	44	39	34	22	37	37	0	43	31	27	3	344
	校 庭	10	11	8	11	4	10	9	7	8	9	9	9	105
一 中	体育館	13	17	26	25	16	24	30	25	19	20	21	21	257
	校 庭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ナイター	14	6	12	10	11	15	13	12	4	5	8	8	118
	武道場	6	14	16	16	12	16	18	18	11	16	15	14	172
三 中	体育館	13	19	19	22	18	20	25	21	24	21	20	26	248
	校 庭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大南学園 四 中	体育館	12	17	15	18	15	19	23	17	22	23	20	22	223
	校 庭	4	5	4	5	2	4	5	4	4	2	4	4	47
五 中	体育館	20	31	30	31	22	30	31	29	27	27	28	29	335
	校 庭	4	4	3	0	0	0	0	0	3	0	4	4	22
	武道場	3	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	4	11
杣山学園	体育館	28	32	38	34	22	35	34	33	35	34	34	25	384
	校庭	30	16	22	24	16	0	0	30	24	24	24	21	231
	武道場	11	14	16	13	7	15	12	11	12	11	14	17	153
合 計	体育館	257	354	374	366	273	349	373	268	322	338	314	164	3,752
	校 庭	125	130	97	116	47	78	61	107	100	92	139	105	1,197
	ナイター	43	36	39	42	36	22	29	48	43	43	42	39	462
	武道場	20	28	32	30	19	31	31	29	24	28	29	35	336

野山北公園プール利用状況

1 利用状況

	利用者数
大 人	2, 3 8 0 人
子 供	3, 3 2 1 人
計	5, 7 0 1 人

2 開放期間

7月10日（日）～8月31日（水）

3 開放日数

野山北公園プール 44日間
※休場…9日間

小学校校庭遊び場開放利用状況

1 利用状況

種 別 学校名	延人数（人）	延日数（日）
第一小学校	4, 3 2 4	2 5 0
第二小学校	7, 9 6 0	2 4 2
第三小学校	2, 8 0 1	2 3 8
村山学園第四小学校	3, 6 4 9	2 4 7
大南学園第七小学校	9, 8 1 4	2 4 6
第八小学校	1, 5 2 9	2 5 0
第九小学校	8, 0 7 3	2 4 6
第十小学校	7, 7 9 8	2 4 0
雷塚小学校	6, 0 8 2	2 5 0
合 計	5 2, 0 3 0	2, 2 0 9

2 開放時間

月 別	開 放 時 間
3月 ～ 6月	午後3時50分から午後4時50分まで（60分）
7月 ～ 8月	午後3時50分から午後5時30分まで（100分）
9月 ～ 10月	午後3時50分から午後4時50分まで（60分）
11月 ～ 2月	午後3時50分から午後4時20分まで（30分）

圖書館

図書館協議会の記録

図書館協議会は、図書館法第14条第1項の規定に基づいて設置された機関であり、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館奉仕について意見を述べることを職務としています。

本市の図書館協議会委員の任期は2年、定数は10人で構成されています。

会議の開催状況

開催回数3回

開催年月日	主 な 議 題 等
令和4年5月21日	武蔵村山市立図書館協議会会長及び副会長の選出について
令和4年7月9日	電子図書館システム導入に係る貸出期間等の取り扱いについて
令和5年3月11日	報告事項の説明

図書館活動の記録

1 資料数

(1) 蔵書数

(単位：冊)

館 名	分類	令和3年度 蔵書数	令和4年度		令和4年度蔵書数
			購入	寄贈・除籍等	
雷 塚 図 書 館	一般書	45,019	1,007	△740	45,286
	児童書	25,439	645	△186	25,898
	計	70,458	1,652	△926	71,184
中 久 保 図 書 館	一般書	22,171	713	△105	22,779
	児童書	12,206	262	△109	12,359
	計	34,377	975	△214	35,138
中 藤 地 区 図 書 館	一般書	29,447	642	△163	29,926
	児童書	21,976	363	△406	21,933
	計	51,423	1,005	△569	51,859
三 ツ 木 地 区 図 書 館	一般書	34,238	766	△796	34,208
	児童書	19,820	375	△588	19,607
	計	54,058	1,141	△1,384	53,815
大 南 地 区 図 書 館	一般書	38,175	1,119	△1,962	37,332
	児童書	19,738	444	△173	20,009
	計	57,913	1,563	△2,135	57,341
残 堀・伊 奈 平 地 区 図 書 館	一般書	30,830	906	△61	31,675
	児童書	22,967	375	△865	22,477
	計	53,797	1,281	△926	54,152
合 計	一般書	199,880	5,153	△3,827	201,206
	児童書	122,146	2,464	△2,327	122,283
	計	322,026	7,617	△6,154	323,489

(2) 点字図書及び視聴覚資料 (単位：点字＝冊、カセットテープ・CD＝タイトル)

館 名	分類	令和3年度蔵書数	令和4年度		令和4年度蔵書数
			購入	寄贈・除籍等	
中 藤 地 区 図 書 館	点字 図書	233	0	0	233
	カセット テープ	221	0	△19	202
	CD	3,466	57	0	3,523
残堀・伊奈平 地 区 図 書 館	CD	3,457	60	△2	3,515
CD小計		6,923	117	△2	7,038
合 計		7,377	117	△21	7,473

(3) 新聞・雑誌 (単位：タイトル)

館 名	新聞	雑誌
雷 塚 図 書 館	5	34
中 久 保 図 書 館	6	24
中 藤 地 区 図 書 館	4	22
三 ツ 木 地 区 図 書 館	4	25
大 南 地 区 図 書 館	4	20
残堀・伊奈平地区図書館	4	26
合 計	27	151

2 登録者数

(1) 個人

(単位：人)

館 名	区分	令和4年度	合 計
雷 塚 図 書 館	一般	184	11,957
	児童	151	503
	合計	335	12,460
中 久 保 図 書 館	一般	38	3,474
	児童	37	163
	合計	75	3,637
中 藤 地 区 図 書 館	一般	29	3,181
	児童	19	131
	合計	48	3,312
三 ツ 木 地 区 図 書 館	一般	80	6,968
	児童	67	297
	合計	147	7,265
大 南 地 区 図 書 館	一般	110	8,358
	児童	49	416
	合計	159	8,774
残堀・伊奈平地区図書館	一般	84	6,704
	児童	82	338
	合計	166	7,042
合 計	一般	522	40,642
	児童	405	1,848
	合計	930	42,490

(2) 団体

(単位：団体)

館 名	1 乳・幼 児	2 小学校	3 中学校	4 一般	合計
雷 塚 図 書 館	1	7	1	4	13
中 久 保 図 書 館	0	1	0	1	2
中 藤 地 区 図 書 館	0	1	0	0	1
三 ツ 木 地 区 図 書 館	0	1	0	0	1
大 南 地 区 図 書 館	0	0	1	1	2
残堀・伊奈平地区図書館	0	0	0	1	1
合 計	1	10	2	7	20

* 団体貸出の登録有効期限は、当該年度末まで。

*団体：学校や社会福祉団体等

3 貸出者数

(1) 個人

(単位：人)

館 名 \ 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
雷 塚 図 書 館	1,202	1,295	1,327	2,355	2,516	2,134	1,645	1,329	1,239	1,346	1,155	1,301	18,844
中 久 保 図 書 館	759	836	725	822	918	765	855	814	683	743	744	716	9,380
中 藤 地 区 図 書 館	500	561	566	608	651	544	532	485	422	468	446	440	6,223
三 ツ 木 地 区 図 書 館	722	830	773	955	1,053	818	814	707	633	673	709	758	9,445
大 南 地 区 図 書 館	1,537	1,611	1,634	-	-	-	1,200	1,439	1,308	1,336	1,428	1,507	13,000
残 堀 ・ 伊 奈 平 地 区 図 書 館	831	859	908	1,040	1,186	904	869	786	729	832	879	879	10,696
O P A C 館	465	459	414	497	427	476	476	466	441	494	447	546	5,608
合 計	6,016	6,451	6,347	6,277	6,751	5,641	6,391	6,026	5,455	5,892	5,808	6,141	73,196

*OPAC館：図書館ホームページからの貸出延長者数。

(2) 団体

(単位：団体)

館 名 \ 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
雷 塚 図 書 館	93	101	136	117	87	116	104	125	108	107	120	147	1,361
中 久 保 図 書 館	0	0	3	0	4	6	3	1	4	3	1	0	25
中 藤 地 区 図 書 館	3	6	5	2	1	5	4	7	2	0	2	2	39
三 ツ 木 地 区 図 書 館	6	6	5	5	9	8	11	13	1	4	6	3	77
大 南 地 区 図 書 館	5	7	12	-	-	-	4	7	0	1	4	0	40
残 堀 ・ 伊 奈 平 地 区 図 書 館	1	6	7	12	5	6	7	10	2	6	13	8	83
合 計	108	126	168	136	106	141	133	163	117	121	146	160	1,625

*この数値は、団体貸出と相互貸借で他市等に貸し出したものを合算した数値

*大南地区図書館は、7月から9月まで空調機器工事のため休館

4 資料貸出数

(1) 個人貸出

資料区分 館 名	一般書 (冊)	児童書 (冊)	雑 誌 (冊)	洋 書 (冊)	C D (タイトル)	カセット テープ (タイトル)	点字 図書 (冊)	合 計 (点)
雷 塚 図 書 館	38,890	26,350	3,732	0	327	0	1	69,300
中 久 保 図 書 館	19,901	11,037	1,761	1	265	0	0	32,965
中 藤 地 区 図 書 館	10,840	8,625	1,152	0	1,943	4	0	22,564
三 ツ 木 地 区 図 書 館	20,303	10,634	1,760	0	154	0	0	32,851
大 南 地 区 図 書 館	25,549	17,852	2,930	16	483	0	0	46,830
残堀・伊奈平地区図書館	20,644	12,827	1,904	20	2,597	172	0	38,164
O P A C 館	9,148	4,710	918	1	335	0	0	15,112
合 計	145,275	92,035	14,157	38	6,104	176	1	257,786

*OPAC館：図書館ホームページからの貸出延長点数。

*大南地区図書館は、7月から9月まで空調機器工事のため休館

(2) 団体貸出

資料区分 館 名	一般書 (冊)	児童書 (冊)	雑 誌 (冊)	洋 書 (冊)	C D (タイトル)	カセット テープ (タイトル)	点字 図書 (冊)	合 計 (点)
雷 塚 図 書 館	2,778	1,479	118	0	9	0	0	4,384
中 久 保 図 書 館	30	98	3	0	0	0	0	131
中 藤 地 区 図 書 館	1	77	0	0	2	3	0	83
三 ツ 木 地 区 図 書 館	116	479	1	0	0	0	0	596
大 南 地 区 図 書 館	21	262	0	0	0	0	0	283
残堀・伊奈平地区図書館	10	552	0	0	0	0	0	562
合 計	2,956	2,947	122	0	11	3	0	6,039

5 リクエストサービス

リクエストサービスとは、利用者から要求された資料について、所蔵の有無にかかわらず、一定の方法により提供することをいいます。

自分の読みたい本が見つからないとき、また、自分の調べたいことの載っている本がわからないときなどに、図書館の職員が相談を受け、それらの本が貸出中や未所蔵、または調査が必要な場合などに、リクエストを受け、購入若しくは都立や他の自治体等の図書館から借用するなどして、資料を用意する図書館事業の一つです。

(1) 受付状況

資料区分 館 名	一般書	児童書	雑 誌	洋 書	C D	ｶｾｯﾄ ﾃｰﾌﾟ	点 字 図 書	合 計
	(冊)	(冊)	(冊)	(冊)	(タイトル)	(タイトル)	(冊)	(点)
雷 塚 図 書 館	6,778	858	750	0	80	0	1	8,467
中 久 保 図 書 館	1,934	432	206	0	40	0	0	2,612
中 藤 地 区 図 書 館	451	111	136	0	31	3	0	732
三 ツ 木 地 区 図 書 館	951	277	120	0	50	0	0	1,398
大 南 地 区 図 書 館	2,243	338	656	0	85	0	0	3,322
残堀・伊奈平地区図書館	1,021	164	223	0	33	0	0	1,445
O P A C 館	28,581	8,492	3,600	1	1,378	173	2	42,227
合 計	41,959	10,676	5,691	1	1,697	176	3	60,203

*OPAC館：図書館ホームページからの予約

(2) 処理状況内訳

資料区分 館 名	所 蔵	購 入	都 立 図 書 館 借 用	市 町 村 立 図 書 館 借 用	区 立 図 書 館 借 用	他 県 図 書 館 借 用	国 立 国 会 図 書 館 借 用	未提供 等	合 計
	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)
雷 塚 図 書 館	18,310	329	409	856	97	0	1	422	20,424
中 久 保 図 書 館	6,574	122	211	358	13	0	1	168	7,447
中 藤 地 区 図 書 館	5,798	104	68	165	4	0	0	55	6,194
三 ツ 木 地 区 図 書 館	5,151	100	104	238	10	1	0	186	5,790
大 南 地 区 図 書 館	12,292	217	280	485	48	0	0	322	13,644
残堀・伊奈平地区図書館	6,288	102	45	183	9	0	0	76	6,703
O P A C 館									
合 計	54,413	974	1,117	2,285	181	1	2	1,229	60,202

*未提供等：キャンセル、受け取りに来なかったものを含む。

6 レファレンスサービス・複写サービス

(1) レファレンスサービス

レファレンスサービスとは、利用者から調査・研究のための資料（情報）を求められた場合に資料検索の援助をし、資料提供を行うことをいいます。

受付状況※大南地区図書館は、7月から9月まで空調機器工事のため休館

(単位：件)

館 名 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
雷 塚 図 書 館	1	0	1	1	8	3	0	0	0	3	0	0	17
中 久 保 図 書 館	10	5	3	4	6	0	2	2	0	2	1	0	35
中 藤 地 区 図 書 館	0	1	1	3	5	0	8	1	7	3	2	2	33
三 ツ 木 地 区 図 書 館	0	0	0	0	7	0	11	13	1	1	0	3	36
大 南 地 区 図 書 館	0	0	0	－	－	－	2	0	7	2	1	0	12
残 堀 ・ 伊 奈 平 地 区 図 書 館	9	8	6	16	16	6	10	4	5	7	6	1	94
O P A C 館	2	1	0	2	0	0	0	1	0	0	1	1	8
合 計	22	15	11	26	42	9	33	21	20	18	11	7	235

(2) 複写サービス

複写サービスとは、利用者の求めに応じて、著作権法第31条に基づき、資料の複写を行うことをいいます。

※ 利用条件

- ・武蔵村山市立図書館で所蔵している資料の複写であること。
- ・調査、研究の用に供するものであること。
- ・公表された著作物の一部分であること。
- ・利用者一人につき同じ箇所のコピーは1部であること。

利用状況

館 名	人 数 (人)	枚 数 (枚)		
		モノクロ	カ ラー	合 計
雷 塚 図 書 館	158	855	36	991
中 久 保 図 書 館	31	170	1	171
中 藤 地 区 図 書 館	25	291	2	293
三 ツ 木 地 区 図 書 館	48	409	48	457
大 南 地 区 図 書 館	81	408	25	433
残 堀 ・ 伊 奈 平 地 区 図 書 館	75	287	3	290
合 計	418	2,420	115	2,535

*複写料金は、一枚当たりモノクロ10円、カラー50円。

7 宅配サービス

宅配サービスとは、身体の障害等により、図書館に直接来館することが困難な方に対し、職員が図書館資料を自宅まで届けることをいいます。

利用状況

内 訳 館 名	登録者数 (人)	延べ 貸出人数 (人)	延べ貸出資料数					
			図 書 (冊)	雑 誌 (冊)	C D (タイトル)	カセット テープ (タイトル)	点 字 図 書 (冊)	合 計 (点)
雷 塚 図 書 館	2	1	9	0	0	0	0	9
中 久 保 図 書 館	1	10	30	2	0	0	0	32
中 藤 地 区 図 書 館	0	0	0	0	0	0	0	0
三 ツ 木 地 区 図 書 館	0	0	0	0	0	0	0	0
大 南 地 区 図 書 館	0	0	0	0	0	0	0	0
残堀・伊奈平地区図書館	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	3	11	39	2	0	0	0	41

8 おはなしの会・朗読会

(1) おはなしの会

おはなしの会とは、幼児・児童を対象に絵本などの読み聞かせを行うことをいいます。

※ 開催回数 各館月 1～2 回

※ 内 容 絵本 2～3 冊 紙芝居 1～2 巻

開催状況

館 名	回 数 (回)	人 数 (人)	平 均 (人)
雷 塚 図 書 館	24	97	4.0
中 久 保 図 書 館	12	18	1.5
中 藤 地 区 図 書 館	12	68	5.7
三 ツ 木 地 区 図 書 館	11	33	3.0
大 南 地 区 図 書 館	16	109	6.8
残堀・伊奈平地区図書館	24	153	6.4
合 計	99	478	4.8

(2) 朗読会

朗読会とは、市内の朗読活動団体が、古典や名著を参加者に朗読して、耳から作品を楽しむ会です。令和4年度は、感染症拡大防止のため、実施できませんでした。

9 ブックスタート

ブックスタートは、子ども家庭支援センターで実施される3～4か月児の健康診査時に図書館職員が出向き、赤ちゃんに絵本の贈呈、読み聞かせ及び絵本リストの配布を行い、絵本に親しむきっかけづくりをする事業でしたが、令和3年度は、前年同様に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、健康診査時に事業の案内と本の引換券を配布し、希望者が図書館に取りに来る方法をとりました。

なお、令和3年4月から9月まで試行として1歳6か月児を対象に引換券を配布しました。

時期別配布状況

人数及び配布数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3～4 か月児	10	17	12	14	9	6	26	28	17	11	9	21	180
1歳6 か月児	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

絵本別配布状況

	書 名	出版社	配布冊数
1	いないいないばあ	童心社	19
2	おつきさまこんばんは	福音館書店	58
3	じゃあじゃあびりびり	福音館書店	35
4	もうおきるかな	こぐま社	32
5	くっついた	偕成社	36
6	うずらちゃんのかくれんぼ	福音館書店	-
7	もりのおふろ	福音館書店	-
8	しろくまちゃんのほっとけーき	こぐま社	1
9	とっとこととこ	童心社	-
10	まるまるころころ	童心社	-
合 計			181

* 5冊の絵本の中から、保護者に1冊選んでもらい贈呈するもの。

* 1～5は3～4か月児、6～10は1歳6か月児

10 除籍資料無償配布等及び不用雑誌無償配布

(1) 武蔵村山市社会福祉協議会への除籍資料無償譲渡

図書館で除籍した資料の有効活用を図り、社会福祉協議会が行う福祉活動への支援のため、除籍資料の一部を無償で譲渡していましたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため実施しませんでした。

(2) 除籍資料無償配布

図書館で除籍した資料の有効活用を図るため、公共施設等及び市民（在勤・在学者を含む）への無償配布を行うものです。

実施月日及び頒布対象等

令和4年11月10日（木）、11日（金）

対象：市民・公共施設等 場所：市内各図書館

除籍資料配布状況

配布対象数 (冊)	配布冊数 (冊)	配布率 (%)
2,076	989	47.6

(3) 不用雑誌無償配布

図書館所蔵の雑誌で、保存期間（6か月、1年、2年、3年及び5年保存）を経過した不用雑誌を市民（在勤・在学者を含む）へ配布しています。

実施月日 令和4年12月2日（金）から6日（火）まで
場 所 市内各図書館

不用雑誌配布状況

館 名	対象数 (冊)	冊数 (冊)	割合 (%)
雷 塚 図 書 館	518	290	56.1
中 久 保 図 書 館	276	221	80.1
中 藤 地 区 図 書 館	321	235	73.2
三 ツ 木 地 区 図 書 館	319	242	75.9
大 南 地 区 図 書 館	370	216	58.4
残堀・伊奈平地区図書館	351	226	64.4
合 計	2,155	1,430	66.4

1.1 図書等の企画展示

(1) 平和に関する図書展示

核兵器の廃絶と平和を願い、関連の図書を展示し貸出しを行います。また、市立図書館で所蔵する資料を掲載した『原爆・核問題に関する図書目録』を発行し各図書館で配布しています。

実施月日 令和4年8月2日（火）から8月15日（月）まで

場 所 残堀・伊奈平地区図書館

内 容 (1) 展示資料点数

一般書 104冊

児童書 111冊

合計 215冊

(2) 貸出状況

一般書 1冊

児童書 7冊

合計 8冊

(2) その他の図書展示

各図書館で、季節ごとにテーマを設定し、そのテーマに関する展示を行い、貸出を行いました。

<全館で実施したもの>

小学生向け推薦図書案内「ねえねえこのほんしってる」掲載図書

令和4年7月15日(金)～令和4年8月31日(水)

<各館の展示回数と内容>

図書館名	回数	主な展示内容
雷 塚	6	鉄道に関する本の展示、沖縄の本の展示、映画の原作になった本の展示、クリスマスの本の展示、うさぎの本の展示、城の本の展示
中久保	0	
中藤地区	0	
三ツ木地区	0	
大南地区	0	
残堀・伊奈平地区	0	

1 2 図書館見学、職場体験等、ボランティア受入状況

(1) 図書館見学

小学校等の授業の一環で、クラス又は学年単位で図書館を訪問し、職員から、図書館の利用方法や 仕事の説明を聞き、また、館内を見学するものです。

日付	学校名・学年等	人数	見学図書館
6月9日	村山養護特別支援学校高等部	9	雷塚
6月16日	雷塚小学校1・2年生	63	雷塚
6月24日	雷塚小学校1年生	30	雷塚
9月21日	第一小学校2年生	8	中久保
10月22日	小中一貫校村山学園2年生	55	大南
10月26日	第七小学校2年生	56	大南
10月26日	第七小学校2年生	56	雷塚
11月1日	第二小学校	20	三ツ木
11月4日	村山幼稚園年長組	66	雷塚
11月17日	第九小学校2年生	32	雷塚
12月9日	村山養護特別支援学校高等部	9	雷塚
12月16日	村山養護特別支援学校高等部	4	雷塚

(2) 図書館職場体験、ボランティア研修

<職場体験>

市内の中学生が、図書館で実施している業務を実際に体験し、仕事を理解するとともに働くことの楽しさや厳しさを学ぶ機会です。

令和4年度は学校からの申し込みはありませんでした。

(3) おはなしの会ボランティア

図書館の読み聞かせボランティアとして登録していただき、毎月開催しているおはなしの会において、職員とともに読み聞かせをしています。

ボランティア登録者数 32名 (令和5年3月31日現在)

活 動

読み聞かせ及びグループごとの打合せ会を行いますが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症等の予防のため実施しませんでした。

お話しの会ボランティア養成講座

講師を依頼しボランティアの養成講座を開催しました。

○募集期間：令和5年1月15日（日）～2月20日（月）

○応募者：15名

○講座実施日：第1回 令和5年3月2日（木）受講者14名

第2回 3月8日（水）受講者14名

第3回 3月9日（木）受講者14名

○修了証授与者：14名

○ボランティア登録者：14名

1.3 小中学校との連携

(1) 学校図書館との連携・情報交換

平成21年7月より、市内の小中学校全校に学校司書が配置されました。図書館では、学校図書館活用推進協議会等において、専門的な立場から、職員が研修講師、助言及び情報交換等を行っています。

(2) 学校への資料提供

市立図書館では、調べ学習等のために学校から依頼された様々なテーマの資料を用意しています。市内の各図書館で所蔵しているものはもとより、未所蔵資料につ

いても、購入或いは他の自治体等の図書館から借用するなどして準備しています。
令和４年度は、以下の資料を提供しました。

項番	日時	対象学年	内 容	冊数
1	4月12日	小学校 5年生	稲・お米についての本	77
2	5月31日	小学校 1年生	鳥の本	40
3	6月4日	小学校 6年生	日光の本	32
4	7月6日	小学校 1年生	擬態に関する本	36
5		小学校	自動車の図鑑をつくる本	20

(3) 図書館資料の搬送

図書館では予約資料等の運搬を業者委託し、利用者が受け取りを希望する図書館まで回送しています。

平成24年度からは、市内小中学校への交換便を実施し、団体貸し出しの利便性向上のほか、学習等への支援、読書活動の推進に寄与しています。

令和４年度交換便

小学校 貸出 2校 2回（195冊）、返却 1校 1回（43冊）

中学校 貸出 0校 0回（ 0冊）、返却 0校 0回（ 0冊）

子ども青少年課

青少年問題協議会

1 青少年問題協議会の職務

青少年問題協議会は、地方青少年問題協議会法第1条に基づき、市の附属機関として、昭和35年より設置されています。委員数は、会長（市長）ほか15人（市議会議員1人、学識経験者7人、関係行政機関の職員6人、教育長）で任期は2年です。

協議会の職務は、青少年問題に関する総合施策の樹立について調査審議するとともに関係行政機関相互の連絡調整を図るほか、当該地方公共団体の長と区域内関係行政機関に対し、意見を述べるとともに答申、意見具申等を行うことです。

2 青少年問題協議会の記録

番号	開催年月日	会場等	議題等	主な報告事項
1	第1回 令和4年 7月28日（木）	書面開催 出席委員等 16人	令和4年度武蔵村山市青少年健全育成重点施策（案）について	・令和4年度青少年関係事業について ・令和4年度市内クリーン作戦の実施結果について ・令和4年度「青少年の非行・被害防止全国強調月間（7月1日から7月31日まで）」対応事業について
2	第2回 令和4年 11月7日（月） 午前10時	中部地区会館 401大集会室 （市役所4階） 出席委員等 13人	武蔵村山市における青少年の現況及び非行・被害の防止対策について	・令和4年度「子供・若者育成支援推進強調月間」に伴う実施事業について ・令和4年度武蔵村山市青少年健全育成協力者に対する感謝状の贈呈について

令和4年度武蔵村山市青少年健全育成重点施策

- 1 家庭は、いこいの場であるとともに、子どもが社会の一員となるための基本的生活習慣や生活能力、豊かな情操、善悪の判断力などを身に付ける大切な場であります。しかしながら、少子化・核家族化・ひとり親家庭の増加などの家庭環境の変化に伴い、家庭における教育力の低下が危惧されます。

そこで、家庭の教育力を高めるため、家庭教育講座の充実を図るとともに、「家庭の日」の普及・啓発活動に努め、市民一人一人が家庭本来の役割を再認識することにより家族の絆をつなぐ明るい家庭づくりの推進を図ります。

- 2 学校は、学校活動を通して人との絆をつくる教育づくりに対応するため、道徳教育を充実し「いじめ撲滅宣言」の趣旨を踏まえ、いじめを許さない、見逃さない指導を徹底させるとともに、あらゆる偏見や差別をなくすために、全ての教育活動を通して人権教育を推進し、地域社会と連携しながら生涯にわたる基礎的な資質の育成を図ります。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を図ることにより子どもたちの学習環境が大きく変わる中、子どもたちが抱える不安や戸惑いを解消し、安心して学習できる環境づくりに努めます。

- 3 地域社会は、家庭や学校とともに、子どもに社会の一員としての自覚を持たせ、将来自立した心豊かな社会人となるために大きな役割を果たします。

そこで、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を図りつつ、地域での見守りパトロールの実施や、放課後子供教室などで子どもたちが地域の様々な方々と交流し、多様な社会体験を豊富に積み重ねるなど「生きる力」を育む機会を充実させ、心豊かな関わりが持てる地域活動の推進を図ります。

- 4 市及び関係行政機関は、相互の関係を強化し、青少年健全育成活動に必要な支援と情報の提供を積極的に行い、家庭、学校、地域をつなぐ絆づくりとして、青少年の健全育成を効果的に進めるために、計画的な行政施策の推進を図ります。

また、国や東京都が昨年度に引き続き最重点課題としている「ペアレンタルコントロール等によるインターネット利用に係る子供の犯罪被害等の防止」について、保護者等に対し、フィルタリングの更なる利用促進等ペアレンタルコントロール機能の積極的な活用等に関する啓発などの取組を推進し、子どもたちをSNS等に起因する犯罪やトラブルから守ります。

武蔵村山市青少年健全育成基本方針

(令和3年度～令和7年度)

1 趣 旨

次代を担う青少年が一人の人間として、権利や自由が尊重され、よりよい環境の中で心身ともに健やかに成長し、自立した心豊かな社会人になることは、市民全ての願いです。

しかし、今日の青少年をとりまく環境を見ると、少子高齢化や核家族化の進行等による家庭における教育力の低下や地域コミュニティの希薄化、社会体験や自然体験の機会の減少、子どもの貧困、児童虐待、危険ドラッグをはじめとする薬物の氾濫など、様々な社会問題が深刻化しており、青少年が心豊かに成長するための良好な環境が失われつつあります。

一方、高度情報化社会にあって、スマートフォンやパソコン等の情報伝達機器の発達、普及により、青少年を取り巻くインターネット利用環境が日々変化の中で、SNS等の利用によるトラブルに巻き込まれ、その結果として、青少年が犯罪の被害者や加害者となる痛ましい事件が数多く発生しています。

このような状況の中で、青少年が心身ともに健康で人間性豊かに育つためには、家庭、学校、地域社会及び行政がそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、機能を十分に発揮しながら相互の連携及び協力に努め、この課題に取り組むことが必要です。

そのため、武蔵村山市では、“人と人との絆を深め心豊かで健やかな子どもの成長を目指して”を基本目標に「武蔵村山市青少年健全育成基本方針」を策定するものです。

2 基本目標

人と人との絆を深め心豊かで健やかな子どもの成長を目指して

3 実施の期間

令和3年度から令和7年度までの5か年の期間とします。

4 対象年齢

この方針でいう「青少年」とは、子どもから大人への発達の過程にある者とし、乳

幼児から18歳未満の者までを中心に捉えています。

5 重点項目

(1) 家庭における青少年の健全育成

- ① 家族みんなの心がふれあう家庭をつくる
- ② 家庭の中でのルールづくりやしつけに取り組む
- ③ 家族で、地域行事やボランティア活動などに参加する

(2) 学校における青少年の健全育成

- ① 学校で「生きる力」となる豊かな心を育てる
- ② 学校の中で、より良い人間関係を育てる
- ③ 学校は、地域社会と連携しながら子どもを育てる

(3) 地域社会における青少年の健全育成

- ① 地域行事に子どもたちが参加しやすい環境をつくる
- ② 地域社会で、子どもたちが安心して過ごせる環境をつくる
- ③ 地域社会の教育力を高めていく

(4) 行政における青少年の健全育成

- ① 家庭教育に関する啓発活動をする
- ② 学校や関係団体との連携を図り青少年問題に対応する
- ③ 家庭、学校、地域社会が連携を図るための橋渡しをする

○ 施策の方向

施策の方向として、武蔵村山市は、青少年の健全育成のためには、『絆』が大切であると考えています。青少年が、家族とのつながり、友達とのつながり、学校や地域社会とのつながりを感じ、人と人との絆の中で、自分を取り巻く社会や環境と関わり強く生きていくことが重要であるからです。

青少年の健全育成を効果的に進めていくためには、家庭、学校、地域社会及び行政が持つ機能をそれぞれが十分に発揮すると同時に、全てが有機的に連携することが必要です。

武蔵村山市は、家庭、学校、地域社会に対し、必要な援助を行うとともに、青少年の健全育成のための情報提供を積極的に行います。また、家庭、学校、地域社会及び行政の連携強化に向けた施策を推進します。

○ 家庭における青少年の健全育成

(家族の絆をつなぐ家庭づくり)

家庭は、私たちの生活の基盤であり、家族の心のよりどころです。子どもたちにとって家庭は、地域社会の一員となる最初の間となります。家庭において、このような働きが十分に発揮されるためには、家族みんなの心がつながる明るい家庭づくりを進めることが大切です。

また、乳幼児にとっては、家族との関わりが心の発育に大きな影響を与えることから、乳幼児と家族との関わりを地域や行政で支えていくことが健全育成の土台となります。

① 家族みんなの心がふれあう家庭をつくる

- 家族みんなで共有できる時間をつくる
- 家族との団らんを大切にし、話し合う時間をつくる

② 家庭の中でのルールづくりやしつけに取り組む

- 挨拶や「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣を確立する
- 物事の善悪や社会のルールを教える
- 家族みんなでパソコン、スマートフォン、ゲーム機器等の適正な使い方のルールを決める

③ 家族で地域行事やボランティア活動などに参加する

- 家族でPTA行事や地域行事に積極的に参加する
- 子どものことで悩みがある場合は、悩まず地域住民などに相談する

○ 学校における青少年の健全育成

(学校活動を通して人との絆をつくる教育づくり)

学校では、団体の中での人間関係を育てることを中心に不登校やいじめ、ニート、ひきこもりなど、複雑な現代社会の問題にたくましく対応し、男女共同参画社会等、多様な地域社会について理解できる青少年の育成を図ります。このため、子どもたちの豊かな心を育むための「心の教育」を進め、家庭、地域とともに連携し、生涯にわたる基礎的な資質の育成を図ります。

① 学校で「生きる力」となる豊かな心を育てる

- 学校活動の中で、生命尊重、人権尊重教育、人間の生き方などを教える
- 学校活動の中で、自分で考えて行動したり、困難な出来事を乗り越える力を育てる
- 自然体験や社会体験を通して、自然保護やボランティア活動に関する意識を育てる

② 学校の中で、より良い人間関係を育てる

- 集団行動の大切さや集団の中でのルールやきまりを教える
- 道徳の時間などを通して、相手を思いやる気持ちを育てる

③ 学校は、地域社会と連携しながら子どもを育てる

- 地域学習などを通して、武蔵村山市のことを知る
- 体験活動や異年齢との交流などを通して、社会のルールや職業について学び、将来の夢を考えさせる
- 防災訓練などを通して、防災に関する知識及び技術を身につけることにより、集団や地域の一員としての防災意識を育てる
- 学校を地域に開き、地域住民が学校と関わりやすい環境を整える

○ 地域社会における青少年の健全育成

(青少年との絆のある地域づくり)

地域社会は、家庭、学校とともに青少年が社会の一員としての自覚を高め、自立心を育成していく場として、大切な役割を果たしています。

このため、地域では、各種の行事や活動の活性化を図り、青少年が自主的に社会参加活動に加わることができるよう、地域ぐるみの育成環境を形成していく必要があります。

また、地域の人びとが、他人の子にも目を向けるなど、全ての青少年に対し、平等に接し、褒めたり、叱ったり、ひと声かけるなど、心豊かな関わりがもてるよう、地域活動を活性化させることが求められています。

さらに、青少年の非行を防止するため、青少年を取り巻く有害環境について、地域の人びとが一体となって、環境浄化活動を実施したり、夜間パトロールを実施したりすることが望まれます。

① 地域行事に子どもたちが参加しやすい環境をつくる

- お祭り、地域運動会、地域ボランティア活動などの行事に、子どもたちが積極的に参加できるようにする
- 子どもたちが地域の活動団体の一員になったり、その活動に参加できるようにする

② 地域社会で、子どもたちが安心して過ごせる環境をつくる

- 子どもたちに悪影響を与えるものを排除していく
- 地域の子どもたちを見守る活動を行う

③ 地域社会の教育力を高めていく

- 地域で大人からの挨拶や声かけ運動を推進する
- 自分の子だけでなく、地域の子どもに対しても、良いことは褒め、悪いことは叱る

○ 行政における青少年の健全育成

(家庭、学校、地域をつなぐ絆づくり)

青少年の健全育成を効果的に進めるためには、家庭、学校及び地域社会がもつ機能をそれぞれが十分に発揮することが必要です。そのためには、行政は、家庭、学校及び地域社会に対し、必要な援助を行うとともに、青少年の健全育成のための情報提供を積極的に行います。

また、家庭、学校及び地域社会が有機的な連携のもとに活動できるよう、連携強化に向けた計画的な行政施策を推進します。

① 家庭教育に関する啓発活動をする

- 子育てのための家庭教育講座を実施する
- 子育てのための情報を広く発信する
- 子ども相談事業の普及啓発を図る

② 学校や関係団体と連携を図り青少年問題に対応する

- 学校や関係団体と青少年問題を共有し、その対応に当たる
- 教育環境の充実のために、施設の整備の支援をする

③ 家庭、学校、地域社会が連携を図るための橋渡しをする

- 学校、各種団体や地域団体と関係各機関が連携できるようコーディネートする
- 関係機関と連携し、青少年問題に関係する各種団体や青少年指導者を育成する
- 文化活動、スポーツ、レクリエーション活動を企画推進する

青少年対策協力者への感謝状贈呈の骨子

番号	項 目	内 容
1	対 象 者	青少年対策地区委員会及び青少年補導連絡会の委員
2	推 薦 者	青少年対策地区委員長及び青少年補導連絡会会長
3	贈呈基準	(1) 青少年対策地区委員会の正副委員長及び青少年補導連絡会正副会長は、継続2年以上在職し活動が顕著な者。 (2) 青少年対策地区委員及び青少年補導連絡会委員は、継続3年以上在職し活動が顕著な者。 (3) 退任後とする。
4	推薦手続	青少年対策地区連絡会及び青少年補導連絡会理事会に推薦書を提出する。
5	決定方法	青少年対策地区連絡会及び青少年補導連絡会理事会で審査のうえ青少年問題協議会会長が決定する。
6	贈 呈 者	(1) 青少年問題協議会会長及び青少年対策地区連絡会会長の連名 (2) 青少年問題協議会会長及び青少年補導連絡会会長の連名
7	贈呈時期	年1回、青少年問題協議会会長が定めた日。

武蔵村山市青少年問題協議会

青少年対策地区委員会

1 青少年対策地区委員会の概要

青少年対策地区委員会は、青少年問題協議会の施策のもとに、関係機関と連携を図り、地域における青少年の健全な育成を図ることを目的に市立小学校（9校）の通学区域を単位として設置されています。地区委員会では、これらの目的を達成するため次の事業を行っています。（１）地域における各種団体との連絡調整（２）社会環境の浄化活動（３）非行防止活動（４）その他青少年の健全育成を図るための諸活動。

また、市では地区委員会の活動を援助するため、各地区委員会に補助金を交付しています。

2 令和4年度青少年対策地区委員会補助金交付額一覧表

（単位：円）

地区名	均等割額	人数割額	人数割額内訳（人，％）				交付額	確定額
			小学校	配分率	中学校	合計		
第一地区委員会	110,000	79,254	406	10.4	223	629	189,254	9,750
第二地区委員会	110,000	74,844	384	9.8	210	594	184,844	155,965
第三地区委員会	110,000	81,018	415	10.6	228	643	191,018	163,949
第四地区委員会	110,000	67,284	345	8.8	189	534	177,284	80,476
第七地区委員会	110,000	115,542	593	15.1	324	917	225,542	214,825
第八地区委員会	110,000	135,828	696	17.8	382	1,078	245,828	100,461
第九地区委員会	110,000	48,258	248	6.3	135	383	158,258	158,258
第十地区委員会	110,000	99,414	510	13.0	279	789	209,414	198,423
雷塚地区委員会	110,000	62,874	323	8.2	176	499	172,874	128,907
合 計	990,000	764,316	3,920	100.0	2,146	6,066	1,754,316	1,211,014

※ 人数割額算出基礎は、令和3年9月30日現在の地区内児童・生徒数に126円を乗じたもの

3 青少年対策地区委員会の活動実績

武蔵村山市青少年対策地区活動推進事業のため、昭和46年より補助金を交付し、幅広い活動を通じて青少年が自主的に社会の諸活動に参加し、進んで自己の役割を果たし、青少年自身の自立心を向上させ、地域豊かな人間関係をもたらしその健全な育成及び非行防止のために行う事業です。

番号	地区名	設置年月	活動別事業内容		
			社会環境浄化活動	非行防止活動	健全育成を図るための諸活動
1	第一地区委員会	昭和46年6月	・市内クリーン作戦		
2	第二地区委員会	〃	・市内クリーン作戦		・二小秋まつり ・二小みかん狩り ・もちつき大会
3	第三地区委員会	〃	・市内クリーン作戦		・もちつきの会 ・球技大会 ほか
4	第四地区委員会	〃	・市内クリーン作戦	・見守り隊協力	・ラジオ体操 ・チャレンジ大会 ほか
5	第七地区委員会	昭和48年6月	・市内クリーン作戦	・非行防止夜間パトロール	・親子で楽しむ野の宴 ・ラジオ体操
6	第八地区委員会	昭和50年6月	・市内クリーン作戦	・非行防止夜間パトロール	・合同ハイキング ・八小行事参加協力 ほか
7	第九地区委員会	昭和55年6月	・市内クリーン作戦		・九小まつり ・ラジオ体操
8	第十地区委員会	昭和57年6月	・市内クリーン作戦		・十小親子夏祭り ・ラジオ体操
9	雷塚地区委員会	平成10年6月	・市内クリーン作戦		・ふれあい活動 ・和風、羽子板作り ・もちつき大会 ほか

4 青少年対策地区連絡会の記録

青少年対策地区連絡会は、青少年対策地区委員会の活動に関し、その円滑な運営と各地区委員会の連絡調整等を図ることを目的に昭和59年4月に設置されました。

構成委員は各地区委員会の正副委員長で、任期は各地区委員会の任期2年と同様です。

番号	日 時	会 場 等	議 題・報告事項等
1	第1回 令和4年 6月28日(火) 午後7時30分	さくらホール 展示室 出席者 20人	・武蔵村山市青少年対策地区連絡会(委員会)を選出母体とする各種委員候補者の推薦について ・令和4年度市内クリーン作戦の実施結果について ・青少年対策各地区委員会の令和4年度事業計画について ・その他 情報交換等
2	第2回 令和4年 10月12日(水) 午後7時	中部地区会館 401大集会室 (市役所4階) 出席者 15人	・令和4年度武蔵村山市青少年健全育成協力者感謝状受賞候補者(案)について ・令和4年度「子供・若者育成支援推進強調月間」実施事業について ・その他 情報交換等
3	第3回 令和5年 3月22日(水) 午後7時	中部地区会館 401大集会室 (市役所4階) 出席者 19人	・令和5年度市内クリーン作戦について ・令和4年度武蔵村山市青少年対策地区活動推進事業に係る補助事業等実績報告書の提出について ・令和5年度武蔵村山市青少年対策地区活動推進事業に係る補助金等交付申請書の提出について ・武蔵村山市放課後子供教室運営委員会委員候補者の推薦について ・その他 情報交換等

青少年補導連絡会

1 青少年補導連絡会の概要

青少年補導連絡会は、市内の青少年の非行化を防止するため、青少年の動向把握及び環境浄化活動を行うとともに、関係機関相互に連携し、青少年の健全育成を図ることを目的に設置され、委員の任期は2年で、会長を含め28人で構成されています。

2 青少年補導連絡会の活動実績

実施月日	事業名	内 容	参加人数
7月5日	総 会	・武蔵村山市青少年補導連絡会役員の選出について ・武蔵村山市青少年問題協議会委員の選出について ・東京都青少年健全育成協力員候補者の選出について ・令和4年度武蔵村山市青少年補導連絡会事業計画（案）について ・夏期街頭補導活動について ほか	20人
(7月26日) (7月29日)	夏期街頭 補導活動 (7月実施分)	夏休み期間中の青少年の非行・被害防止の取組として、コンビニエンスストア及び都市公園等を巡回し、青少年に関する情報を収集するとともに現状を把握し、青少年の健全育成に努める。 (新型コロナウイルス感染症により中止とした。)	一人
(8月29日) (8月30日)	夏期街頭 補導活動 (8月実施分)	夏休み期間中の青少年の非行・被害防止の取組として、コンビニエンスストア及び都市公園等を巡回し、青少年に関する情報を収集するとともに現状を把握し、青少年の健全育成に努める。 (新型コロナウイルス感染症により中止とした。)	一人

10月7日	第1回理事会	・令和4年度武蔵村山市青少年健全育成協力者感謝状受賞候補者（案）について ・令和4年度武蔵村山市青少年補導連絡会事業（下半期）について ・令和4年度武蔵村山市青少年補導連絡会事業（上半期）実施結果について ほか	6人
11月1日 ～ 11月30日	「子供・若者育成支援強調月間」 広報啓発活動	強調月間の期間中、市役所子ども青少年課に月間のチラシと啓発物品500組を備え付け、来庁者等へ配布して月間の広報啓発活動を実施した。	一人
(1月5日) (1月6日)	冬期街頭補導活動	冬休み期間中の青少年の非行・被害防止の取組として、コンビニエンスストア及び都市公園等を巡回し、青少年に関する情報を収集するとともに現状を把握し、青少年の健全育成に努める。 (新型コロナウイルス感染症により中止とした。)	一人
3月22日	第2回理事会	・令和5年度武蔵村山市青少年補導連絡会事業計画（案）について ・令和4年度武蔵村山市青少年補導連絡会事業（下半期）実施結果について ・その他（情報交換等）	7人
合計			33人

会議（総会・理事会） 3回

街頭補導活動 中止

広報啓発活動 1回（新型コロナウイルス感染症感染防止対策を徹底して実施した。）

武蔵村山市青少年健全育成協力店指定制度の概要

1 制度の趣旨とは？

当制度は、武蔵村山市の青少年の健全な育成を図るため、平成21年度に発足した制度です。

青少年に関する様々な問題行動（深夜徘徊、飲酒、喫煙、万引き等）に対処するため、事業者（店舗）の自主的な改善措置等を講ずるなどの各種取組みを推進する店舗等を「青少年健全育成協力店」として指定し、地域と一体となって、市の青少年の健全育成に良好な環境の確保及び非行防止を図ることを目的としています。

2 協力店の指定対象は？

- (1) 青少年が日常多く利用し、深夜まで営業している店舗

例：コンビニエンスストア

- (2) 不健全図書類や青少年に有害な図書類を販売している店舗

例：書店

- (3) 酒類、煙草を販売している店舗

例：コンビニエンスストア等

- (4) その他青少年の健全育成上必要と認められる店舗

例：ゲームセンター、ビデオレンタル店、刃物等を販売している店舗

3 協力店の活動内容は？

行政から事業者の皆様に対しての強制的な指導ではなく、あくまで青少年健全育成のための自主的な活動をお願いするものです。

具体的には、

- ① 事業者皆様の自主的な活動として

- * 青少年に販売することが好ましくない商品は販売しない。
- * 店舗前が非行少年のたまり場となったり、深夜徘徊、喫煙、飲酒等を発見した際には、注意を促す、若しくは関係機関に連絡する。
- * 少年の犯罪行為を発見した場合は、保護者や関係機関に連絡する。
- * 児童・生徒の緊急時の一時保護を行う。

- ② 「東京都青少年の健全な育成に関する条例」を遵守し、青少年に良好な環境づくりと非行防止を図るための意識を持つ。

- ③ 武蔵村山市補導連絡会による環境浄化活動、青少年対策地区委員会による地域パトロール活動の立ち寄りなどに協力する。

4 協力店制度の効果

- (1) 事業者（店舗）は、自主活動を通じ、社会的貢献が市民に理解される。
- (2) 非行、犯罪の抑止が期待できる。
- (3) 地域社会をはじめ、家庭、学校等の健全育成への理解が高揚される。
- (4) 事業者（店舗）と関係機関の連携が強化される。

5 協力店指定の手続き

- (1) 協力店指定申請書（第1号様式）に必要事項を記入、押印してください。
- (2) 返信用封筒に協力店指定申請書を入れ、武蔵村山市子ども家庭部子ども青少年課宛に郵送してください。
- (3) 協力店指定申請書を確認後、子ども青少年課より
 - ア 標章（A4判でラミネート加工されたもの）
 - イ 武蔵村山市青少年健全育成協力店指定書
 - ウ 武蔵村山市青少年健全育成協力店指定制度実施要綱（写し）を各事業者（店舗）にお届けします。

6 変更・解除等について

店舗の所在地・名称・代表者の変更、閉店・移転の場合や解除すべき事態が発生した場合は、各様式により武蔵村山市子ども家庭部子ども青少年課まで提出してください。

武蔵村山市青少年健全育成協力店指定登録店舗一覧 (令和5年3月)

番号	店 舗 名 等
1	セブンイレブン 武蔵村山本町1丁目店
2	ファミリーマート 武蔵村山新青梅街道店
3	セブンイレブン 武蔵村山岸1丁目店
4	ファミリーマート 武蔵村山中原店
5	セブンイレブン 武蔵村山岸店
6	ローソン 武蔵村山残堀五丁目店
7	ファミリーマート 武蔵村山残堀店
8	いなげやフードランド 武蔵村山残堀店
9	セブンイレブン 武蔵村山平和通り店
10	セブンイレブン 武蔵村山伊奈平4丁目店
11	(株)ダイエー 武蔵村山店
12	(株)ラウンドワン 武蔵村山店
13	ローソン 武蔵村山中央三丁目店
14	セブンイレブン 武蔵村山三本榎店
15	ファミリーマート 武蔵村山神明店
16	ローソン 武蔵村山神明四丁目店
17	(株)いなげや むさし村山店
18	ミニストップ 武蔵村山学園店
19	セブンイレブン 武蔵村山学園店
20	村山スポーツランド
21	ファミリーマート 武蔵村山大南店
22	セブンイレブン 武蔵村山大南公園店
23	セブンイレブン 武蔵村山大南1丁目店
24	イオンモール むさし村山店

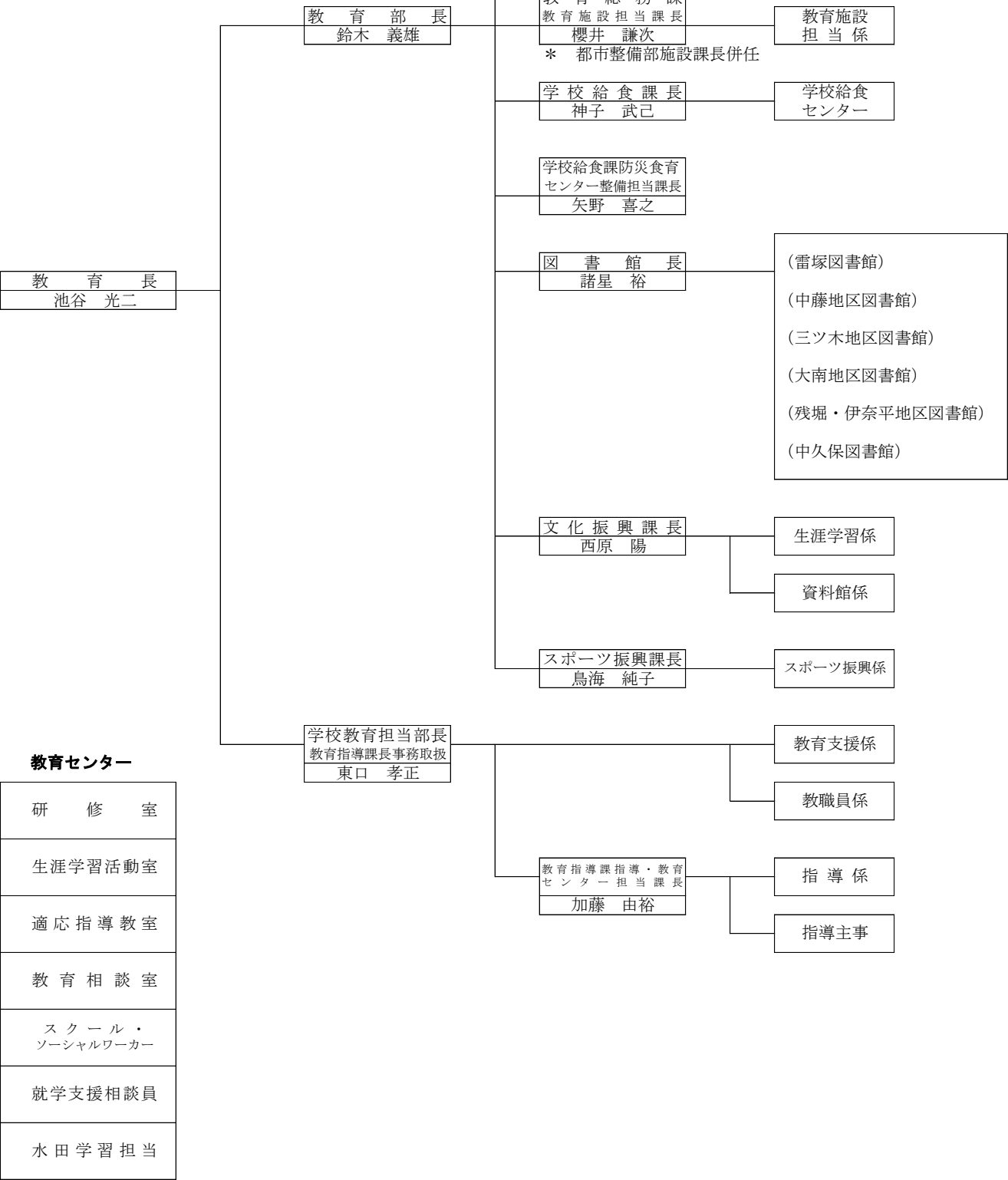
資 料

武蔵村山市教育委員会組織一覧

令和5年4月1日現在

武蔵村山市教育委員会

教 育 長	池 谷 光 二
職 務 代 理 者	大 野 順 布
教 育 委 員	杉 原 栄 子
教 育 委 員	比 留 間 雅 和
教 育 委 員	潮 美 和



武蔵村山市青少年対策関係組織一覧（市長部局）

令和5年4月1日現在

武蔵村山市

市	長	山崎 泰大
副	市	長 石川 浩喜

市	長	子ども家庭部長	子ども青少年課長	手当・青少年係
山崎 泰大		増田 宗之	里見 和行	

令和５年度 武蔵村山市教育委員会の基本方針に 基づく主要施策・主要事業

武蔵村山市教育委員会は、「教育目標」を達成するために、「武蔵村山市教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱・武蔵村山市第三次教育振興基本計画（令和４年２月策定）」で定めた「基本方針」に基づき、武蔵村山市の特性を生かして、令和５年度における主要施策・主要事業を総合的に推進する。

【基本方針１ 生きる力を育む教育の推進】

知識基盤社会において、いかに社会が変化しようと、子供たち一人一人が、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決することができるようにするために必要な「生きる力」を育むことが求められる。

また、これからの子供たちには、「何を学ぶか」だけでなく、「何を理解しているか、何ができるか」、「理解していること・できることをどう使うか」、「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」という三つの柱で資質・能力を育成するとともに、誰一人取り残さない持続可能な社会づくりに貢献できる人材を育成することが重要である。

そのために、家庭における教育の成果を基盤としながら、子供たちの確かな学力の定着や健やかな心と体の育成を図ることができる教育を推進する。また、思考力・判断力・表現力等を育む教育や、持続可能な開発目標（SDGs）の理念等を踏まえ、地域の課題から地球規模の諸課題まで幅広く自らの課題として考え、解決する力を育む教育を推進するとともに、個に応じたきめ細やかな指導の充実を図る。

【基本方針２ 学校・家庭・地域の連携・協働の推進】

我が国と郷土の未来を切り拓く子供たちのための教育が、一層効果的に行われるようにするために、学校、家庭及び地域社会が、それぞれの機能を十分に発揮して、その責任を果たすとともに、これまで以上に連携・協働体制を強化することが求められる。

そのために、コミュニティ・スクールとして開かれた学校づくりを推進するとともに、

地域社会全体で子供たちを育てる仕組みの構築を図る。

【基本方針３ 教育の質の向上と教育環境の整備】

保護者や地域から信頼される学校づくりを実現するために、義務教育９年間を見通した教育活動の充実を図り、教員が、自らの資質や能力を向上させるとともに、成果と課題の検証に基づき、教育活動の改善を図ることが求められる。

そのために、教員対象の研修や、校内における人材育成のための組織を確立するとともに、学校評価に基づく経営改善を推進する。

また、学校における教育活動の効果を一層高めるため、GIGAスクール構想により整備されたタブレット端末を活用して、個別の教育的ニーズや学習状況に応じた学習を充実させるとともに、施設、教育機器等の教育環境の整備を推進する。

【基本方針４ 自己実現を目指す生涯学習の推進】

人生１００年時代の到来が予測される中、あらゆる場所における学習を通して市民一人一人が、自己の人格を磨き、互いに支え合いながら豊かな人生を送ることができるようにするとともに、我が国と郷土を愛し、主体的に社会の発展に寄与しようとする気持ちや態度を育む生涯学習社会の実現が求められる。

そのために、市民が生涯を通じて、自ら学んだり、伝統や文化に触れたりすることができ、多様な学習機会の充実を図るとともに、「武蔵村山市スポーツ都市宣言」の趣旨を踏まえ、スポーツとの関わりをもてる環境整備を進め、スポーツ活動の振興を図る。

【基本方針５ 教育財産の有効活用の推進】

市が保有する財産を最大限活用するという観点から、教育財産についてもその活用を推進することが求められる。

そのために、特に学校施設は、様々な用途を考え、多様な観点に立って積極的な活用を推進する。

学 校 教 育

【D Xの推進】

G I G Aスクール構想に係る1人1台端末をはじめとしたI C T機器や高速大容量通信ネットワークを最大限活用します。

更なる教育の質の向上や市民の利便性向上のため、教育委員会及び学校において、D X（デジタルトランスフォーメーション）を推進します。

【学校規模適正化の推進】

児童・生徒にとって望ましい教育環境を確保していくため、市内の人口動向や児童・生徒数の実態、学校規模等を考慮しながら、学校規模等適正化基本方針を改定します。

【計画的な学校施設・設備改修の推進】

「公共施設等総合管理計画」に基づき策定された「学校施設長寿命化計画」に沿って、適正な教育環境を維持・改善するため、児童・生徒の安全に考慮しながら、学校施設・設備改修の推進に努めます。また、学校施設の照明器具をL E D化することによる省電力化など、脱炭素社会の実現に貢献する取組を推進します。

【安全・安心な教育環境の整備】

登下校時における安全確保、学習活動等における安全対策、学校施設・設備等の安全点検、安全・安心な学校給食の提供、アレルギー疾患への対応等、「学校危機管理対応マニュアル」に基づき、迅速かつ的確に対応できる危機管理体制の確立に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症などの感染症対策を含む衛生管理を引き続き行います。

【人権教育・道徳教育の推進】

いじめはどの学校でもどの子供にも起こり得るとの認識の下、「いじめ撲滅宣言」の趣旨を踏まえ、いじめを許さない、見逃さない指導を徹底させるとともに、思いやりの心を育み、あらゆる偏見や差別をなくすために、教育活動全体を通じて人権教育・道徳教育を推進します。

【確かな学力の定着・体力の向上】

子供たちの基礎的・基本的な知識・技能の習得と言語能力の向上を図るための指導を充実させ、学習意欲の向上及び学習規律の確立を図り、学力向上策を総合的に推進するとともに、体力向上策を総合的に推進します。

【特別支援教育の充実】

「第五次特別支援教育推進計画」に基づき、特別な教育支援や発達支援が必要な子供一人一人に対し、連続性のある適切な指導と必要な支援が行われるようにするとともに、特別支援教室における指導の充実を図ります。また、新たに中学校に開設した自閉症・情緒障害特別支援学級を活用するとともに、西部地区小学校における特別支援学級（固定学級）の設置に向けて、開設準備委員会を開催し、検討を進めます。

【小中一貫教育の推進】

義務教育9年間を通して、系統的・継続的な教育活動を全校で展開するため、目指す子供の姿を保護者・地域と共有し、コミュニティ・スクールの機能を生かした連携を一層推進し、地域とともに進める小中一貫教育の充実に努めます。

【（仮称）防災食育センターの整備と小学校学校給食調理等業務の民間委託】

老朽化した市立学校給食センターに代わる施設として、「防災まちづくり構想」に基づき、災害時は応急給食等を行う防災拠点として稼働し、平常時は学校給食の提供等を行う「（仮称）防災食育センター」の整備事業を推進し、小学校学校給食調理等業務の民間委託の実施に向け、事務を進めます。

生涯学習

【生涯学習の推進】

「第五次生涯学習推進計画」に基づき、生涯学習情報の提供や学習機会の充実を図り、「いつでも」「どこでも」「だれでも」自発的に学習活動や表現活動のできる環境づくりを推進します。

【家庭教育の支援】

家庭は教育の根本であることから、子育てにおける家庭教育に限らず、幅広い世代を対象として、基本的な生活習慣や生活能力、社会的マナーなどの重要性についての普及啓発活動に努めるとともに、知識や技術の習得を図るため家庭教育等の講座を充実させます。また、事情により家庭での学習が困難又は、学習習慣が十分に身に付いていない児童・生徒を対象に、地域住民等の協力により「地域未来塾」事業を推進し、学習支援を実施します。さらに、放課後に子供たちの安全で安心な居場所を確保するため、「放課後子供教室」を継続実施するとともに、放課後子ども総合プランに基づき、学童クラブとの一体型の運営を推進します。

【文化財の調査、保護・活用】

市内に残る文化財の保護や調査を実施し、文化財の適正な保護・保存に努めるとともに、歴史民俗資料館及び分館収蔵資料の展示・公開や歴史講座等を実施し、文化財保護思想の普及啓発を促進します。

【スポーツの推進】

「スポーツ都市宣言」の理念を踏まえ、スポーツ・レクリエーション事業の拡充を図り、賑わいと活力あるまちづくりを進め、市民の健康・体力づくりの推進に努めます。「第二次スポーツ推進計画」に基づき、地域の現状や市民のニーズを的確に捉えながら、生涯スポーツ施策の総合的かつ計画的な推進を図ります。

【図書館運営の充実】

「第四次子供読書活動推進計画」の基本目標である「すべての子供が、みずから読書に親しむまち武蔵村山」を実現させるため、楽しみながら自主的に行う読書活動のための環境整備を充実させるとともに、学校図書館との更なる連携を図ります。

生涯学習関連施設一覧

○ 行政

名 称	所 在 地	電 話 番 号
市役所	本町1-1-1	5 6 5 - 1 1 1 1
緑が丘出張所	緑が丘1 4 6 0 1 1 0 4号棟1階	5 6 4 - 1 2 3 4 5 9 0 - 2 2 3 0
市民総合センター	学園4-5-1	
高齢福祉課		5 9 0 - 1 2 3 3
障害福祉課		5 9 0 - 1 1 8 5
南部地域包括支援センター		5 9 0 - 1 4 7 7
身体障害者福祉センター		5 9 0 - 1 2 7 0
障害者地域自立生活支援センター		5 9 0 - 1 5 0 1
子ども家庭支援センター		5 9 0 - 1 1 5 2
訪問看護ステーション		5 9 0 - 1 3 9 9
ボランティア・市民活動センター「ほほえみ」		5 9 0 - 1 4 3 0
社会福祉協議会事務局		5 6 6 - 0 0 6 1
教育センター事務室		5 9 0 - 1 4 8 0
教育相談室		5 9 0 - 1 4 7 0
適応指導教室		5 9 0 - 1 2 5 3

○ 市民会館・公民館・地区会館

さくらホール（市民会館）	本町1-1 7-1	5 6 5 - 0 2 2 6
公民館（市立第七小学校内）	大南2-7 8-1	5 6 2 - 4 4 8 1
公民館中久保分館	本町2-7 7-1	5 6 5 - 1 1 1 1 （文化振興課）
公民館さいかち分館	緑が丘1 4 6 0 1 1 3 3号棟1階	5 6 5 - 1 7 7 5
雷塚地区会館（雷塚地区学習等供用施設内）	学園4-4	5 6 4 - 2 2 9 8
中藤地区会館（中藤地区学習等供用施設内）	中藤3-1 6	5 6 5 - 0 1 1 3
中部地区会館（市役所4階）	本町1-1-1	5 6 5 - 1 1 1 1 （教育総務課）

三ツ木地区会館（三ツ木地区学習等供用施設内）	三ツ木 2-3 9-2	5 6 0-3 3 0 2
大南地区会館（大南地区学習等供用施設内）	大南 5-1-6 9	5 6 2-3 2 4 1
残堀・伊奈平地区会館 （残堀・伊奈平地区学習等供用施設内）	残堀 1-6 0-3	5 6 0-0 7 7 1

○ 地区集会所

上水台地区集会所	大南 4-1 3-2	5 6 2-3 2 4 1 (大南地区会館)
新海道地区集会所	榎 2-7 7-9	5 6 4-2 2 9 8 (雷塚地区会館)
西大南地区集会所	大南 1-4 5-9 7	5 6 2-4 4 8 1 (公民館)
中原地区集会所	中原 2-2 5-6	5 6 0-3 3 0 2 (三ツ木地区会館)
大南公園地区集会所	緑が丘 2 5 4 2	5 6 2-3 2 4 1 (大南地区会館)
学園地区集会所	学園 4-3-1 0	5 6 4-2 2 9 8 (雷塚地区会館)
新大南地区集会所	大南 1-1 2 1-3 6	5 6 2-4 4 8 1 (公民館)
湖南地区集会所	大南 5-1-1 1 9	5 6 2-3 2 4 1 (大南地区会館)
さいかち公園地区集会所	学園 4-5-2	5 9 0-1 4 8 0 (教育センター事務室)

○ 歴史民俗資料館

歴史民俗資料館	本町 5-2 1-1	5 6 0-6 6 2 0
歴史民俗資料館分館	大南 3-5-7	5 6 6-3 9 7 7

○ 図書館・地区図書館

雷塚図書館	学園 4-4	5 6 4-1 2 8 4
中久保図書館	本町 2-7 7-1	5 6 9-1 5 0 1
中藤地区図書館（中藤地区学習等供用施設内）	中藤 3-1 6	5 6 5-0 1 1 2
三ツ木地区図書館（三ツ木地区学習等供用施設内）	三ツ木 2-3 9-2	5 6 0-3 3 0 1
大南地区図書館（大南地区学習等供用施設内）	大南 5-1-6 9	5 6 2-3 2 4 3
残堀・伊奈平地区図書館 （残堀・伊奈平地区学習等供用施設内）	残堀 1-6 0-3	5 6 0-0 1 7 1

○ 体験学習施設

屋外体験学習広場	三ツ木 4-1 5-1	5 6 5-1 1 1 1 (文化振興課)
----------	-------------	--------------------------

○ 総合体育館・体育施設

総合体育館	岸 3-4 5-6	5 2 0-0 0 8 2 (総合体育館)
雷塚公園 (野球場、庭球場)	学園 4-4	
大南公園 (野球場、庭球場)	緑が丘 2 5 4 2	
野山北公園 (運動場、プール)	本町 5-3 1-1	
総合運動場 (第一)	岸 5-3 1-7	
総合運動場 (第二)	岸 5-3 1-7	
総合運動場 (第三)	岸 3-4 5-6	
三ツ木庭球場	三ツ木 1-2 0-9	
三ツ木地域運動場	三ツ木 1-1 5-2	5 6 5-1 1 1 1 (環境課)
原山地域運動場	中央 2-8 5-1	
残堀・伊奈平地域運動場	残堀 4-2 1-1	
後ヶ谷戸運動広場	三ツ木 3-4 2	
入り運動広場	中藤 3-2 7-2	
小山内運動広場	岸 2-1 3-4	
赤堀運動広場	中央 4-3 2-1	
シドメ久保運動広場	残堀 2-6 1-1	
シドメ久保第二運動広場	伊奈平 5-2 6-1	
新大南運動広場	大南 3-6 4-1	
中藤五丁目運動広場	中藤 5-7-4	
中村運動広場	本町 2-1 2-1	

○ 緑が丘ふれあいセンター

緑が丘コミュニティセンター	緑が丘 1 4 6 0	5 9 0-0 7 5 5
男女共同参画センター「ゆーあい」	1 1 1 1 号棟 1 階	

○ 保健相談センター

保健相談センター	本町 1-2 3	5 6 5-9 3 1 5
----------	----------	---------------

○ 児童館・地区児童館・学童クラブ

お伊勢の森児童館	中央 2-1 1 7-1	5 6 4-5 5 9 4
中藤地区児童館 (中藤学童クラブ)	中藤 3-1 6	5 6 5-0 1 1 1
大南地区児童館 (大南学童クラブ)	大南 5-1-6 9	5 6 2-3 2 4 2
さいかち児童館 (さいかち学童クラブ)	緑が丘 1 4 6 0 1 1 3 3号棟 1階	5 6 5-0 7 5 8
山王森児童館 (山王森学童クラブ)	三ツ藤 3-6-1 0	5 6 0-3 0 3 7
残堀・伊奈平地区児童館 (残堀・伊奈平学童クラブ第一・第二)	残堀 1-6 0-3	5 6 0-0 7 7 0
雷塚学童クラブ (雷塚小学校敷地内)	学園 4-6-2	5 6 4-1 6 6 6
三ツ木学童クラブ (第二小学校内)	三ツ木 2-1 2-2	5 6 0-5 1 9 8
西大南学童クラブ第一・第二 (大南学園第七小学校内)	大南 2-7 8-1	5 6 2-8 7 6 1
中原学童クラブ (第十小学校敷地内)	残堀 5-1 0 0-1	5 6 0-0 8 0 3
学園学童クラブ (第九小学校敷地内)	学園 1-8 5-1	5 6 7-0 5 0 8
本町学童クラブ (第一小学校敷地内)	本町 1-1-1 1	5 6 1-7 9 0 5

○ 幼稚園

東京多摩幼稚園	緑が丘 1 8 3 4	5 6 2-5 5 8 8
武蔵みどり幼稚園	大南 3-9 0-5	5 6 4-9 2 4 5
村山いずみ幼稚園	三ツ木 3-4 5-1	5 6 0-4 4 3 2
むらやま幼稚園	大南 1-2 5	5 6 1-1 3 5 1

○ 保育園

つみき保育園	学園 3-1 2-1	5 6 3-3 8 4 2
あゆみ保育園	中央 2-5 3-3	5 6 4-9 7 6 6
育成会ひまわり保育園	大南 3-7 1-1	5 6 4-3 5 4 4
育成会めぐみ保育園	大南 1-3 3-3	5 6 5-3 7 6 5
きし保育園	岸 1-5-1 1	5 6 0-9 9 2 2
聖光三ツ藤保育園	三ツ藤 3-3 6-1 0	5 6 0-3 5 6 4
聖光緑が丘保育園	緑が丘 1 6 1 0-1	5 6 4-3 9 6 5
つむぎ保育園	伊奈平 5-6 6	5 6 0-0 0 8 8
みらい保育園	榎 2-3 6-1	5 6 2-3 2 3 2

まどか保育園	本町 3-4 0-3	5 6 0-1 8 5 5
まどか保育園分園	残堀 1-4 8-3	5 2 0-6 8 5 3
れんげ武蔵保育園	緑が丘 1 7 3 2-1	5 6 1-3 9 5 9
村山中藤保育園「櫻」	中央 1-2 8-1	5 6 2-3 1 4 1
村山中藤保育園「白樺」	残堀 4-9 0-1	5 2 0-7 1 5 1

○ 市立小学校・中学校

第一小学校	本町 1-1-1 1	5 6 1-1 7 5 1
第二小学校	三ツ木 2-1 2-2	5 6 0-1 7 5 2
第三小学校	中藤 1-3 6-1	5 6 1-1 7 5 3
第八小学校	三ツ藤 2-5 0-1	5 6 0-7 1 5 1
第九小学校	学園 1-8 5-1	5 6 4-1 3 5 9
第十小学校	残堀 5-1 0 0-1	5 6 0-1 7 1 0
雷塚小学校	学園 4-6-1	5 6 1-1 7 7 5
小中一貫校村山学園（第四小学校・第二中学校）	緑が丘 1 4 6 0	5 6 1-1 7 6 2
小中一貫校大南学園（第七小学校）	大南 2-7 8-1	5 6 4-1 2 8 6
小中一貫校大南学園（第四中学校）	大南 2-7 9-1	5 6 4-4 3 4 1
第一中学校	本町 2-7 6-1	5 6 0-1 7 6 1
第三中学校	神明 4-1 1 7-1	5 6 4-3 0 0 1
第五中学校	残堀 5-5 5	5 6 0-3 1 5 5

○ 都立学校・私立学校

都立武蔵村山高等学校	中原 1-7-1	5 6 0-1 2 7 1
都立上水高等学校	大南 4-6 2-1	5 9 0-4 5 8 0
拓殖大学第一高等学校	大南 4-6 4-5	5 9 0-3 3 1 1
都立村山特別支援学校	学園 4-8	5 6 4-2 7 8 1
東京経済大学武蔵村山キャンパス	学園 5-2 2-1	5 6 1-3 7 1 1

○ 福祉会館・老人福祉館

福祉会館	中央 2-1 1 7-1	5 6 3-3 8 2 5
第一老人福祉館 （緑が丘ふれあいセンター内）	緑が丘 1 4 6 0 1 1 1 1号棟 1階	5 9 0-0 7 5 5
第二老人福祉館	残堀 2-2 2-1	5 6 0-3 6 2 1

第三老人福祉館	本町４－４０－１	５６０－９５５１
第四老人福祉館	岸３－４７－７	５６０－５００６
第五老人福祉館	神明２－７	５６７－０８８３
さいかち老人福祉館	緑が丘１４６０ １１３３号棟１階	５６２－８０８０

○ その他の市の施設

学校給食センター	本町６－１－１	５６０－２５９７
村山温泉かたくりの湯	本町５－２９－１	５２０－１０２６
のぞみ福祉園	本町５－２２－１	５６０－６０１１
ちいろば教室（福祉会館内）	中央２－１１７－１	５６１－１９０８

○ 官公署等

警視庁東大和警察署	東大和市 芋窪６－１０６１－１	５６６－０１１０
村山交番	緑が丘１７６９	
中藤交番	中央２－３３－１	
三ツ木交番	三ツ木２－５－９	
残堀駐在所	伊奈平６－３７－４	
東京消防庁北多摩西部消防署	東大和市 上北台１－９５６－１	５６５－０１１９
北多摩西部消防署武蔵村山出張所	榎１－１－３６	５６３－０１１９
武蔵村山郵便局	学園３－２４－１	０５７０ ９４３－８２１
村山郵便局	本町４－３－１	５６１－４９３０
村山団地内郵便局	緑が丘１４６０	５６１－４９９３
武蔵村山三ツ藤郵便局	三ツ藤２－３６－１	５６０－１３５５
武蔵村山大南郵便局	大南３－４－１	５６４－２８００
武蔵村山大南四郵便局	大南４－６１－５	５６４－６８１０
武蔵村山中原郵便局	中原２－８－１１	５６０－００７７

○ 都立公園

里山体験施設（里山民家）	岸 2-3 2	5 3 1-2 3 3 0
野山北・六道山公園 （遊びの森、冒険の森等）	本町 5-3 1	0 4 2 2-4 7-0 1 1 1 (西部公園緑地事務所)
野山北・六道山公園インフォメーションセンター （管理所）	三ツ木 4-2	5 3 1-2 3 2 5

○ その他の施設

武蔵村山市シルバー人材センター	学園 4-2-1	5 6 4-1 0 8 1
武蔵村山市商工会	本町 2-5-1	5 6 0-1 3 2 7
村山織物協同組合	本町 2-2-1	5 6 0-0 0 3 1
瑞穂斎場組合	瑞穂町 富士山栗原新田 2 4 4	0 4 2 5 5 7-0 0 6 4
湖南衛生組合	大南 5-1	5 6 1-1 5 5 1
小平・村山・大和衛生組合	小平市中島町 2-1	0 4 2 3 4 1-4 3 4 5
東京たま広域資源循環組合	日の出町 大久野 7 6 4 2	0 4 2 5 9 7-6 1 5 1
国立感染症研究所村山庁舎	学園 4-7-1	5 6 1-0 7 7 1
東京都水道局東大和サービスステーション	東大和市上北台 3-4 4 7	0 5 7 0 0 9 1-1 0 1
東京消防庁 立川都民防災教育センター（立川防災館）	立川市泉町 1 1 5 6-1	0 4 2 5 2 1-1 1 1 9
多摩都市モノレール（株）	立川市泉町 1 0 7 8-9 2	0 4 2 5 2 6-7 8 0 0

武蔵村山の生涯学習(令和4年度版)

令和5年12月発行

編集発行

武蔵村山市教育委員会教育部文化振興課

〒208-8501

武蔵村山市本町一丁目1番地の1

武蔵村山市役所第二庁舎2階

電話 042-565-1111(代表)

第50回武蔵村山市民駅伝競走大会の開催結果について

- 1 主 催 武蔵村山市教育委員会
- 2 実施日 令和5年12月10日（日）
 午前9時45分スタート（女子、小学生男子、中学生男子、
 中学生女子）
 午前10時スタート（特別参加、一般、地域）

3 コー ス 6区間 14.75km

区間	始点 ～ 終点	距離
1区	総合体育館前～宿交差点左折～田島内科クリニック前	2.95km
2区	田島内科クリニック前～大曲り交差点折返し～市役所前	1.50km
3区	市役所前～宿交差点右折～市道17号線折返し～総合体育館前	2.80km
4区	総合体育館前～第1運動場入口折返し～宿交差点左折～ 田島内科クリニック前	3.20km
5区	田島内科クリニック前～大曲り交差点折返し～市役所前	1.50km
6区	市役所前～宿交差点右折～市道17号線折返し～総合体育館前	2.80km

4 参加状況 94チーム

部門	令和4年度	令和5年度	
	参加チーム数	申込チーム数	参加チーム数
一般の部	31	45	45
地域の部	9	9	9
女子の部	4	5	5
中学生男子の部	9	12	10
中学生女子の部	9	9	8
小学生男子の部	7	11	11
小学生女子の部	1	0	0
特別参加（栄村等）	3	7	6
計	73	98	94

5 成 績

部門	優勝	準優勝	第3位
一般の部	村山ジョニーズ 46分15秒	いだてん 51分26秒	村山医療センター-R- 57分06秒
地域の部	峰自治会A 56分37秒	谷津ランナースA 1時間00分10秒	宿自治会SRC 1時間00分11秒
女子の部	感染研女子B 1時間14分09秒	チームクロウツ 1時間15分33秒	村山医療センターW 1時間15分57秒
中学生男子の部	武蔵村山第五中学A 56分18秒	一中男バスA 57分23秒	武蔵村山第五中学B 58分39秒
中学生女子の部	武蔵村山第五中学 1時間08分39秒	三中女子バドさんくら 1時間08分41秒	一中バスケット部B 1時間10分57秒
小学生男子の部	ミニバス翼A 55分24秒	ミニバス翼B 1時間00分39秒	一小ヤンチャキッズ- 1時間00分58秒
小学生女子の部	-	-	-

6 特別参加チーム成績

区分	部門	チーム名	成績
姉妹都市長野県栄村	一般の部	さかえ雪ん子	1時間03分41秒
横田基地		ストライダーズA	1時間18分18秒
横田基地		ストライダーズB	1時間04分33秒
北多摩西部消防署		北多摩西部消防署	55分26秒
東大和警察署A		東大和警察署A	1時間02分46秒
東大和警察署B		東大和警察署B	1時間00分35秒

※区間賞は別紙参照。

7 協力者等

陸上競技協会	16名	体育協会	6名	スポーツ推進委員	12名
地区スポーツ協力員	19名	医務担当	1名	消防署	8名
警察署	17名	交通安全協会	31名	職員	35名
警備委託	62名				

第50回武蔵村山市民駅伝競走大会

種目別 区間賞リスト

別紙

【一般の部 区間賞】

区間	競技者名	フリガナ	チーム名	区間記録	備考
1区	桑原 涼輔	クハラ リョウスケ	村山ジョニーズ	09分27秒	
2区	小山田 優輝	オヤマダ ユウキ	いだてん	04分50秒	最高
3区	福田 大介	フタダ ダイスケ	横田WXー	08分42秒	最高
4区	平井 璃空	ヒライ リク	村山ジョニーズ	08分56秒	区間新
5区	津田 希海	ツダ ノボミ	村山ジョニーズ	04分50秒	最高
6区	加藤 春	カト ハル	村山ジョニーズ	08分42秒	最高

【地域の部 区間賞】

区間	競技者名	フリガナ	チーム名	区間記録	備考
1区	内山 空	ウチヤマ ソラ	峰自治会A	09分38秒	区間新
2区	石田 茂治	イシダ シゲル	谷津ランナースA	05分44秒	
3区	平野 直昭	ヒラノ ナオキ	FC.MHL	11分48秒	
4区	加藤 忠重	カト タカシゲ	岸自治会	10分39秒	
5区	美濃部 克幸	ミノベ カツユキ	峰自治会A	05分10秒	
6区	斉藤 大樹	サイト ダイジ	峰自治会A	09分39秒	最高

【女子の部 区間賞】

区間	競技者名	フリガナ	チーム名	区間記録	備考
1区	佐野 芳	サノヨ アサ	感染研女子A	13分06秒	
2区	佐々木 千鶴	ササキ チズル	チームクロウツ	06分41秒	
3区	甲斐 久美子	カイ キミコ	感染研女子B	12分54秒	区間最高
4区	西野 綾乃	ニシノ アヤノ	感染研女子A	16分00秒	
5区	永田 瑞絵	エタ ミズエ	感染研女子B	07分06秒	
6区	佐藤 聖蘭	サトウ セイラン	いずみVENUS	14分26秒	

【中学生男子の部 区間賞】

区間	競技者名	フリガナ	チーム名	区間記録	備考
1区	原田 琥太郎	ハラダ コウタロウ	武蔵村山第五中学A	11分26秒	
2区	水越 龍青	ミヅコ リウセイ	ゴリ三中	05分32秒	
3区	尾形 千輝	オノガタ チカキ	武蔵村山第五中学B	10分28秒	
4区	葛葉 瑛心	クワバ エイト	一中男テニA	11分15秒	
5区	安沢 菱	アザワ リョウ	一中男バスA	05分16秒	
6区	藤田 寿太郎	フジタ コウタロウ	一中フットボーラース	10分05秒	

【中学生女子の部 区間賞】

区間	競技者名	フリガナ	チーム名	区間記録	備考
1区	池谷 美優	イケヤ ミユ	武蔵村山第五中学	13分06秒	
2区	室井 美月	ムロイ ミヅキ	武蔵村山第五中学	06分43秒	
3区	比留間 梨紗	ヒルマ リサ	一中バスケ部A	12分49秒	
4区	藤塚 友美	フジツカ トモミ	一中バスケ部A	14分32秒	
5区	菊地 栞帆	キクチ ホノ	三中女子バドさんくら	06分39秒	
6区	安廣 菜乃波	ヤヒロ ナノハ	三中女子バドさんくら	10分29秒	最高

【小学生男子の部 区間賞】

区間	競技者名	フリガナ	チーム名	区間記録	備考
1区	本田 愛樹	ホンダ アイ	ミニバス翼 B	10分49秒	区間新
2区	本郷 遥麻	ホンゴウ ルマ	ミニバス翼 A	05分48秒	
3区	渡辺 優璃	ワタベ ユリ	ミニバス翼 A	10分17秒	最高
4区	本郷 颯麻	ホンゴウ ソウマ	ミニバス翼 A	12分06秒	
5区	與那城 眞生	ユナシロ マコト	ミニバス翼 A	05分22秒	最高
6区	池谷 桜介	イケヤ サクジ	ミニバス翼 A	10分23秒	最高